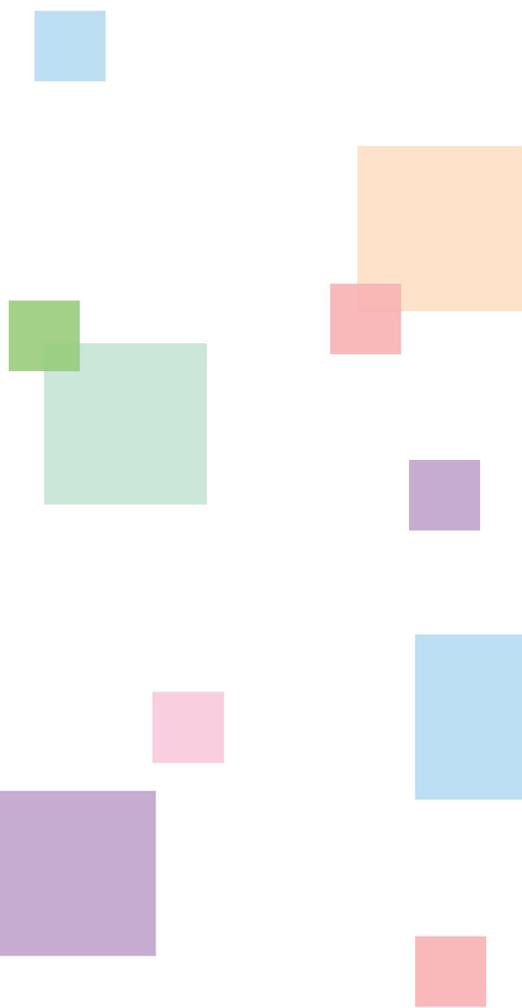


# 令和6年度 ディスカバー 農山漁村の宝

## 中国四国 取組事例集



農林水産省  
中国四国農政局



# 発刊にあたって

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」は、内閣官房及び農林水産省が、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るもので、今年度(令和6年度)で11回目となります。

中国四国農政局管内では137件の応募があり、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として6地区と1名が全国選定されました。

また、中国四国農政局では、応募のあった地区(者)の中から、他の地域の参考となるような優良な事例を、中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として8地区と1名を選定するとともに、今後の活躍が期待できる事例を、「地方奨励賞」として25地区と4名を選定しました。

今年度、応募のあった地区(者)の事例について、その地域の「農山漁村(むら)の宝」として広く発信するとともに、身近な地域の取組として紹介するため、事例集を作成しました。

各地域において参考にしていただき、農山漁村や農林漁業への関心を深めていただくきっかけになれば幸いです。

※「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」の情報は、中国四国農政局のホームページをご覧ください。

URL: <http://www.maff.go.jp/chushi/nouson/kaseika/discover.html>



令和7年3月

中国四国農政局農村振興部都市農村交流課

# 目 次

○ 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」全国選定 及び 中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」 の取組概要	.....	1
○ 中国四国管内各県の取組事例		
鳥取県	.....	5
島根県	.....	13
岡山県	.....	27
広島県	.....	37
山口県	.....	47
徳島県	.....	57
香川県	.....	67
愛媛県	.....	81
高知県	.....	91

## 受賞団体のロゴマークについて



「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定)有識者懇談会において、地域の活性化や所得向上に取り組んでいるとして選定された優良事例(全国30事例)



全国の選定事例に準じて、中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定委員会が選定した他地域の参考となる優れた地域活性化の優良事例



中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定に準じて、中国四国農政局各県拠点を選定した今後の活躍が期待される優良事例

# 「ディスカバー農山漁村の宝」の概要

## 趣旨

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

## 対象となる取組

地域において、新たな需要の発掘・創造や埋もれていた地域資源の活用を行うことにより、農林水産業・地域の活力創造につながる、次の①から③のいずれかに該当する取組とします。

- ① 美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- ② 幅広い分野・地域との連携による農林水産業や農山漁村の再生
- ③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

## 選定方法

有識者懇談会において総合的に審査し、優良事例を選定します。さらにその中からグランプリ、優秀賞及び特別賞を選定します。



過去の選定事例はこちらから /

<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/select-map.php>



### ロゴマーク

農村をイメージした「稲穂」と漁村をイメージした「海・波」、農山村をイメージした「山」をモチーフにしたデザイン。

[制作者：濱中 幸子氏（グラフィックデザイナー）]



# 第11回ディスカバー農山漁村の宝 全国選定一覧

全国で496件の応募があったなか、中国四国農政局管内からは6団体と1名が全国の優秀事例に選ばれました。

## 優秀賞 個人部門

### 中上 光 (島根県西ノ島町) P.25

『隠岐の豊かな海で育む『隠岐のいわがき』』

昭和53年にイタヤ貝養殖を開始後、地元の海に生息していた天然イワガキに着目。島根県水産技術センターと連携し、平成4年、苦難の末に全国で初めてイワガキの完全養殖に成功。



## 特別賞

### 【農村RMO賞】

#### 吉縁起村協議会 (岡山県真庭市) P.34

クリエイティブ(創造する心)を大切に！

農業者と非農業者が連携する農村RMOを組織し、農産品、特産品の開発・販売による収益確保と生活支援に向けたデジタル技術を導入。



### 【お宝料理・料理継承アタック賞】

#### 大正町町市場共同組合 (高知県中土佐町) P.98

『NO KATSUO NO LIFE』な鰹乃國

町と連携して久礼の「鰹乃國」をブランド化。400年続く鰹食文化を商店街が中心になって守り発展させる活動を行っている。



## その他優良選定地区

### 出上農地・水保全活動組織 (鳥取県琴浦町) P.11

次世代につなげ、明るい地域を目指して

地域の持続性と活性化を目指し活動。流域治水対策として、令和3年度から地区内の田んぼに自作の排水調整板(せき板)を設置し、雨水貯留機能の強化(田んぼダム)に取り組んでいる。



### 株式会社神東ファーム (山口県岩国市) P.52

マイヤーレモンで郷土愛を育む！

耕作放棄地を再生し、収益性の高い作物(マイヤーレモン)の栽培を構想。摘果レモンの商品化や地元の小中学校での農業学習や給食を通じての普及活動(郷土愛育成)に取り組む。



### きりぬき (愛媛県松山市) P.84

『価値を再定義』

農家から規格外柑橘を市場より高く買取り、インターネット販売やジュースへの加工、販売を通して柑橘農家全体の収益底上げを目標に活動を開始した。



### 愛媛県立北宇和高等学校

#### 三間分校地域情報ビジネス部 (愛媛県宇和島市) P.86

地域の課題解決を高校生がコーディネート

令和8年度末で閉校する三間分校の生徒が「地域との関わりを広げ、宇和島市三間町を盛り上げたい」との思いから、地域情報ビジネス部を新たに立ち上げ、三間町の活性化を行う。





# 第11回ディスカバー農山漁村の宝 中国四国農政局選定地区一覧

中国四国農政局管内から応募のあった137件より、次の8地区と1名を「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村の宝』」として選定しました。

## 特定非営利活動法人 未来守りネットワーク (鳥取県境港市) P.10 海～川～山をつなぐ(環境の保護・再生・中山間地域)再生

中海再生プロジェクト「よみがえれ中海」をテーマに、将来を担う子ども達へ未来をつなぐため、環境保全・再生活動に取り組む。



## 大森 雄介 (島根県安来市) P.19

くるもの拒まず、去らせない

安来市に移住後、研修を経て平成30年に就農。農業の付加価値を高めるため、生産者と消費者の距離を縮める農家のオープン化を理念に国際交流プログラム等を実施。



## NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト (岡山県真庭市) P.33

「お節介野菜」から広がる地域循環の輪！

令和元年より、規格外で捨てられる地場産野菜をなくすため、地域の高齢者がカットした規格外野菜を商品化・販売する「お節介野菜」のプロジェクトに取り組み、毎年取扱量が増加。



## 瀬戸内怪獣レモンプロジェクト委員会 (広島県尾道市) P.41

「怪獣レモン」と、規格外の未来を耕せ！

見た目のゴツゴツした規格外レモンを怪獣に見立て、「怪獣レモン」としてブランド化。地元企業のみならず全国メーカーともスナック菓子やスイーツ、飲料などの商品を開発・販売。



## 棚田清流の会 (山口県周南市) P.55

くらしがいを見つけられる郷づくり

休耕田の草刈り作業などの農地・景観の保全、農業体験や「棚田サポーターズクラブ」設立などによる都市部住民との交流など、様々な取組を実施。地域活性化に取り組む。



## 家賀再生プロジェクト (徳島県つるぎ町) P.66

家賀の藍は日本の桃源郷からの贈り物

世界農業遺産の「にし阿波の傾斜地農耕システム」でカヤ、落葉などを用い「藍」を栽培。地元団体と協働して家賀地区でのツアーや農業体験の受入れを実施。



## 三高みんなの食堂プロジェクト (香川県立三本松高等学校) (香川県東かがわ市) P.76

学食の復活、そして地域食堂へ

良質な食の提供、生徒の活動と学び、地域住民の交流の場としての食堂を目指し、地域の良さを体感できコミュニティを活性化する取組。



## しまなみイノシシ活用隊 (愛媛県今治市) P.85

野生鳥獣との新たな共生のカタチ

イノシシによる農業被害の防止(1次産業の保護)と捕獲したイノシシの価値を最大限に利活用し、自然との「共生」を目指しながら農業生産活動の維持に取り組む。



## 有限会社 戸田商行 (高知県土佐市) P.96

里山の宝を世界に～日本最期の木毛屋の挑戦

プラスチック製緩衝材にシェアを奪われ衰退する中、伝統の継承を大切に、天然緩衝材「木毛(もくめん)」にこだわり作り続け、木育活動、地域連携に取り組む。



# 第11回 全国選定証授与式、交流会の様子

選定証授与式:東京都港区 三田共用会議所 (令和6年12月17日)  
 交流会:総理大臣官邸 (令和7年1月7日)



中上 光氏  
 永島委員との意見交換



吉縁起村協議会  
 石破首相と記念撮影



きりぬき



出上農地・水保全活動組織



愛媛県立北宇和高等学校三間分校  
 地域情報ビジネス部  
 ロゴマークをデザインした濱中氏と記念撮影



大正町市場協同組合  
 石破首相へ久礼の鯉を紹介



株式会社神東ファーム

## 中国四国農政局選定証授与式

中国四国農政局管内各県拠点主催で選定証授与式を行いました



特定非営利活動 未来守りネットワーク



大森 雄介氏



NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト



瀬戸内怪獣レモンプロジェクト委員会



棚田清流の会 神東ファーム、地方奨励賞の皆さんと記念撮影

山口県内受賞者の  
 意見交換会を開催



家賀再生プロジェクト



三高みんなの食堂プロジェクト  
 (香川県立三本松高等学校)



しまなみイノシン活用隊



有限会社 戸田商行



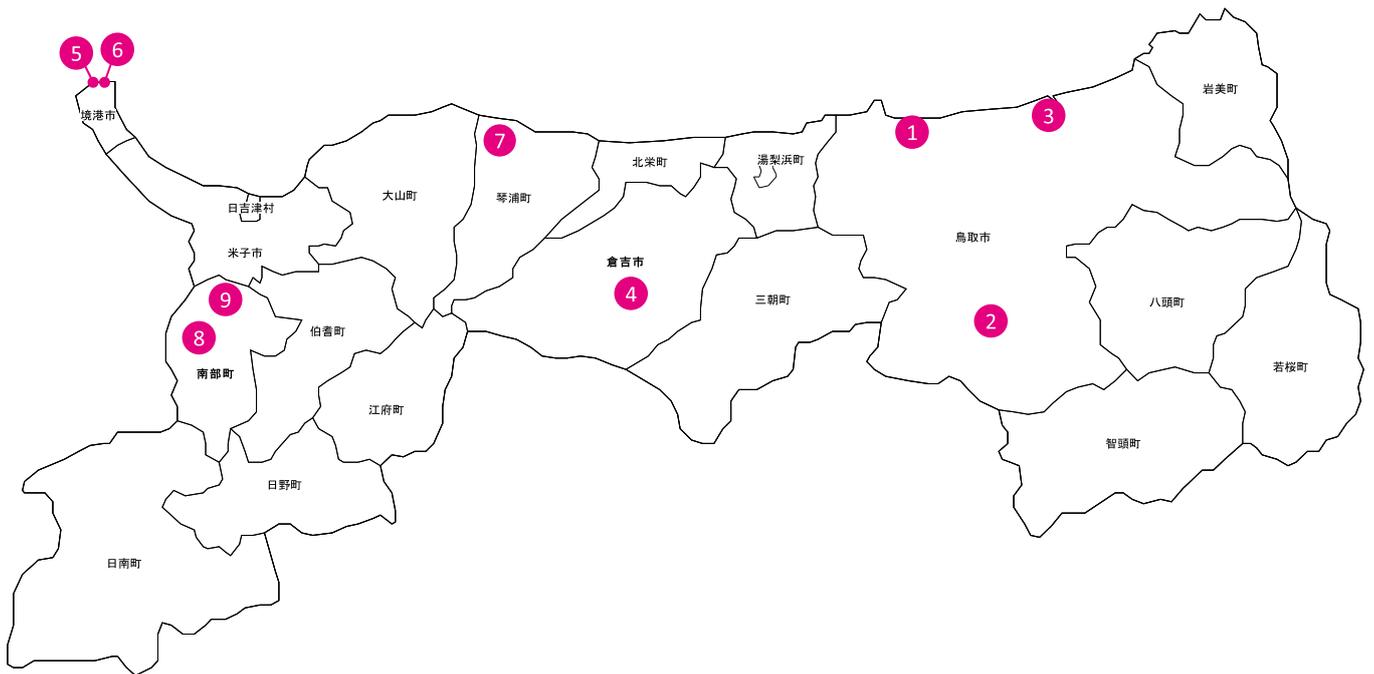
木毛

**鳥取県**

## 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (鳥取県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名	該当する取組		
					伝統の継承	学生・若者の活躍	農村環境・景観保全
①		団体	鳥取市	会下部落地域資源・環境保全プロジェクト	伝統の継承	学生・若者の活躍	農村環境・景観保全
②		団体	鳥取市	佐治漆研究会	農業	6次産業化	伝統の継承
③	地方 奨励賞	団体	鳥取市	結梨	農業	6次産業化	学生・若者の活躍
④		団体	倉吉市	倉吉市体験型教育旅行誘致協議会	農泊	高齢者の活躍	女性の活躍
⑤	地方 奨励賞	団体	境港市	一般財団法人境港市農業公社	伝統の継承	荒廃農地対策	その他(地域住民との協働)
⑥		団体	境港市	特定非営利活動法人 未来守りネットワーク	農業	環境保全(農林水産業・食品産業)	食育・教育
⑦		団体	琴浦町	出上農地・水保全活動組織	伝統の継承	教育機関との連携	食育・教育
⑧	地方 奨励賞	団体	南部町	一般社団法人南さいはく	6次産業化	荒廃農地対策	関係人口の創出
⑨		団体	南部町	清水川農地・水・環境保全向上対策協議会	農業	6次産業化	農村文化体験

# 応募地区所在市町村図（鳥取県）



えげぶらくちいきしげん      かんきょうほぜん

## 会下部落地域資源・環境保全プロジェクト

多様な人材で 多世代に渡って心の豊かさを

### 概要

- 400年以上前に、農業用ため池として作られたと伝えられて、地域の人々により守り続けられてきた「大堤池」を、後世につなぎ、地域の自然環境を保全するため当組織を設立した。
- 地元小学校や大学生など多様な組織と連携し、「大堤池」で景観形成活動の芝桜の植栽や、400年以上受け継がれる伝統漁法「うぐい突き漁」を行い、ため池の管理と農村文化の継承に取り組んでいる。



大堤池で小学生と芝桜の大堤



伝統文化「うぐい突き」で学生が活躍



女性が活躍する伝統菓子「おいり」作り

〒689-0355 鳥取市気高町会下

関連情報はこちら ▶



さじうるしけんきゅうかい

## 佐治漆研究会

佐治漆復活で地域経済の活性化

### 概要

- 国産漆の産地として栄えた鳥取市佐治町の「佐治漆」を復活させようと、8年前に地元有志によって佐治漆研究会が設立され、荒廃農地を利用して佐治漆木を植栽している。
- ゼロから復活した「佐治漆の森」は、佐治独自の佐治漆ブランド化を図るため、樹液の精製や漆器の生産、佐治和紙とのコラボなど6次産業化することで地域経済を活性化させ「佐治漆の里づくり」を目指す。
- 自然保護と地域資源を活用する佐治漆の復活活動は、伝統文化の継承を図りつつ、将来の国産漆の産地として期待されている。

### 成果

- 「佐治漆の森づくり」の活動は、1,000本の佐治漆を根付かせることを目標に、平成30年から毎年50~100本を植栽。シカの被害に遭いながらも現在約300本の漆木が育っている。
- 佐治漆植栽の取組は、大学等との共同研究も始まり、会員も増え、管理面でも草刈り、防獣柵の設置、植栽等、地元支援の輪も広がっている。
- 佐治漆の復活活動は、外部団体からの表彰と支援、大学の授業に組み入れられるなど、地元密着型で着実に実績を積み上げ、高く評価されている。



佐治漆の森



佐治漆の苗木植樹祭



鳥取西口タリークラブ「佐治漆復興事業 苗木の植栽」

〒689-1431 八頭郡智頭町山根119 佐治漆研究会事務局  
0858-75-2228

関連情報はこちら ▶



地方  
奨励賞ゆいりん  
結梨

## 梨と柿の6次産業化で鳥取を元気に！

## 概要

- 「鳥取の果樹のおいしさを全国に広めたい」との想いから、鳥取大学の学生が令和3年に設立した学生サークル。
- 週末に鳥取市や八頭町の梨、柿農家の農作業を手伝い、栽培の知識を学んでいる。
- 地元企業などの協力を得て、規格外の梨、柿や梨の葉を使った新しいスイーツの開発・販売を行うなど6次産業化にも取り組んでいる。



梨の袋掛け作業



販売の様子



柿プリン

## 成果

- 地域のイベントで、規格外の梨や柿を使ったマフィン、タルトの販売のほか、行政や企業と連携し、新たに開発した柿プリンや柿シロップなどを販売している。県内だけでなく、兵庫県や岡山県でも出店し、鳥取の果物のおいしさをPRしている。
- 多くのメディアに取り上げられ、今の日本農業を考えてもらうきっかけとなっている。また、地域の方からも学生の取組自体が励みになるとの評価を得ている。

〒680-0945 鳥取市湖山町南1-246  
0857-37-3373 yuiline.totto@gmail.com

関連情報はこちら ▶



くらししたいけんがたきょういくりょこうゆうちきょうぎかい  
倉吉市体験型教育旅行誘致協議会

いなかといいなか セキガネたいけん

## 概要

- 過疎化・高齢化が進む中山間地域において、民泊を利用した農業体験ツアーを商品化し、都市部からの誘客を行っていたが、コロナ禍により受入れをやめていた。その後、人や農村とその生活などの地域資源を活用した教育旅行誘致を本格的に再開し、都市部の住民や学校との交流を促進。
- コロナ禍が明け、台湾の高校生を含めた修学旅行を中心に、農村生活体験や民泊において、年間約1,000人の受入を行った。

## 成果

- 受入家庭では、中心となる女性・高齢者の活躍の場と所得向上になることにより、やりがいと地域活性化につながっている。
- 生徒や受入家庭の笑顔、後日生徒から送られた感謝の手紙などで、改めて「人の交流」の素晴らしさを実感している。今後も地域の関係者と協力しながら活動を継続していきたい。



民泊体験：野菜の収穫



また来てごしない、待っとるけえな〜

〒682-0411 倉吉市関金町関金宿1139  
0858-45-1122 taiken@sekigane.com

関連情報はこちら ▶



地方  
奨励賞

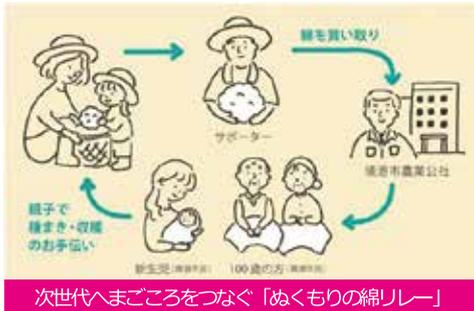
いっばんざいだんほうじん さかいみなとしのうぎょうこうしゃ

## 一般財団法人境港市農業公社

和綿「伯州綿」を活用した地域活性化事業

## 概要

- 遊休農地を解消するため、江戸時代から栽培されている伝統的な地域資源である和綿「伯州綿」の再興を目指し、平成20年度から栽培を開始。
- 栽培サポーター制度を導入し、地域住民や地域おこし協力隊員とともに農業や化学肥料を使わない綿づくり、小学校等での授業や体験活動の支援及び普及活動を行う。
- 民間事業者とともに伯州綿を使用した商品開発や販路拡大を行い、伯州綿のブランド化に取り組む。



## 成果

- 催し「てめぐいひらひら」では、毎年1,000人以上の来場者があり、令和4年度には第27回ふるさとイベント大賞ふるさとキラリ賞を受賞。
- 栽培サポーターの人数は年々増加傾向にあり、任務を終えた地域おこし協力隊員も定住し、伯州綿に関わる事業を営んでいる。
- 境港市では、遊休農地の解消、赤ちゃんへのおくみプレゼントによる子育て支援、百歳を迎えた高齢者へのひざかけプレゼントによる高齢者支援など、多面的な効果が生まれている。



〒684-8501 境港市上道町3000(境港市役所 農政課内)  
0859-47-1049 nosei@city.sakaiminato.lg.jp

関連情報ははこちら▶



とくていひえいりかつどうほうじん さきも  
特定非営利活動法人 未来守りネットワーク  
海～川～山をつなぐ（環境の保護・再生・中山間地域）再生

## 概要

- 平成16年に当法人を設立。中海再生プロジェクト「よみがえれ中海」をテーマに、将来を担う子ども達へ未来をつなぐため、環境保全・再生活動に取り組む。
- 中海で異常繁殖した海藻類を回収し、出雲国由来の海藻肥料として活用（SDGs）。その海藻肥料を使った「海藻米」の田植え・稲刈りイベントを実施。
- 中海の水質浄化、魚介類の産卵・育成場となるアマモ場の再生のため、種子採取・移植活動など環境教育にも取り組む。

## 成果

- 毎年、紅藻類の「オゴノリ」等を刈り取ることで、水質浄化や漁業資源回復に寄与。
- 境港市では食育の観点から「海藻米」を学校給食に採用。10年以上続く日野町での海藻米の田植え・稲刈りには、各地区の多くの子ども達が参加し、食育につながっている。
- 今年新たに開発した海藻肥料の液肥を使用した果樹等の栽培を進めており、更なる有機農業の拡大が期待される。



中山間地域での海藻米の田植えイベント



小学生への環境講演



海藻肥料使用の産物をPR・販売する海鮮・山鮮まがもん祭

〒684-0004 境港市大正町38番地  
0859-47-4330 jimu@npo-sakimori.net

関連情報ははこちら▶





## いでかみのうち みずほぜんかつどうそしき 出上農地・水保全活動組織

次世代につなげ、明るい地域を目指して

### 概要

- 過去に幾度となく氾濫している勝田川が流れている出上地区において、農業者の高齢化や水路など農業施設の老朽化が進む。過去に小作争議の舞台だったことから人と農地が重要な土地柄。
- 平成24年から多面的機能支払交付金を活用し、地域一帯での共同活動に取り組み、地域の持続性と活性化を目指し活動している。また、流域治水対策として、令和3年度から地区内の田んぼに自作の排水調整板(せき板)を設置し、雨水貯留機能の強化(田んぼダム)に取り組んでいる。



田んぼダム(せき板・のぼり設置)



軽トラ水族館(生き物観察)



農村文化の伝承(田植え)

### 成果

- 田んぼダムの取組は令和3年度から開始し、令和5年度には31haで実施。また、親子で水路の生き物観察をする軽トラ水族館の開催、地元小学校と連携した田植え体験など農業体験や農業関連行事の伝承により、農村コミュニティの強化につながった。
- 当地区で毎月開催される「地域食堂」に野菜や米などを提供。「地域食堂」には、子どもから高齢者まで多くの地域住民が参加しており、食育活動を通じて、孤立や孤食を防ぎ、多世代が集う「みんなの居場所」作りに貢献。

〒689-2511 東伯郡琴浦町出上230-1  
0858-55-0741 akasaki-bunka@town.kotoura.tottori.jp

地方  
奨励賞

いっばんしゃだんほうじんみなみ

## 一般社団法人南さいはく

地域を代表する特産品づくりにより活性化

### 概要

- まちづくりと住民自治の基盤づくりを目的に設立された地域振興協議会でウド特産品化の取組開始。地域活性化を図るため令和3年に農産加工品の製造販売で一般社団法人を設立した。
- 地域で未利用だったウド・梅・ゆず等の農産物を使った羊羹や漬物等を製造販売。また、エゴマをエゴマ油に加工し販売している。

### 成果

- 住民が地域農産物の加工・販売に取り組むことにより、地域の所得向上と生きがいづくりなど、地域活性化に寄与。
- 耕作放棄地でのエゴマ栽培により、耕作放棄地の拡大を防止している。
- 都市部の民間活力を利用して新商品の開発に取り組むなど、加工品を通じた地域と県内外の関係人口の拡大につながっている。



調理室にてウド羊羹の製造



梅・ゆず・ウドの3種類の羊羹

〒683-0342 西伯郡南部町能竹394-2  
0859-66-2705 houjin.minamisaihaku@gmail.com

しみずがわのうち みず かんきょうほぜんこうじょうたいさくきょうぎかい  
**清水川農地・水・環境保全向上対策協議会**  
 つながる古事記ゆかりの地

**概要**

- 将来の地域農業に不安を感じていた非農家を含む地区住民が、農地維持活動を行うことで美しい農村環境を守ろうと平成19年に活動組織を設立した。
- 組織設立以降、継続して地区全体で泥上げや草刈り等の一斉清掃に取り組むとともに、地域の将来について積極的に意見交換を実施。
- 農家・非農家を問わず連携できる農村を次世代につないでいくため、各世代のリーダーが中心となり、集落全体で賑やかに活動を行っている。



古代米の田植え

**成果**

- 古代米の田植えと収穫イベントを通じて、地区内の非農家世帯をはじめ地区内外の各種団体とのつながりが拡大。古代米を原料とする日本酒の販売で、古事記ゆかりの清水川地区をPRしている。
- 農地維持、景観形成、歴史の伝承、特産品開発等の取組が農村コミュニティ維持・発展に寄与している。



古代米の稲刈り

〒683-0201 南部町天萬558  
 0859-64-3783 sangyou@town.tottori-nanbu.lg.jp

**島根県**

## 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (島根県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①	地方 奨励賞	個人	松江市	青戸 裕司 (かたゑ庵)	移住・定住	高齢者の活躍	その他(アドベンチャーツーリズム)
②		個人	出雲市	伊藤 学 (カウベルミルクガーデン牧場 株式会社)	農業	6次産業化	食育・教育
③		個人	出雲市	江角 俊則 (江角アトリエ代表)	農村文化体験	伝統の継承	雇用
④		団体	出雲市	株式会社オリーブ園・夢創庭	農業	6次産業化	荒廃農地対策
⑤		団体	益田市	特定非営利活動法人よつばキッズスクール	農業	農村文化体験	食育・教育
⑥		団体	大田市	井田地域自治会	多様な分野との連携		
⑦		団体	大田市	西田ヨズクハデ保存会	農村文化体験	伝統の継承	関係人口の創出
⑧		個人	安来市	大森 雄介	6次産業化	教育機関との連携	その他(国際交流)
⑨		団体	安来市	シバザクラの会	移住・定住	農村環境・景観保全	関係人口の創出
⑩		団体	安来市	新田谷活動組織	教育機関との連携	食育・教育	
⑪	地方 奨励賞	団体	江津市	跡市環境保全組合	農村文化体験	伝統の継承	教育機関との連携
⑫		個人	江津市	深町 桂市	6次産業化	荒廃農地対策	鳥獣被害防止
⑬		個人	川本町	山口 瑞恵	農業	6次産業化	女性の活躍
⑭		団体	美郷町	美郷町地域おこし協力隊 チーム「シンマイ」	地産地消	移住・定住	関係人口の創出
⑮		団体	津和野町	麓耕自治会	農村環境・景観保全		
⑯		団体	吉賀町	注連川の糧	伝統の継承	教育機関との連携	農村環境・景観保全
⑰		団体	吉賀町	農事組合法人 立河内絆	農業		
⑱	地方 奨励賞	個人	海士町	吉川 岳	水産業	地産地消	環境保全(農林水産業・食品産業)
⑲		個人	西ノ島町	中上 光	水産業	雇用	その他(地域資源の活用)
⑳		個人	知夫村	岡田 紗和	6次産業化		
㉑		団体	隠岐の島町	南風	企業との連携	雇用	移住・定住



地方  
奨励賞

あおと ゆうじ  
**青戸 裕司** (ゲストハウス **かたゑん**)

ありのままに魅せる、その漁村は歓交地に

概要

- ジオパークを活かした環境負荷のないアクティビティの提供や築100年の古民家を改装したゲストハウスでの宿泊、地域住民の自宅で夕食を提供する「民食」を実施。
- カヤックレースなど、地域住民を巻き込んだイベントの開催。
- GoProカメラや360度カメラで撮影した動画提供のほか、洞窟学会による洞窟調査から得られた知見をカヤックツアーに活かすなど、認定ジオガイドとして地域の観光資源の魅力を発信している。

成果

- 地域資源を活かしたカヤックツアーや古民家を利用したゲストハウスは外国人に好評で、これまで23か国からのゲストが訪れ、交通不便地でありながらインバウンド集客の効果を上げている。宿泊者数は令和元年度61名から令和5年度280名、カヤック体験者は令和2年度32名から令和5年度220名と、着実に増加。
- カヤックレースなどのイベントは、地元住民の協力を得て開催しており、地域外の人達と触れ合うことにより、地域に活力が生まれている。



5年間の取組



カヤックで洞窟巡り



3人乗りカヤックツアーの様子

〒690-1315 松江市美保関町片江396  
0852-55-8600 info@kataean.com

関連情報はこちら▶



いとう まなぶ  
**伊藤 学** (カウベルミルクガーデン**牧場株式会社**)

自然も丸ごと楽しむ牧場の6次産業化

概要

- 平成18年に牧場直営の米粉パン専門店の「牧場のパン屋さんカウベル」をオープン。
- 地元営農組合と連携して、牧場堆肥の使用から米粉用米の生産と地元産の野菜・果物をパンに利用することで地域資源の活用に取り組み、令和6年6月にはジェラート工房を新設し、酪農の魅力発信と地域活性化に取り組む。

成果

- 「酪農教育ファーム」認証を取得し、幼稚園・保育所、小学校、養護施設、子供会、各種サークルなど、様々な方と牧場での牛とのふれあい体験や、バター作り・ピザ焼き体験を行い、食育活動の一環として、これまでに2万人以上の方々と交流。
- 中山間地の人口2,700人の小さな町で10人余りの雇用を創出。
- 地元の中학생や高校生の食育・職業体験を受け入れることで、若者の地域定住化を図る。



牧場のパン屋さん カウベル店内



バター作り体験の様子



仔牛とのふれあい体験の様子

〒693-0506 出雲市佐田町反辺601  
0853-84-0391 itodairyfarm@m1.izumo.ne.jp

関連情報はこちら▶



えすみ としのり えすみ だいひょう  
**江角 俊則 (江角アトリエ代表)**  
 世界を繋ぐ古民家と茅葺

概要

- 平成19年に江戸期の古民家をリフォームして設計事務所と民泊事業を開始。
- 平成29年に今後の葺き替え作業存続の危機感から、身近な河川等に自生している未利用の葺を地域住民と連携して刈り取りストックする活動を開始。そのシンボルとして古民家に小さな茅葺の小間を新築。

成果

- コロナ禍で途絶えた民泊利用者が今年3月からはコロナ以前より増加（3割程度がインバウンド）。
- 週末だけでなく、ひと月の半分は宿泊者が滞在していて、リモートワークなどにも活用。
- 囲炉裏、五右衛門風呂、かまどなどの懐かしさが日本人の共感を呼び、茅葺建物は日本だけでなく外国人観光客からも好評。



芝屋根と茅葺の小間を増築



民泊に活用している土間と奥に囲炉裏の板間



毎年3月の晴れた週末は神西湖で茅刈り

〒693-0031 出雲市古志町2571  
 0853-31-8211 to.e.atelier@gmail.com

関連情報はこちら ▶



かぶしきがいしゃ えん むそうてい  
**株式会社オリーブ園・夢創庭**  
 幸せの栗 出雲産オリーブオイル

概要

- 平成26年にぶどうハウスの廃園や休耕園の有効活用と地域活性化を目的にオリーブ92本を植栽・栽培を始める。
- 自社工場にて24時間以内に搾油した良質なエキストラバージンオリーブオイルを商品化。
- 令和4年に出雲市の推奨商品「おいしい出雲」に認定登録され、出雲市の特産品となる。

成果

- 年間を通じて曇りや雨が多い島根県においてもオリーブの木は成長。令和6年時点で栽培面積4.5ha、2100本に拡大。
- 収穫量も令和元年の800kgから令和5年は2,400kgに増加。
- 島根県においてのオリーブ栽培は、周辺地域からも関心が高く、視察の問い合わせがあるなど地域の活性化に寄与。



オリーブ園での収穫の様子



収穫前のオリーブ



オリーブの搾油とオリーブオイル商品

〒699-0822 出雲市神西沖町1687-11  
 0853-43-1218 masaki@itoga1218.jp

関連情報はこちら ▶



とくていひえいりかつどうほうじん  
**特定非営利活動法人よつばキッズスクール**  
 「未来のお米ヒーロー」

**概要**

- 令和3年に益田市で地域初の民間学童施設として運営を開始し、翌年NPO化。当地は少子高齢化で地域交流の希薄化や農地の荒廃が進行中。里地里山を通して地域の大人と子どもたちの関係を深めると共に、地域の自然の豊かさや大切さを学んでいる。
- 昔ながらの手植えと農業機械を使用した現代農業も行うことで、農作業の大変さを感じるとともに、機械の導入による省力化や効率向上についても学び、未来の農業について考える取組を行っている。

**成果**

- 農業を通して地元への興味関心をもち、食べ物を作る大変さを学ぶことで感謝する心の育成（食育）につながっている。
- 一年間の稲作体験で田んぼ探索や泥の感触を楽しむ手植えを行いながら、多くの生態系や豊かな自然が守られている生物多様性について学んでいる。
- 地域の大人や友達と関わることで協調性や社会性を育み、中長期的な交流活動として波及している。



田起こし：トラクターに同乗して、作業



育苗箱作り：床土と肥料、種を入れていく



田植え：手植えと田植え機で作業

〒698-0025 益田市あけぼの西町9番地15  
 090-7723-0428 yotsubakids428@gmail.com

関連情報はこちら ▶



い だ ち い き じ ち かい  
**井田地域自治会**  
 地域の足は、自分たちで守る！！

**概要**

- 令和元年から山間部の井田地区と温泉津町中心部をつなぐ「定額乗合タクシー」を運行開始。AIが利用者の発着時間を調整し、効率良く乗り合うため定額乗り放題で利用可能。同時に、高齢者の運賃負担軽減のため地域で儲ける仕組みを検討するワークショップを開催し方策を議論。
- 令和4年に地域特産品の販売を行う「企業組合井田屋」を創設し、地区に伝わる焼肉のタレを商品化。住民の裁縫技術を活かした製品を小さなビジネス事業として展開。地元の竹を使ったかごなど竹製品を制作・販売。

**成果**

- 乗合タクシーに乗り合うことで数十年ぶりの同級生との再会、温泉や友達の家など楽しみのための移動にも活用され、地域イベントへの参加が増加し住民交流が大幅に増加。
- 地区住民は小さなビジネス活動も乗合タクシーで参加するなど、地域交通と住民交流の場が整備されたことで取組が継続。今後も地域に関わりを持つプレーヤーを増やししながら、地域住民の生活機能を支える生活プラットフォーム構築を目指す。



タクシーに乗り合う利用者



企業組合 井田屋メンバー



古布で作るクッションカバー制作の様子

〒699-2507 大田市温泉津町井田口255番地  
 0855-66-0016 idaya@ginzan-tv.ne.jp

にしだ ほぞんかい  
**西田ヨズクハデ保存会**  
 農芸文化を活かした農村交流でヨズクハデを後世に

**概要**

- 高齢化による稲作農家の減少により、以前は100基あった伝統農法の稲ハデ「ヨズクハデ」も4戸の農家が立てるのみとなっていたが、その製作技術を後世に残すため平成17年に「ヨズクハデ保存会」を設立（耕作者4戸、構成員10名）。
- 活動に賛同する夢のある米作り・酒造り集団「酒仙蔵人・五郎之会」が構成員として参画し、地域活性化につなげている。
- 「ヨズクハデ」の製作を含めた農業体験活動を通じ、都市交流活動や小学生への体験学習による伝統農法の継承を行っている。

**成果**

- 活動の継承により、銀山街道ウォークや写真愛好家のスポットとして訪れる人は年々増加傾向にあり、秋の風物詩として定着している。
- 秋の刈り入れ時期には、遠くは関東地方からも農作業体験への参加があり、棚田米や西田葛など銀山街道の歴史に触れることで、地域活性化に繋がっている。また、「棚田まつり」の開催など、新たな活性化イベントや主食用米等の定期販売にも結びついている。



田植え体験の様子



「ヨズクハデ保存会」稲ハデ掛けの様子



「酒仙蔵人・五郎之会」による都市農村交流

〒699-2503 大田市温泉津町西田370  
 0855-65-3232 st5419@ezweb.ne.jp



おおもり ゆうすけ  
**大森 雄介**  
 くるもの拒まず、去らせない

**概要**

- 安来市に移住後、研修を経て平成30年に就農。農業の付加価値を高めるため、生産者と消費者の距離を縮める農家のオープン化を理念に国際交流プログラム等を実施。
- 国際交流プログラムは、アメリカの若者の農業・田舎体験、文化交流を企画し、令和元年から春と秋の年2回約1か月の期間、5、6名程度の若者を受入れている。
- 安来のいちごの商圏で、いちご狩りの強いニーズがあったが受入先がなかったため、令和2年にいちご狩り園を開園。

**成果**

- 国際交流プログラムは、8回40名（予定を含む。）が参加しており、受入農家は、作業の手伝いを得ることができる。また、学生は直接ネイティブと会話する貴重な機会を得ることができ、農業を通じて地元で世界とつながれることを実感できる。
- いちご狩り園は、地元メディアで話題となり、一気に「安来のいちご」全体のPRができた。現在では、いちご狩り園は5軒となり、企業参入も実現し、安来市において、まったく新しい付加価値を作り出した。来園者は開園当初の約2倍となった。



いちごのバック詰め体験



農林高校で開催した国際交流プログラム



いちご狩り園

〒692-0017 安来市下坂田町977-1  
 070-6610-1438 yusuke.omori@farmomori.com

関連情報はこちら ▶



# かい シバザクラの会

『今日もえーひだ』～シバザクラの里永田～

## 概要

- 棚田畦畔へのシバザクラ植栽活動により、草刈作業の省力化と農村景観を活かした都市間交流の輪を広域に展開し、更なる地域の活性化を図ることを目的にシバザクラの会を設立。
- 令和5年度までにシバザクラ10万本、花桃500本を水田畦畔等15,000㎡に植栽。
- 春の「猿隠高原シバザクラ祭り」は、SNS等で積極的に情報発信を行い、色鮮やかなシバザクラの花絨毯と地元の味のおもてなしで、県内外から約5,000人の来場者が訪れる。



満開に咲く棚田の急傾斜畦畔のシバザクラ



シバザクラ祭りは皆を笑顔に



改修した空家に新たな担い手を迎えた

## 成果

- 集落の女性を中心とした植栽活動は、次世代の若者、集落から転出した子、ボランティア等の参加で地域の活力を高めるとともに、近隣集落への横展開に結び付いている。
- イベントを起点として多方面から消費を呼び込み、関係人口の増加と地域活性化に結び付き、来場者からの緑化協力金による支援はシバザクラの美観維持に大きな効果をもたらしている。
- イベントのボランティアをきっかけに、集落の魅力に惹かれた学生2名が大学卒業後、集落の新たな担い手として定住した。

〒692-0733 安来市広瀬町東比田1041  
090-7597-8219 a-sengoku@dojyokko.ne.jp

関連情報はこちら▶



# しんでんだにかつどうそしき 新田谷活動組織

ふるさとをつなぐ「世代間交流」

## 概要

- 安来市伯太町新田谷集落において、平成26年に設立し、多面的機能支払交付金を活用した農用地、水路等の地域資源の保全を行っている。
- 集落では少子高齢化が急速に進み、農業・農村の継承が課題となる中、地域資源の有効活用や次世代の地域を支える人材の育成、また、小学生との交流により地域に活力を生むことなどを目的に小学校と連携し休耕田を活用したサツマイモ栽培を10年前から開始。

## 成果

- サツマイモの栽培は、苗植えから収穫まで毎年10～20名の小学生が参加。小学生からは、「作る大変さが分かったからこれからは残さず食べたい」や「大人になったら畑を作りたい」など手紙で感想が寄せられ、参加者のやりがいにもつながっている。また、小学校との連携は10年を迎え、地域資源に愛着を持った人材を着実に育成している。
- 活動には、公民館や外部団体の職員も参加しており、多様な人材の参画による活動の持続的な実施体制も構築している。



サツマイモの収穫風景



協力して収穫



サツマイモを掘るコツを伝授

〒690-0876 松江市黒田町432-1  
0852-32-4141 yoshiyama@shimanedoren.or.jp



あといちかんきょうほぜんくみあい

## 跡市環境保全組合

住んでよし、訪ねてよしの故郷づくり

### 概要

- 農地を守ることを目的として地域の農業者と11団体が構成員となり「跡市環境保全組合」を平成19年に設立。
- 地域内の全20集落と19団体が構成する「跡市まちづくり協議会」と連携し、2つの団体が地域の両輪となり活性化に取り組む。
- 伝統文化「花田植え」の伝承、古くから地区で利用されてきたわたの栽培による6次産業化と農業体験、地域のイベントを「跡市AITABI（あいたび）」に統合などを実施。

### 成果

- 伝統文化の「花田植え」の伝承は、幅広い世代の交流の場となり農村コミュニティの強化につながった。
- 地域のイベントが「跡市AITABI」に統合されたことにより、地区内外の誰もが協力・参加しやすいものとなった。
- 地域資源を活用した体験や、地域の農産物による食事を提供することにより関係人口の拡大につながっている。



地域の伝統文化「花田植え」



わた摘み体験



跡市AITABI：卒業

〒 695-0152 江津市跡市町625-1  
0855-56-2107 atoichimatidukuri@gmail.com

関連情報はこちら ▶



## ふかまち けいいち 深町 桂市

過疎地の贈り物～放置果樹をブランドへ～

### 概要

- 平成13年、都会での暮らしや仕事に疑問を感じ、妻が経営していた農園「NAO FARM」に参加するため島根県に移住し、様々な種類の放置果樹と出会った。
- 放置果樹を使ったジャム、シロップなどの加工品の製造販売を手掛け、平成26年より露店営業において提供を開始。消費期限が長い加工品のラインナップを増やして自然食品店に販売。

### 成果

- 放置果樹を利用することで全国的に問題になっている鳥獣被害の低減、荒廃農地対策、農家の所得向上、フードロス問題の対策、珍しい果実を原材料に使うことでの商品の差別化、そして、子供たちと収穫、加工し共に食すことによる食育へつながっている。
- 地元行政、保育園、自治会などと良好な関係を築き、活動の幅が広がっている。



NAO FARM のお二人



放置果樹をみんなで収穫



加工品のラインナップ

〒699-2841 江津市後地町2396  
090-4667-3402 keisun0910@gmail.com

関連情報はこちら ▶



やまぐち みずえ  
**山口 瑞恵**

ブランディングを通じた地方創生

概要

- 平成29年に川本町の三原の郷どぶろく特区を活用し、民泊経営からどぶろくの製造に参入。平成元年には甘酒の製造を開始。
- 中山間地域の特性を活かした商品のブランディングが必要と考え、「mizu et rice」ブランドを立ち上げ。都市圏への販売を開始。

成果

- 令和3年から、大阪からのIターン希望者を受入れ、食事を提供し、共に農業に従事している。
- 令和5年、mizu et riceの甘酒が国内大手航空会社の「初日の出フライト」のお屠蘇に採用されたのをキッカケに都市部の販路が拡大。令和6年度上半期で前年の売上げを上回った。



mizu et rice の商品



販売イベントの様子



Iターン希望者の受入れ

〒696-1226 邑智郡川本町大字田窪487  
0855-74-0086 info@mizuetrice.com

関連情報はこちら ▶



みさとちょうちいき きょうりよくたい  
**美郷町地域おこし協力隊 チーム「シンマイ」**  
シンマイ×美郷町 未来を耕す新米パワー！

概要

- 美郷町の地域おこし協力隊が集いチームで活動。任期終了後の定住への活路を見出すとともに地域活性化に貢献。
- 地域の特徴を活かしたイベント「千原温泉 美肌温泉祭り」を開催。地域資源の新たな価値を創出し、美郷町の魅力を地域内外に発信。

成果

- 地域でのイベント開催により、隊員が地域との関係性を深め、継続して活動できる場の提供と地域に溶け込める基盤を創出。
- 地域資源を活用した商品は、地域のお祭りやマツダスタジアム（広島市）での出店などでも大好評。地域経済の活性化と美郷町の知名度向上に貢献。
- 美郷町から体験プログラムの募集と運営を任されるなど、関係人口の拡大にも貢献。



イベント：川遊び&かき氷祭り



マツダスタジアムでの出店



イベント：美肌温泉祭りとほたる茶屋

〒696-1141 邑智郡美郷町京覧原356  
zoe.kana@gmail.com

ろくごうじちかい  
**麓耕自治会**  
つつじの里麓耕

**概要**

- 水田のは場整備によりできた急傾斜地の畦畔に、景観づくりを兼ねて平成9年につつじを15,000本を植栽。
- 中山間地域等直接支払交付金制度を利用して年2回畦畔の草刈りと個人による草刈りを2～3回行う。
- 毎年4月後半、鯉のぼり100匹を揚げる。
- 令和5年度から有料によるつつじの草刈りと鯉のぼり掲揚体験を実施。

**成果**

- 集落の近くには国道9号線が走り、JR山口線の無人駅（青野山駅）があり、つつじの開花期には県外ナンバーの車で賑わうようになった。
- 令和4年（第30回）しまね景観賞「景観づくり貢献賞」受賞。



つつじ開花と鯉のぼりの全景



地域住民による畦畔の草刈り



鯉のぼり掲揚作業体験

〒699-5607 鹿足郡津和野町耕田1109-1  
0856-72-1500 seizan.murakami@gmail.com

しめがわ かね  
**注連川の糧**

自然環境を活かした美味しい米づくり

**概要**

- 平成17年に自然環境を守る意思のもと有志で設立し、現在メンバーは10名。育苗から出荷までの一連の作業を分担し、良質米生産と省力化を図りながら、事業の有用性を情報発信。
- 独自の栽培基準K1（化学肥料及び農薬不使用）、K2（化成肥料不使用、農業3成分以内）を設け栽培に取り組む。
- 地元小学生を中心に参加者を募り、田んぼや水路の生き物調査を実施し、楽しく自然環境の大切さを学ぶ体験活動や、はぜ干し講習会を実施し、その効果と技の伝承に取り組んでいる。

**成果**

- 雑草、害虫対策や収量減等の問題はありますが、土壌は豊かになり、生き物も増え、米の食味は著しく向上した。平成18年より米の食味全国コンクールに出品し、最優秀賞を多数回受賞し、栽培方法や良食味産地としての裏付けとなっている。
- 一大イベントの「収穫祭」には多くの参加者（50～70名）があり、味比べクイズやコンサートを実施し、皆で収穫を喜びとともに、美味しい米づくりの評価と課題検証を行い、メンバーの技術向上と生産意欲を高める場となっている。



生き物調査の参加者



子供たちが生き物調査をしている様子



はぜ干し講習会の様子

〒699-5517 鹿足郡吉賀町注連川1241  
0856-78-1218 asakura@kominkan.town-yoshika.ed.jp

関連情報はこちら ▶



のうじくみあいほうじん たちごうちきずな  
**農事組合法人 立河内絆**  
 深めよう絆 繋げよう未来へ

概要

- ほ場整備を契機に法人を設立（現在の組合員数は26戸）し、平成30年から、除草剤の削減を目的にアイガモ農法に取り組む。
- 田植えの10日後、10a当たり10羽のアイガモのヒナを放鳥。
- 令和2年度に有機JASと島根県のGAP（生産工程管理基準）認証制度の「美味しまね」を取得、令和4年度にはより高い水準の「美味しまねゴールド」を取得。

成果

- アイガモ農法の面積は、地域の協力により、平成30年度の3.6haから令和6年度には約2.4倍の8.8haに増加。
- 収穫された有機JAS米は、町内の学校給食に使用される他、県外の生協や卸売業者に「鴨ん米米（かもんべいべい）」として出荷、慣行栽培米の約2倍の価格で取引され、所得向上を実現。



到着後のアイガモのヒナの様子



害虫駆除と除草作業をするアイガモ



「鴨ん米米 (かもんべいべい)」のパッケージ

〒699-5514 鹿足郡吉賀町立河内833  
 090-1013-2657 jinde032117m@helen.ocn.ne.jp

地方  
 奨励賞

よしかわ たかし  
**吉川 岳**

世界一の漁師 いただく命を料理人にバトンタッチ

概要

- 海士町で素潜りの魚突き漁師になって7年、目に見えて海の中が変化していくと感じ、資源管理への思いを強くし、必要な数だけ突くことに（1尾～5尾/日）。
- 脳メ・血抜き・神経メ・胃洗浄・冷やしこみを行うことで鮮度を通常の3～4倍長持ちさせることが可能に。輸送にかかる離島のハンディキャップを魚の熟成時間に変える。その品質が認められ、地元のホテルの他、ミシュラン三ツ星レストランなど、国内トップクラスの店舗と取引を行っている。

成果

- メディアへの出演（NHKアカデミア）や講演（日本サステナブル・レストラン協会ほか）、企業研修の講師として活動するほか、イタリアで開催された食の祭典「テッラマードレ・サローネ・デル・グスト」にSlow food Nippon日本代表として参加。
- 高品質化により市場価格の約3倍の単価を実現（例：インダイ1,500円/kg→5,000円/kg）。個人営業及びロコミで販売が広がり、コロナ禍明けから売り上げが増加。



地元小学校での命の大切さを伝える授業



オーガニックの母、アリス・ウォーターズ氏との出会い



海中で行う脳メ・神経メ

〒684-0412 隠岐郡海士町御波798-4  
 080-3844-6411 gaku.fisherman@gmail.com

関連情報はこちら ▶





なかがみ ひかり  
**中上 光**

隠岐の豊かな海で育む『隠岐のいわがき』

**概要**

- 昭和53年にイタヤ貝養殖を開始後、地元の海に生息していた天然イワガキに着目。島根県水産技術センターと連携し、平成4年、苦難の末に全国で初めてイワガキの完全養殖に成功。
- 近年、イワガキ養殖生産者の高齢化が進み、後継者育成が急務であるため、島根県と担い手協定を締結。UIターナーの受入体制を強化するとともに後継者育成にも尽力。
- 全国的にも厳しい「隠岐のいわがき衛生管理マニュアル」を策定し、安全・安心な生食用イワガキとして高い評価を獲得。

**成果**

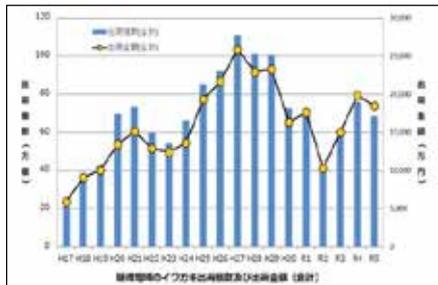
- 完全養殖の成功によりイワガキ養殖は隠岐4島に広がり、今では2億円産業にまで成長。所得の向上と地域の雇用創出に大きく貢献。
- 中上氏から始まり隠岐地域で大きな産業となった養殖イワガキを『隠岐のいわがき』という名称でブランド化し、島根県のみならず全国へPRし、販路の拡大に成功。



イワガキ完全養殖に成功した中上光氏

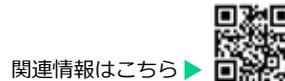


ブランド化に成功した「隠岐のいわがき」



隠岐地域のイワガキ出荷個数・金額の推移

〒684-0211 隠岐郡西ノ島町大字浦郷3534  
08514-6-0381 pecten@lily.ocn.ne.jp



おかだ さわ  
**岡田 紗和**

持続可能な作るところから食べるところまで

**概要**

- 知夫村役場に移住相談に行っただご縁で令和3年から地域おこし協力隊として来島し移住。遊休農地を借り、村民の協力を得て開墾から土づくり。今では約50種類の野菜栽培と軍鶏を飼育。
- 自ら育てた食材を活かそうと古民家を借りて開いたフレンチレストランも今では、村民だけでなく隣島・本土からの来客で賑わっている。食品加工販売を手掛け、サステナブルな6次産業を展開。令和6年12月から古民家レストランに宿泊施設「オーベルジュ」を併設。観光客の呼び込みに寄与。

**成果**

- フレンチレストラン及び加工品の販売により売上が安定し、宿泊施設開業によって更なる売上増加を見込む。
- 食肉処理施設を建設し、知夫軍鶏のブランド化を目指す。
- 高品質な野菜、新鮮な魚介類と軍鶏を提供することにより、フレンチレストランを村民が食を楽しむ場として提供。村民の生活ある生活実現に貢献。



生き生きとした野菜たち

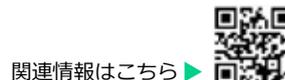


隠岐の海で獲れた食材（ある日の前菜より）



地鶏知夫軍鶏

〒684-0105 隠岐郡知夫村仁夫2293  
090-6320-6988 ms.chezsawa@gmail.com



みなみかぜ

## 南風

島にあるもの全てが宝

## 概要

- 隠岐の島町にIターンして約10年。その間に空き家を借り、平成29年に民宿「KUSUBURU HOUSE」をオープン。SNS等を活用し若い人たちに隠岐の島町の魅力を発信。
- 島内外に知り合いが増える中で、島へのUIターン者や島に興味ある者から「島の仕事が分からない」「住む処がない」、島の企業からは「人手が足りない」「事業が消えていく」等の声を聞き、移住者と地元企業等との情報交換の場として「移住者交流会」を企画。

## 成果

- 令和6年5月、役場の町内放送や回覧板を活用して参加を募った「移住者交流会」には、予想を超える地元の住民や事業者が集まり、「こんなにIターン者がいたとは」「ビジョンを起こす人物の話を聞きたい」等、活発な意見交換の場となった。
- 顔を合わせた地道な交流を重ねることで、信頼が生まれ問題解決につながる。今後、人材紹介を含めた事業を立ち上げる構想を持った。



隠岐の島町保有施設での交流会の様子



3人グループに分かれフリートーク



交流会記念写真

〒685-0303 隠岐郡隠岐の島町南方1227-1  
08512-3-1088 info@kusuburu-house.com

関連情報はこちら ▶

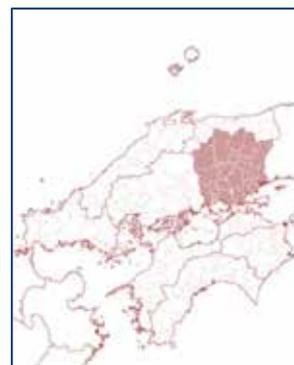
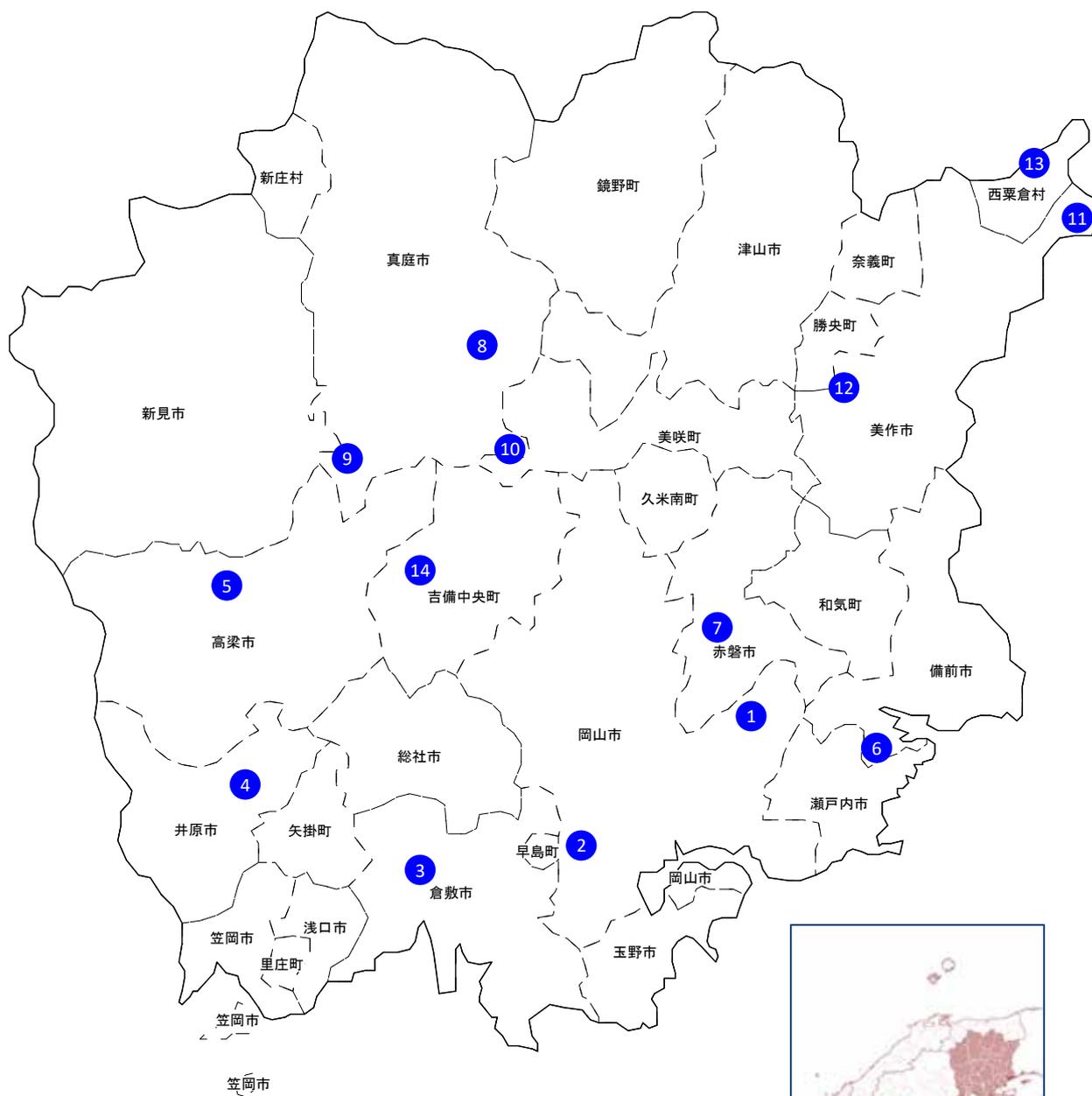


**岡山県**

## 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (岡山県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①		団体	岡山市	おかき戦隊瀬戸南じゃ～ (岡山県立瀬戸南高等学校)	農業	6次産業化	企業との連携
②		団体	岡山市	岡山高等学校コメ作り×エシカル消費プロジェクト	農業	地産地消	学生・若者の活躍
③		団体	倉敷市	特定非営利活動法人こうのさと	荒廃農地対策	復興	多様な分野との連携
④		団体	倉敷市	有限会社阪本鶏卵	6次産業化	地産地消	関係人口の創出
⑤		団体	高梁市	一般社団法人 宇治雑穀研究会	6次産業化	食育・教育	農村環境・景観保全
⑥		団体	備前市	東鶴山地区を元気にする協議会	教育機関との連携	高齢者の活躍	女性の活躍
⑦		個人	赤磐市	戸田 洋美	6次産業化	企業との連携	地産地消
⑧		団体	真庭市	NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト	農業	6次産業化	高齢者の活躍
⑨		団体	真庭市	中津井せんだんの会 遺産保存部	伝統の継承	農村環境・景観保全	多様な分野との連携
⑩		団体	真庭市	吉縁起村協議会	荒廃農地対策	地域のスマート化	その他(中山間地域のデジタル化)
⑪		団体	美作市	FARM RESORT あわのわ (東粟倉農泊推進協議会)	農泊	関係人口の創出	
⑫		団体	美作市	美作市農林産物販路開拓会議もち麦部会	農業	6次産業化	地産地消
⑬		団体	西粟倉村	大茅地区活性化協議会	棚田保全	農村環境・景観保全	関係人口の創出
⑭		団体	吉備中央町	吉備中央町農家民宿推進協議会	農村文化体験	女性の活躍	関係人口の創出

# 応募地区（者）所在市町村図（岡山県）



せんたいせとなん  
**おかき戦隊瀬戸南じゃ〜** (岡山県立瀬戸南高等学校)  
 おかやまけんりつせとみなみこうとうがっこう  
**商品開発と交流で地域活性化を目指して!**

## 概要

- 「おかき戦隊瀬戸南じゃ〜」を結成し、新商品「瀬戸南おかき」の開発と併せて、カラフルなつなぎを着て地域イベントに参加。販売活動や地域特産品の宣伝に取り組む。
- おかやま農業女子のイベントへの参加や農家や製造会社での実習、見学など多様な機関と連携・交流を図る。
- 継続的に地域の特産品を活用した新商品開発に取り組んでおり、令和5年度に3つの商品を開発。

## 成果

- スマート農機を活用した多数回中耕除草技術の実用化試験に地域と連携して取り組んでおり、研究成果の発表や中学生向けの実演を実施。
- 同校が開発した商品をヒントに、地元の製菓会社が味噌おかきを開発し、輸出するなど地域企業の新商品開発にも貢献。
- ホームページやInstagram等のSNSを活用し、情報発信を行った結果、イベント参加の依頼が急増し、令和5年度は10回の校外販売活動を実施。



地域の販売会で歌を披露



おかやま農業女子との交流



中学生に中耕除草実演

〒709-0855 岡山市東区瀬戸町沖88  
 086-952-0831 setomina@pref.okayama.jp

関連情報はこちら▶



おかやまこうとうがっこう  
**岡山高等学校コメ作り×エシカル消費プロジェクト**  
 しょうひ  
**「ツバサクラ」から広げる課題解決の輪**

## 概要

- エシカル消費啓発活動として、全農おかやまの「瀬戸内かきからアグリ事業」の下、かきがらを土壌改良資材としてまいて、栽培した里海米をオリジナルブランド「ツバサクラ」として、商品化するなど、取組のPRに貢献。
- 「ツバサクラ」と一般社団法人コノヒトカンの缶詰を使用した防災食レシピを考案し、令和5年、6年に「おかやまSDGsフェア」の飲食ブースでの販売を実施。
- 海洋課題学習を契機に、瀬戸内海の実験課題啓発を目指した缶詰「syakocan(シャコのリゾット缶詰)」「アイゴのアーヒョ缶詰」を開発。

## 成果

- 他の社会的課題解決のためのコラボレーションとして、多国籍フードイベント「The World Kitchen」での販売を通して、県内在住の外国籍の方に各種の取組をPRするほか、かきがらをテーマに学習を行う韓国・忠武高校生徒グループと意見交換を実施。
- 探求学習グループから始まった地域課題解決プロジェクトを通して取り組んだことが、地域貢献につながる活動となり、新たな協働に発展するきっかけづくりとなった。



瀬戸内市邑久町での里海米栽培



イベント販売の様子



里海米を使用した商品 (缶詰)

〒701-0206 岡山市南区箕島1500  
 086-282-6336 hayashih@okayama-h.ed.jp

関連情報はこちら▶



地方  
奨励賞

とくていひえいりかつどうほうじん  
**特定非営活動利法人こうのさと**  
 みんなでひろげよう祝福のワ

## 概要

- 新型コロナウイルス感染拡大で地域コミュニティが縮小する中、妊産婦や子育て世代の孤立を防ぐために、令和3年に設立。
- 子どもとお母さんが畑作業を行う「みんなで畑活」を開催。
- 令和5年4月にはオルナティブスクール「竹林のスコレー」を開校。田畑、山林、耕作放棄地を含む約3haのフィールドで、体験重視の「学びの場」を提供。

## 成果

- 活動開始以来、これまで妊産婦さん812名（令和6年7月現在）に有機栽培野菜をプレゼント。
- 岡山県と共同で「倉敷穂井田竹灯籠まつり」を開催。放置竹林間伐、間伐材から竹灯籠を製作し開催後は竹炭として農地の土壌改良資材に活用するなど循環型社会を実現。
- 平成30年西日本豪雨で耕作放棄地となった田を借り、土砂や瓦礫の撤去や水路の再整備をして復活させ、有機農業で米を栽培。



妊婦さんへの有機栽培野菜のプレゼント活動



親子で畑活、夏野菜の鉢上げと植え付け



水害から復活した田んぼで田植え

〒710-0004 倉敷市西坂683  
 080-3873-5523 info@konosato.org

関連情報はこちら ▶



ゆうげんがいしゃさかもとけいらん  
**有限会社阪本鶏卵**  
 エッグマルシェ～卵で地域活性化～

## 概要

- 生産コストの上昇に苦慮している中、「卵と卵に携わる者の仕事の価値向上や地域の魅力発信」を目的に、エッグマルシェを開催。地域の事業者や農家との連携を進め、卵を使った料理やスイーツを提供するなど「卵の魅力」を発信。
- 鶏糞堆肥を利用した野菜生産のほか、地元農家との連携により耕作放棄地を利用した飼料用米を生産し、鶏への給餌を実施。

## 成果

- エッグマルシェでの集客数が当初の420名（令和3年）から4,000名（令和5年）に増加し、人気が急上昇。
- 直売所やエッグマルシェでの情報発信の効果により、岡山県内の小売店に、阪本鶏卵出張直売コーナーを11か所開設。（令和6年8月9日現在）
- 飼料用米は年間約20トンの安定生産が図られ、飼料の一部として活用することで、地域循環を実現。



大人気の卵サンド



エッグマルシェの開催



阪本鶏卵出張直売コーナー

〒712-8055 倉敷市南畝3丁目13-31  
 086-455-7370 sakamotogp8.8@festa.ocn.ne.jp

関連情報はこちら ▶



いっばんしゃだんほうじんうじざっこくけんきゅうかい  
**一般社団法人宇治雑穀研究会**  
 地域を元気に!!

**概要**

- もち麦（キラリモチ）の栽培面積（当初10a）が157aに拡大、耕作放棄地の解消に寄与している。
- 平成29年には県内ビール醸造所と連携し、市内初の「地ビール」として「もち麦ビール」を商品化。
- 令和元年、カフェ「麦」をオープン。毎週月曜日には、もち麦を使ったランチを提供するほか、地元の農産物の販売、地域住民の交流・憩いの場として定着。



もち麦の収穫作業



もち麦を使った商品



カフェ「麦」とそのスタッフ

**成果**

- 地域の高齢者に加え、移住者や女性、若者の力が加わって、もち麦栽培や地ビール、カフェなどを展開することで、高齢者の生きがい確保や耕作放棄地の解消を実現。
- また、地域内外住民との交流、大学生や高校生との連携、食育活動などを進め、地域活性化に取り組む。

〒719-2232 高梁市宇治町宇治1831-1  
 0866-29-9550 yamasato@kibi.ne.jp

関連情報はこちら ▶



ひがしつるやまちく げんき きょうぎかい  
**東鶴山地区を元気にする協議会**  
 ふるさと再生 女性・高齢者の活躍や小学生との交流

**概要**

- 耕作放棄地を農地として再生し、花しょうぶ園や栗園を整備するほか、花しょうぶ園の見学や栗拾いなどを開始し、こども園の園児や小学生と交流。
- 月1回開催の「ふるさとサロン」で地元の農産物を使った惣菜の提供や、歌手を招待したり、写真、絵手紙の展示等を実施。
- 県のおかやまアダプト推進事業に参加し、地区内の道路のゴミ回収やガードレールの清掃などの地域活動への積極的参加。

**成果**

- TV、新聞等のメディアを通じた広報PRにより花しょうぶ園の見学者を増員させる等、地域活性化に貢献。
- 「ふるさとサロン」は、高齢・過疎化が進む中、地域の高齢者の貴重な憩いの場となっている。（年間利用者は400名程度）
- 地区の入口に花壇を整備し、1年を通し花を愛でる景観を形成。（作業には年間のべ150人が参加）



小学生が花しょうぶ園に来園



こども園の園児の栗拾いの様子



ふるさとサロンの様子

〒705-0026 備前市佐山1592-1  
 0869-65-8201 4608e5v372@mailbox.next-bb.ne.jp

関連情報はこちら ▶



とだ ひろみ  
戸田 洋美

## 未利用資源で地域の魅力づくり

## 概要

- 令和2年8月に地域おこし協力隊として赤磐市に移住し活動スタート。
- 「エシカル・アップサイクル・サステナブル」を軸に、地元農家と協力し、規格外の果物を活用して新たに製品開発を行うなど、地域特産品の価値を高める活動を実施。
- 岡山大学などで学生に対し農産物を通じた地域活性化やサステナブルの重要性を伝える講演を実施。



開発した除菌ウェットティッシュ



岡山大学農学部にて講演



大学生と連携（会議の様子）

## 成果

- 赤磐市で生産される果物（桃やぶどう等）の規格外品を活用し、「除菌ウェットティッシュ」「塩ドライフルーツ」を開発。
- 開発した商品はふるさと納税の返礼品、市と県の観光事業販促品として活用され、農家の所得向上、廃棄物の削減、地域の魅力発信など多方面に波及する取組となる。
- 大学生や地元企業と連携した取組により、関係人口の増加や地域活性化などにも貢献。

090-7974-2690 todahiromi@hotmail.co.jp

関連情報はこちら▶



えぬぴーおーほうじんまにわ

## NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト

「お節介野菜」から広がる地域循環の輪！

## 概要

- 令和元年より、規格外で捨てられる地場産野菜をなくすため、地域の高齢者がカットした規格外野菜を商品化・販売する「お節介野菜」のプロジェクトに取り組み、毎年取扱量が増加。
- 地域の家庭生ゴミ等から精製したバイオ液肥による循環型農業の推進や食品ロスの削減、高齢者の活躍などを組み合わせた環境・農業・福祉の連携モデルとして取り組む。

## 成果

- 規格外野菜を活用することにより、年間約24トンの食品ロス削減、地域の農家所得向上、耕作放棄地の利活用に繋がっている。
- 高齢者の収入、健康・福祉の増進、生きがいや活躍の場となっており、令和5年度のプロジェクトの参加人数は106名に増加（最高齢は96歳）して、乳幼児を持つ母親世代も加わり、加工作業を通して地域の多世代交流の場となっている。



カット野菜の作業をする高齢者グループ



真庭のSDGsモデルを支援



地域資源を活用した「お節介野菜」

〒719-3115 真庭市中396-1  
0867-45-7776 npo-info@maniwa-agurigarden.com

関連情報はこちら▶



なかつい かい いさんほぞんぶ  
**中津井せんだんの会 遺産保存部**  
 悠久の里中津井地区の遺産整備・保守・伝承・発信

## 概要

- 佐井田城址までの登山道や周辺の木々の伐採等の環境整備に取り組む。毎年、新春佐井田城址新春ウオーキングでは、手作りの甲冑による足軽や武将姿での参加など、子供から大人まで楽しめるイベントを実施。
- 国指定史跡「大谷古墳」「定古墳群」付近の植込みの選定や草刈り等を行うとともに、大型バスでの来訪者への説明・案内等の活動を実施。
- 説明案内板やルート案内板の設置等の環境整備に取り組む。

## 成果

- 地元住民の高齢化により清掃などの活動が難しくなる中、遺産保存部で協力して環境整備等を継続して行い、地域との交流や歴史の発信が進んだことが、地域の遺産を後世に伝承することにつながった。



新春佐井田城址ウオーキング



弓の実射体験



足軽姿の参加者

〒716-1421 真庭市下中津井1000  
 080-1917-8436 mori.ukanya205@gmail.com

関連情報はこちら ▶



よしえんぎむら きょうぎかい  
**吉縁起村協議会**  
 クリエイティブ（創造する心）を大切に！

## 概要

- 平成26年に地域の小学校廃校が決定。その後も郵便局や路線バスが廃止になるなど、地域の高齢化と相まって、地域活動が停滞。
- 村の有志による地域看板づくりから始まり、岡山県美作国創生公募提案事業の採択を皮切りに、農業者と非農業者が連携する農村RMOを組織して、農産品、特産品の開発・販売による収益確保と生活支援に向けたデジタル技術を導入。

## 成果

- 耕作放棄地を中心に特産品（スイオウ・ショウガ等）や高付加価値のインディカ米の栽培、加工品を開発。令和2年に拠点施設である有人店舗を開設し、令和5年度の売上は81万円。また、生活の質向上を目的とした無人キャッシュレス店舗の「スマート♥縁起村」をNTT西日本と連携して令和5年10月に開店し、令和5年度の売上は15万円。
- デジタル技術の導入を推進しており、地籍図データ、農地台帳、中山間台帳、森林簿、空き家情報などのデジタルマップを作成。それらを活用することで会議やワークショップの効率が向上。



みんなでチャレンジ、ショウガの契約栽培



無人キャッシュレスのスマートストア



GISデジタルマップで地域管理構想

〒719-3136 真庭市吉3614-2  
 090-2001-4557 yoshiengimura888@gmail.com

関連情報はこちら ▶



ふぁーむりぞーと  
**FARM RESORT あわのわ** (東粟倉農泊推進協議会)  
 岡山のてっぺんでグランピング×田舎体験

## 概要

- 地元の事業者が連携し、地域資源を活かした様々な体験メニューとグランピングができる一棟貸しの宿を組み合わせた滞在型ツアーを提供。
- 地域全体を体験フィールドとして活用し、魚のつかみ取りや農業体験をはじめ、地元の野菜や川魚及びジビエをたき火やBBQコンロで楽しく味わえる工夫をしている。また、新たに宿泊施設の壁面を利用した屋外シアター（蔵シネマ）を実施。



足踏み脱穀機を使った脱穀体験

## 成果

- 民宿、カフェ、農家、川魚養殖業者等が連携し、新たなプログラムや宿泊内容を強化することにより、地域と宿泊者との更なる交流が深まった。
- 懐かしさや素朴さといった田舎の雰囲気を感じながら、おしゃれさや快適さを備えた施設として宿泊数が増加しており、他地域との差別化が図られた。



地域全体を体験フィールドとして活用

〒707-0401 美作市後山1431-1  
 090-1181-7851 info@awano-wa.com

関連情報はこちら▶



みまさかしのうりんさんぶつはんろかいたくかいぎ  
**美作市農林産物販路開拓会議もち麦部会**  
 美作市産キラリモチもち麦くんを全国区に！

## 概要

- 美作市が、農家の所得向上を図り農業の担い手不足解消及び市民の健康増進を図るため平成30年に、β-グルカンが豊富なもち麦の品種「キラリモチ」の生産と普及推進を進める部会を設立。
- ブランド化したキラリモチ「もち麦くん」のほか、もち麦うどん、もち麦みそなどの加工品による販路拡大を図る。
- 併せて、イメージキャラクターによるイベント参加やオリジナルソングによる広報活動を実施。



もち麦くんともち麦加工品

## 成果

- もち麦「キラリモチ」の安定生産により地域の特産品の一つとなり、生産農家の農業所得向上に寄与。
- 生産農家が営業活動に積極的に関わり、売れた分が農業所得アップに繋がることを実感してもらうなど、持続可能な農業を実現。



イメージキャラクター

〒707-8501 美作市栄町38-2  
 0868-72-6694 nogyo@city.mimasaka.lg.jp

関連情報はこちら▶



おおがやちくかつせいかきょうぎかい  
**大茅地区活性化協議会**  
 地域に誇りを持ちいきいきと暮らそう

**概要**

- 「地域に誇りを持ちいきいきと暮らす」ことを目標に平成27年に協議会を設立し、源流の自然を生かし、再び関係人口を生み出そうと「花と文化のふるさとづくり」に取り組む。
- 棚田の法面、畦道へ芝桜の植栽を続け、夏休み親子川イベントをはじめとする地域資源を活用したイベント（押花教室、女性部による昼食会、学生の受入）の開催や文化活動（古文書の保存活動）などを実施。



令和6年4月6000人が来園する景観誕生

**成果**

- 毎年春には多くの人々が訪れるようになり、令和6年には17,500株の芝桜が植え付けられ6,000人が来園。
- 女性部による地区のお米や黒豆等を使用した「炊き込みご飯の大好握り」がメディアで紹介され、名物となる。



地域資源を活かした夏休み親子川イベント

〒707-0501 西粟倉村大茅867  
 090-7371-9809 kozai.y.m@gmail.com

関連情報はこちら ▶



きびちゅうおうちょうのうかみんしゅくすいしんきょうぎかい  
**吉備中央町農家民宿推進協議会**  
 国境を越えておもてなし

**概要**

- 平成27年に豊かな自然と田舎に暮らす人々の心の温もりを観光資源として発信するための協議会を設立し、「田植え体験」「郷土料理作り」「餅つき体験」など体験型コンテンツを提供。
- 岡山市、真庭市と連携し、ムスリム圏のインバウンド向けツアーの創出や岡山県の郷土料理のばら寿司を令和版に考案した「晴れ寿司」を作るモニターツアー等で町の魅力を発信。
- 若手開業者を中心に、癒しをテーマにヨガ体験のできる民宿や、古民家の拡充など、各民宿の個性を活かしたPRを実施。

**成果**

- 多様な体験コンテンツや宿主との交流等が好評を得て、国内では関西圏、海外では台湾を中心に修学旅行の受入が増加するほか、移住体験の一環として宿泊する一般観光客も増加し、令和5年度の宿泊者数はコロナ前の水準（321人）に回復。



マレーシア人インフルエンサーと日本食づくり



台湾の学生による餅つき体験



台湾の学生による宿泊体験

〒716-1101 加賀郡吉備中央町豊野1-2  
 0866-54-1301 kyoudou@town.kibichuo.lg.jp

関連情報はこちら ▶

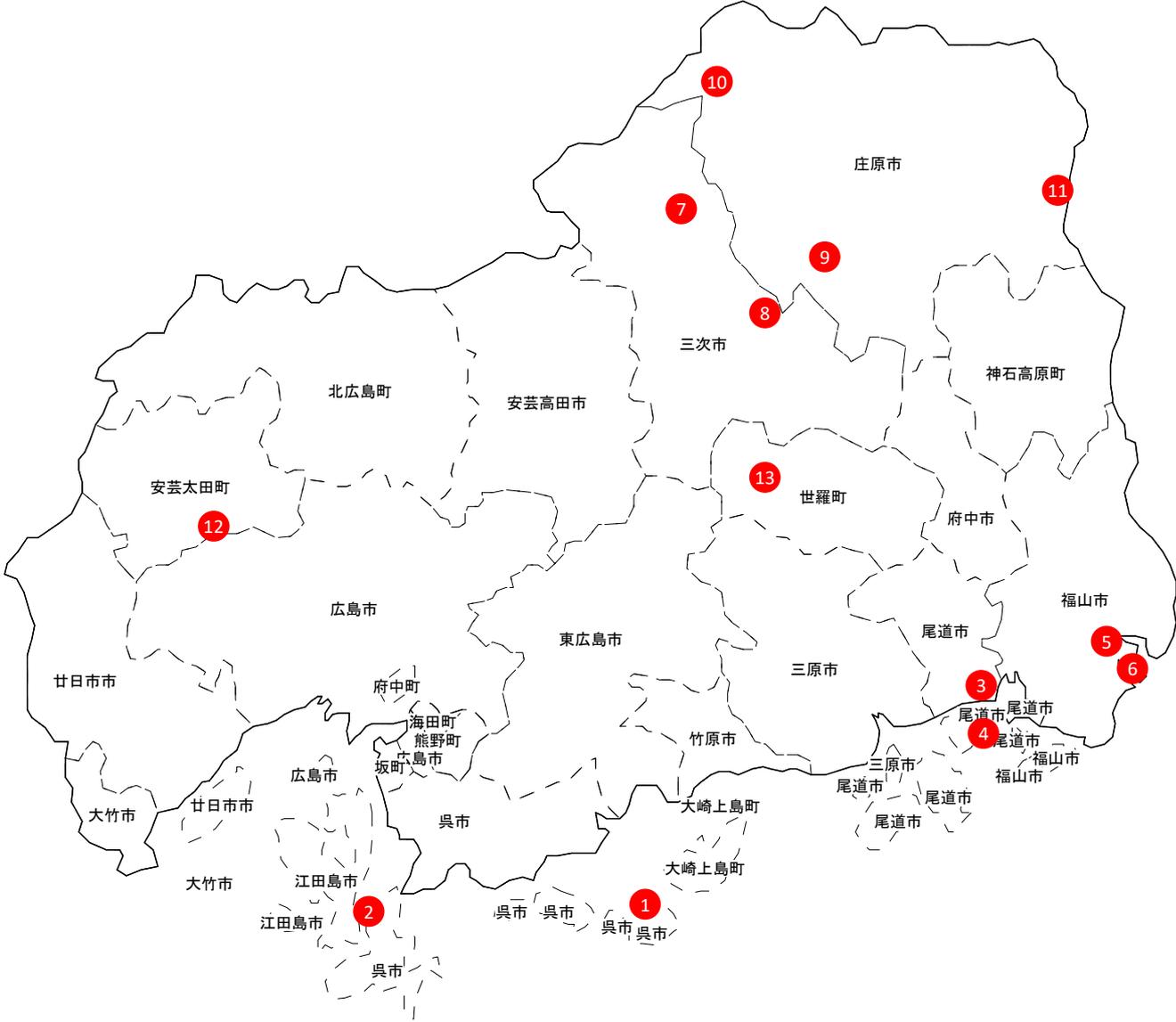


**広島県**

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (広島県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①		団体	呉市	ナオライ株式会社	6次産業化	農泊	伝統の継承
②	地方 奨励賞	団体	呉市	山本倶楽部株式会社	6次産業化	荒廃農地対策	高齢者の活躍
③		団体	尾道市	瀬戸内怪獣レモンプロジェクト委員会	農業	企業との連携	荒廃農地対策
④		個人	尾道市	濱浦 志保香	農業	6次産業化	環境保全(農林水産業・食品産業)
⑤		団体	福山市	福山くわい出荷組合	農業	6次産業化	伝統の継承
⑥	地方 奨励賞	団体	福山市	若井農園	農業	雇用	多様な分野との連携
⑦		団体	三次市	石原ひまわり会	荒廃農地対策	鳥獣被害防止	農村環境・景観保全
⑧	地方 奨励賞	団体	三次市	株式会社福田農場	農業	6次産業化	高齢者の活躍
⑨		団体	庄原市	広島県立庄原実業高等学校	農業	輸出	環境保全(農林水産業・食品産業)
⑩		団体	庄原市	農事組合法人 高野りんご加工組合	6次産業化	地産地消	関係人口の創出
⑪		個人	庄原市	藤本 聡	農業	環境保全(農林水産業・食品産業)	食育・教育
⑫	地方 奨励賞	個人	安芸太田町	友松 裕希	6次産業化	棚田保全	地産地消
⑬		団体	世羅町	おぐにフィールド	農業	スマート農林水産業	農村環境・景観保全

# 応募地区所在市町図（広島県）



かぶしきがいしゃ  
**ナオライ株式会社**  
時をためて、人と社会を醸す

概要

- 日本酒文化の継承 x 地域の特徴をテーマに、商品開発し地域の問題解決に向けて自然が再生するようなモデルを目指し活動。
- 特産品のレモンをテーマにした酒の開発をきっかけに、レモン栽培を始め、自社と地域の農家が栽培したレモンの皮と果汁を無駄なく使用した商品を開発し販売。
- 三角島に「五心庵」という一棟貸しの宿をつくり、自社で製造した「浄耐」というお酒を楽しめる「食体験」や実際にレモン栽培を体験できる「農体験」を提供。

成果

- レモンを使った商品の販売増加に伴い、地域のレモン農家との連携が拡大。また、市場価格より高額で買い入れることで、地域農家の所得向上に寄与。
- 令和5年に日本航空と連携して行ったモニターツアーを通じて、国内外から来客及び問い合わせが増加。



レモンと日本酒を活用したお酒 琥珀浄耐



レモンの皮を活用したエッセンシャルオイル



三角島に設立した農泊、一棟貸し宿五心庵

〒734-0304 呉市豊町久比3960番地三角島  
03-6801-5638 hi@naorai.co

関連情報はこちら ▶



地方  
奨励賞

やまもとくらぶかぶしきがいしゃ  
**山本倶楽部株式会社**  
安芸の島の実プロジェクト

概要

- 耕作放棄地が拡大していく事に危機感を覚え、官民が連携し地域活性化を目指した「安芸の島の実プロジェクト」を立ち上げ、地域農家の方々とともにオリーブの栽培を開始。
- 収穫された地域のオリーブは、当社が買い取り「江田島オリーブファクトリー」でオリーブオイル等の加工、販売。製造したオリーブオイルは毎年、海外のコンテストで賞を受賞。その他レストラン、ショップも併設。

成果

- 地域におけるオリーブの収穫量は令和5年度に12トン（自水分含む）となる等、栽培面積拡大により耕作放棄地解消に寄与。
- 作業にはシルバー人材の参加や小中学生の視察受け入れなど人的交流を行っている。また、オリーブの搾り粕を農業高校の豚の飼料として活用するなど連携が広がった。
- 加工場に併設したレストラン・ショップ、地域の雇用創出や経済活性化に寄与。



地元中学生による収穫体験



イタリア製の搾油機を導入



各種オリーブオイル商品

〒737-1216 呉市音戸町田原三丁目15-10  
0823-52-2201 shop@hiroshima-olive.jp

関連情報はこちら ▶





せとうちかいじゅう  
**瀬戸内怪獣レモンプロジェクト委員会**  
 いいんかい  
 「怪獣レモン」と、規格外の未来を耕せ！

**概要**

- 尾道の美しい景観と柑橘農業を守るため、それまで低価格で取引されていた規格外のレモンを高付加価値化することで、農家の収益向上と後継者問題の解決を目指す。
- 見た目のゴツゴツした規格外レモンを怪獣に見立て、「怪獣レモン」としてブランド化。
- 地元企業のみならず全国メーカーともスナック菓子やスイーツ、飲料などの商品を開発・販売。

**成果**

- 瀬戸内の豊かな資源を活かした商品を次々と開発し多くの消費者の支持を獲得。
- 地元食品流通大手と業務提携し、商品はより広範な地域に浸透。
- 農家の所得向上や地域の雇用創出を実現開始。
- 大学生を対象としたインターンシッププログラムを提供し、地方創生に向けた次世代リーダーの育成にも注力。



怪獣レモン



地元企業コラボ商品



遊園地に大規模売り場を構築

〒722-0052 尾道市山波町247-7  
 090-4897-7304 info.monsterlemon@gmail.com

関連情報はこちら ▶



はまうら しほか  
**濱浦 志保香**

生命と環境を考慮 自然農法で自家産品を開発

**概要**

- 先代は、昭和28年に漁業からみかんや梅の農業生産へと生活の基盤を移行。
- 昭和57年に就農し、平成25年に生前の先代が悲願としていた「環境に優しい自然農法」を達成。
- 3月は梅の花見、6月は梅もぎ体験、9～10月は日本いちじくのもぎとり体験を開催。
- 自家及び地元産物を自家加工し、道の駅やHPで販売。

**成果**

- 「もったいない精神」で取り組んだジャム1品から始まり、40年の時を経て約10種類50品目以上の農産加工品を開発。
- 土産店、観光ホテル、量販店、高速道SA、卸店、OEM品等50店舗以上で取扱い。通販業務は加工品ギフトや青果の受注販売等、多岐に渡る。
- 広島県労働局の補助事業を活用して労働環境改善を遂行。かねてより地元の雇用創出、地域活性化に寄与。



万汐農園 満汐梅林 花見風景



加工場 炊き込み風景

〒722-0073 尾道市向島町2387-10  
 090-1684-0818 manchou3@yahoo.co.jp

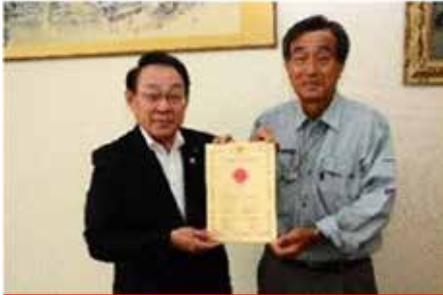
関連情報はこちら ▶



ふくやま しゅっかくみあい  
**福山くわい出荷組合**  
 地域の活性化、ブランド力強化！

**概要**

- くわいの共同出荷に取り組むことにより産地間競争で優位に立ち、市場に対して一定の供給量を確保することによって特産地としての信頼を得た。
- 農地及び生産者の減少が進む中、関係機関と協力し新規就農者募集、離農者の圃場で作付けを行うなど、産地を維持。
- G I取得による生産体制・ブランド力を向上。
- おせち料理食材で文化的食材である「福山くわい」の食農教育。



地理的表示保護制度の登録

**成果**

- 芽が出る食材（縁起物）として、季節を問わず販売を行う以外に、規格外品のくわいを使用したスナック菓子のほか、ポタージュ・うどん・焼酎・レトルトカレーなどを開発・販売。
- ブランド力向上により、加工用くわいの単価向上と正品の売上増加により農業者の所得が向上。
- 伝統野菜の需要維持・継承。



6次産業化の取組

〒720-0822 福山市川口町2-12-7  
 084-981-2455 jfk920@jafukuyama.or.jp

関連情報はこちら ▶



地方  
 奨励賞

わかいのうえん  
**若井農園**

アジア野菜を通じた多文化共生へ

**概要**

- 若井代表が外国人技能実習制度を利用し、インドネシア人のカーエル・ファーミ氏と妻の先家氏の3名で活動を開始。
- 在留外国人が母国で主流に食べているアジア野菜を届けることをきっかけとして、日本とアジアの多文化共生を目指す。
- 全国のインドネシア人達に届けるため、自社の直売所のほか、SNSを通じてオンラインで野菜、ハラル食品を販売。
- コンテナハウスを改造したイスラム礼拝所を作る。



アジア野菜直売所 左若井代表 右ファーミ氏

**成果**

- アジア野菜の売上高は初年度比で6.4倍へ増加。
- 芋掘りや「トウモロコシ奨学金プロジェクト」等、外国人と関わることができるイベントを開催し延べ300人以上の日本人と外国人が畑で交流。
- 外国人のお母さんたちの雇用が、日本語を話すことができない母親と子供ら、キリスト教やイスラム教等の宗教感を大切にしている人々のコミュニケーションを生み、孤立を防ぐ取組へとつながった。



畑に広がるアジア野菜

〒721-0957 福山市箕島町324-1-1  
 090-8527-8052 info@wakaifarmmy.com

関連情報はこちら ▶



いしはら かい  
**石原ひまわり会**  
 女性が動けば地域が変わる

**概要**

- 稲作を主体とした中山間地域において深刻化する農作物への鳥獣被害防止に役立ちたいとの思いから、観光交流拡大を目的に転作田にひまわりを咲かせた「ひまわりまつり」を行っていた集落女性が主体となって「石原ひまわりの会」を立ち上げた。
- 会員が主体となって、遊休農地を活用した鳥獣被害に強い野菜栽培モデル圃場を設置。
- 中山間地域直接支払交付金事業役員や農地利用最適化推進委員へ当会の女性会員が就任。



モデル圃場に設置した看板



作物管理圃設置作業



外部講師を招いての6次産業化研修

**成果**

- 会の設立をきっかけに、これまで個々の農業者が行っていた鳥獣被害対策を、集落一体で取り組むようになり対策効果が向上。
- 6次産業化に係る研修を開催したり、収穫した野菜を直売所、障害者就労事業所などに出荷したりし、耕作放棄地の再生に寄与している。
- 各種集落の組織活動の女性役員の選任が拡大。男性主体の議論であったものが、和やかな雰囲気の中で、時間のけじめがある進捗が図られるようになった。

〒728-0404 三次市君田町石原151  
 090-9061-5165 kogawa.mtr@p1.pionet.ne.jp

地方  
 奨励賞

かぶしきがいしゃふくだのうじょう  
**株式会社福田農場**  
 地域と共に農の恵みを人の笑顔に繋げる

**概要**

- 組合員の高齢化で継続が困難となった任意営農組合に代わって、現在の代表取締役が株式会社福田農場を平成19年に設立し地域の担い手となった。
- 従業員の生活改善と就労機会の場として、自社加工所での味噌、餅、コンニャク、総菜等の農産加工品づくりを行い、6次産業化を推進。
- 自家生産の米などを活用して製造した米粉パンを自社店舗のほか、移動販売車で事業所や高校に訪問販売。

**成果**

- 設立当初の経営面積は36haであったが、複数品種の稲作、大豆などの組み合わせによる作業分散により、令和6年には79haに拡大。
- 従業員が製造した農産加工品を県内の道の駅やスーパーなどで販売。従業員にとって、生涯社会参加の生きがいとなっている。
- 米粉パンの訪問販売は好評で、特に高校生から人気を博しているほか、地元小学生に米粉パンづくりの体験指導を行っている。



西組集落住民を雇用した農産加工品づくり



米粉パン 農産加工品販売店



地元小学生に米粉パンづくり体験指導

〒729-6201 三次市和知町2682-2  
 0824-66-2765

関連情報はこちら ▶



ひろしまけんりつしょうばらじつぎょうこうとうがっこう

## 広島県庄原実業高等学校

庄実Nashi（ナシ）が海を渡る

### 概要

- 日本ナシとブドウのASIAGAP認証を平成30年に取得（中国・四国地方の高校では初）。
- 果樹園芸研究室の活動で、国内人口の減少・高齢化による農産物消費の減少や農業生産基盤の維持困難を知り、果樹生産者の所得を確保し農業の生産基盤の維持を目的とした海外への販路開拓、GAP認証ナシの海外輸出を目指す。
- 環境に配慮した安心・安全なナシを輸出するため、「安心！広島ブランド」特別栽培農産物認証を取得。

### 成果

- 令和3年度に県内農業高校では初めてナシの海外輸出（香港へ二十世紀梨100kg）を実現。以来、継続して輸出に取組み、輸出したナシはすべて完売。
- 販売員から「シャキシャキとして甘く、外観はきれい」と高評価だった一方、果皮について「皮ごと食べるので薄いほうが良い」と指摘があったことから、健康・美容効果などの機能面をPRすることとした。国内でも説明POPに「皮ごと食べる」ことを提案し、新たな魅力発信と販促につなげている。



輸出出荷箱の前で記念撮影



香港現地販売員とのWeb会議



果皮の機能性成分をPR

〒727-0013 庄原市西本町一丁目24番34号  
0824-72-2151 shobara-h@hiroshima-c.ed.jp

関連情報はこちら▶



## 農事組合法人 高野りんご加工組合

まるごとギュッ！高野りんごの果汁です！

### 概要

- 農家の収入向上と高野りんごの知名度向上を目的とし、平成6年9月に高野町内のりんご生産者13名で任意組合を設立、平成22年6月に法人化した。りんごジュースの加工販売を30年以上続けている。
- 「道の駅たかの」開業に伴い、ジュースの製造販売に加え、収入増と規格外果実の利用のために、りんごの発泡酒（シードル）の開発に挑戦。県立広島大学・道の駅・醸造所・同組合の思いがつながることにより、商品が完成し販売に至った。

### 成果

- シードルに使われるのは酸味の強い品種だが、知名度が高く甘く蜜入りの「ふじりんご」を使用した「高野シードル」を製造。
- 元来のシードルの味に近づけるため、味は素晴らしいが栽培に手間がかかる「ゴールデンデリシャス」に着目。本来は廃棄される未熟で酸味がある生育途中の摘果果実を丁寧に収穫し、こだわり商品を開発。
- 豊富な品種を活かしたシードルの商品展開と、生食とは違う「高野りんご」の楽しみ方を提案し、新しい客層増加を目指す。



若積みシードル用の摘果りんご収穫直後



よく冷やしたシードルで、シュワッと乾杯！



甘口・辛口・ロゼ・シードル・りんごジュース

〒727-0423 庄原市高野町下門田318-1  
0824-86-3833

ふじもと さとし  
**藤本 聡**

一粒の米から万の笑顔を

概要

- 地域・消費者・環境・家族への安心を深化させ、農家から農業経営者へ発展させるため株式会社藤本農園を設立。農村交流施設「あいがもや」をオープン。
- 田植え歌の保存会を設立し、地元小学校での交流会、地元の祭り等で披露。地元小学校での食育指導や広島市内の小学生に合鴨農法を体験できるプログラムを提供。
- 米の食味コンテストで優勝したことをきっかけに庄原市ブランド米推進協議会を結成。

成果

- 合鴨と機械除草による化学農薬不使用栽培の実践と普及。近隣家畜ふんと落ち葉を混ぜて作った堆肥で地域の環境負荷低減栽培を主導。G7広島サミットのレセプションで合鴨米が使用される。農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」で三ツ星取得。
- 消費者向けのセミナーでは、農業体験交流・意見交換を開催し、年々参加者が増加。
- 各種食味コンテストでの受賞などの情報発信を行うとともに、さらなる技術の向上で販売促進を進める。



田んぼであいがもと



交流会にて田植え歌に合わせて手植え体験



G7広島にてCO2見える化事業をPR

〒729-5127 庄原市東城町粟田2939  
08477-2-2528 info@aigamoya.net

関連情報はこちら▶



地方  
奨励賞

ともまつ ゆうき  
**友松 裕希**

棚田のファンが集う、地産地消のカフェ

概要

- 地域おこし協力隊として、井仁の棚田の地域活性化を目的に活動。任期終了後は棚田のファンが集えるよう、「棚田カフェイニミニマニモ」をオープン。
- 棚田や自然の体験活動やイベント（オカリナ教室、藍染、味噌作り、茶摘み体験、ジャズコンサート等）を開き関係人口創出。
- 地域の方の指導のもと自ら作った米や、町内で廃業した製菓屋さんの有名スイーツを伝授してもらい、提供・販売を行う。

成果

- お米や野菜を使ったランチ等をカフェで提供して視覚だけでなく五感で棚田を楽しみ、滞在時間を増やす。また、メディア取材が増加し、広島県を中心に棚田とカフェの認知度アップ。
- 来訪者増加を受けて地域の方々が休耕田を活用。花畑を整備。
- 米粉を使った焼き菓子（クッキー等）を製造・販売。カフェの他に、道の駅や広島駅、ネットでの販売も行い、棚田の認知やお米の消費拡大に繋がっている。



カフェからの棚田の景色



カフェでの教室開講による賑わい作り



米粉や地域の食材を使った地産地消スイーツ

〒731-3702 山県郡安芸太田町中筒賀629-2  
0826-22-6789 y.tomomatsu27@gmail.com

関連情報はこちら▶



# おぐにフィールド

## 未来に続くくみを創造し次代に繋ぐ！

### 概要

- 小学校区内で設立されている4つの集落営農法人が、持続的経営に向けて、経営課題の共有化と解決のため、連携組織を設立。
- 各法人所有の農業機械の共同利用、共同利用機械施設の設置と地域の農作業受託。資材等の共同仕入れと生産物の共同販売。
- 耕畜連携による新たな仕組みづくり。
- 小国地区振興協議会と連携し、農が中心となった地域課題解決への挑戦。食農教育との連携。



原料とバウムクーヘン



田植え交流会



ラジコン草刈り機の実証

### 成果

- 令和元年度のドローン導入により連携組織の防除面積50haに加え、高齢者による作業が困難な農地20haの受託作業を行い、地域農業の持続化に貢献。
- 地域の養鶏場から生じる鶏ふんを活用した資源循環の稲作を提案。窒素の全成分の50%を置き換えるとともに、農薬を当地域比20%削減し「3-Rせらにしあきさかり」として販売。米粉用米にも取り組み、バウムクーヘン、アイスクリーム等を商品化。
- 西日本農業研究センターのラジコン草刈り機の開発・実証に協力。

〒722-1701 世羅郡世羅町小国4975  
0847-37-1068 d232885@hiroshima-u.ac.jp

関連情報はこちら ▶

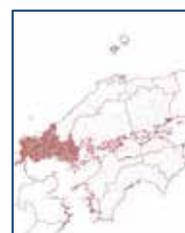


山口県

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (山口県)

No.	選定 地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①		団体	下関市	王司干潟改良グループ	水産業	復興	食育・教育
②		個人	下関市	中司 武敏(有限会社 司ガーデン代表)	農業	6次産業化	教育機関との連携
③	地方 奨励賞	団体	下関市	山口県立田部高等学校	企業との連携	ジビエ	地産地消
④		団体	山口市	株式会社ときつ養蜂園	6次産業化	環境保全(農林水産業・食品産業)	食育・教育
⑤		団体	山口市	やまぐち木の家ネットワーク	林業	地産地消	環境保全(農林水産業・食品産業)
⑥		団体	岩国市	株式会社神東ファーム	地産地消	移住・定住	食育・教育
⑦	地方 奨励賞	団体	岩国市	株式会社デナリファーム	農業	荒廃農地対策	農福連携
⑧		団体	岩国市	二鹿愛郷会	荒廃農地対策	農村環境・景観保全	関係人口の創出
⑨		団体	長門市	特定非営利活動法人 ゆや棚田景観保存会	6次産業化	棚田保全	農村環境・景観保全
⑩	地方 奨励賞	団体	長門市	本郷集落協定	棚田保全	移住・定住	農村環境・景観保全
⑪		団体	周南市	大道理地区百笑倶楽部	棚田保全	農村環境・景観保全	関係人口の創出
⑫		団体	周南市	棚田清流の会	棚田保全	荒廃農地対策	農村環境・景観保全
⑬	地方 奨励賞	個人	周南市	西川 満希子	農業	伝統の継承	関係人口の創出

# 応募地区（者）所在市町図（山口県）



おうじひがたかいりょう  
**王司干潟改良グループ**  
 竹林を守り 豊かな干潟に！

## 概要

- 千鳥浜(ちどりはま)は、全国でも有数・山口県最大の干潟で、江戸時代には塩田、昭和の中ごろまでは海苔の生産で繁栄していた。海や干潟という「宝」を子や孫にしっかりと引き継ぎたいという想いにより、平成21年、運営委員長の呼びかけで干潟改良グループを結成し、一昔前のように魚介類がたくさん生息する干潟の復興を目指して活動を開始。現在も地域と共に歩む干潟改良グループという意識で、活動の企画・運営が行われている。

## 成果

- 小学校との連携を進めている中で、ツメタ貝の駆除は地元の小学校5年生の総合的な学習の題材となっている。
- 地元小学校の海浜(かいひん)学習は、地域の海や干潟を愛する子供を育てるための活動で、この取組が多くのメディアに取り上げられ、地域で干潟の重要性の再認識が高まり、他地域からもツメタ貝の生態を詳しく知りたいという問い合わせあり。
- 千拓復興のための竹立により「竹を伐採・竹林を整備」することで、森林の陽当たりを良くし、地域の生態系を維持している。



伐採した竹の運び出し



干潟への竹立て



小学校との連携 海浜学習

〒752-0915 下関市王司本町6丁目2-28  
 083-248-0711 kinder\_mana23@outlook.com

なかつかさたけとし ゆうげんがいしゃ つかさ だいひょう  
**中司 武敏 (有限会社 司ガーデン 代表)**  
 かぼちゃで遊んで学ぶ 地域イベント開催！

## 概要

- 保育園から高校生までハロウィンイベントの参加！（高校生は参加者へ指導のための講習会を開催）
- 活動に賛同したJA女性部の方も研修に参加するなど地域外へも輪が広がり始めている。

## 成果

- イベント開催の準備を保育園から高校生までにお手伝いいただくことにより、子供達にも趣旨を理解してもらっている。小学生は、圃場見学やキャンドル作り体験、中、高校生は、地域活性化に繋がる活動として授業でも学習し、高校生は指導者としてイベントに参加している。
- 保育園や小学校等で行うイベント終了後のカボチャと地元の鯨の廃棄物から作る肥料を使った花いっぱい活動は、人気の活動の一つとなっており、イベントで地域活性化につなげている。



保育園児による廃棄かぼちゃでの花壇作り



JA女性部参加の研修会



地元の小学生参加

〒759-6121 下関市豊北町神田上4905-4  
 083-788-1321 e@barasaku.com

関連情報はこちら ▶



地方  
奨励賞

やまぐちけんりつたべこうとうがっこう  
**山口県立田部高等学校**  
 つなぐ・つながる・明日へ 地域貢献と商品開発

## 概要

- 地域の特産品や校地内の収穫物を有効活用した商品開発をすることで、地域貢献や地域の活性化につなげることをめざしてきた。ジビエの研究では、地元猟師を講師とした講演で、獣害対策として捕獲された鹿や猪肉の多くが活用されないまま廃棄されていることなどを学び、「鹿や猪の大切な命を多くの人においしく食べてもらいたい！」と考え、獣害対策としてだけではなく、食料自給率の向上やフードロスの削減などSDGsの視点から、牛や豚肉に代わる食肉として、栄養価の高さを切り口としたジビエ肉の普及をめざして更なる研究活動を進めている。



ジビエメンチカツの販売

## 成果

- ジビエコロケ・メンチカツ等の開発・販売……地元のジビエ肉や加工品の製造販売等をしている「静食品株式会社」の協力の下、冷凍食品として商品化。
- 地域の活性化を目的とした探究活動「きくがわジビエバーガー」の開発販売……「角島OZバーガー」や「道の駅きくがわ」等の協力の下、100食を1時間半程度で販売。
- 地域の課題を自分のこととして捉え、課題の解決に向けて多様な人の意見を取り入れながら、持続可能な取組を行い地域貢献活動を進める。



きくがわジビエバーガーの販売

〒750-0313 下関市菊川町田部1074  
 083-287-1212 a51150@pref.yamaguchi.lg.jp

関連情報はこちら ▶



かぶしきがいしゃ ようほうえん  
**株式会社ときつ養蜂園**  
 ミツバチに寄り添い命を繋ぐ

## 概要

- 農薬や化学薬剤、除草剤を一切使用しないケミカルフリー養蜂と循環型農業の実践により、ミツバチにも地球にも人々の健康にも優しい、持続可能な社会づくりを目指している。ミツバチとその周囲の環境を守り整えながら、残留農薬不検出の高品質な蜂蜜の生産、地域の生物多様性の保護に努めている。さらに、地域社会との連携を深め、自然との共生の大切さを伝える教育プログラムを通じて、ケミカルフリーの重要性や循環型農業の重要性を広めている。



人の手が程よく入った里山

## 成果

- 地域の農産物を使用した新たな商品開発を行うとともに、農業体験プログラムを通じて、全国の方と繋がり、地域全体の魅力を発信。
- 「人の手が程よく入った里山づくり」をコンセプトに養蜂、タケノコ等の生産販売。
- 築200年の古民家をリフォーム店舗として直売所営業。「はちみつジェラート」のキッチンカーで各地イベント参加。



ミツバチ観光農園の体験

〒753-0303 山口市仁保下郷561-1  
 083-929-1364 y.tokitsu@beeslife-farm.com

関連情報はこちら ▶

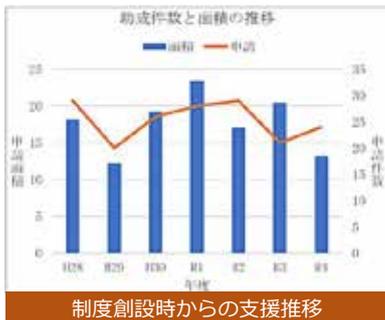


# やまぐち木のいえ

未来の子どもたちにも森林資源を！

## 概要

- 戦後植栽された森林が利用期となり伐採が行われているが、造林費用が森林所有者にとって大きな負担となり、再造林がされない山林が増加している。再造林がされないことにより、「山地災害の防止機能の低下」や「50年後の建築資材の不足」などが懸念される。このことから、川上（原木供給者）、川中（製材・プレカット）、川下（工務店）のグループとして再造林の課題解決として森林所有者の再造林を助成する独自支援制度を創設し、伐って使って植えて育てる森林の循環利用を実践。



制度創設時からの支援推移

## 成果

- 工務店、プレカット・製材事業者、県森林組合連合会（市場）が「安定供給・利用に関する協定」を締結し、毎月会議を開催するなど、顔の見える関係を維持。
- 助成制度の創設後8年間（平成28年～令和4年）で、177件、247.56haの再造林を支援し、県内の再造林の推進に貢献。
- 令和4年は県産材を利用し、52戸の住宅を新築したことから、572.0t-CO2を固定し地球温暖化に貢献(11.0t-CO2/棟から試算)。



県産材を利用した住宅

〒753-0871 山口市朝田131-1  
083-928-5566 soda@topia-i.co.jp



## かぶしきがいしゃしんとう 株式会社神東ファーム

マイヤーレモンで郷土愛を育む！

## 概要

- 人口減少・高齢化により農業が衰退し、耕作放棄地が増加。
- 平成30年8月、神東地域振興協議会が地域おこし協力隊の協力を得て耕作放棄地を再生し、収益性の高い作物（マイヤーレモン）の栽培を構想。摘果レモンの商品化や地元の小中学校での農業学習や給食を通じての普及活動（郷土愛育成）に取り組む。
- 産地である三重県に出向き栽培法を習得し、同協議会の部会として「レモンの会」を発足。その後、各種補助金の支援を受け「レモンの会」を法人化し、(株)神東ファームを設立。

## 成果

- フォトコンテストの開催、料理研究家考案のオリジナルレシピの公開、摘果レモンを利用した果汁商品の売上を「赤い羽根共同募金」へ寄付するなどの取組がテレビや新聞等に40件以上取上げられ、認知度が向上。販売開始から3年目の令和5年度の売上は445万円に増加。
- 令和6年7月に学校給食の食材として地元岩国市内の小中学校・幼稚園の給食に採用。市内の栄養教諭が来所し、「子どもたちから大変好評であった」と絶賛。



レモンとオレンジの交配種のマイヤーレモン



マイヤーレモン果汁



売上の一部を赤い羽根共同募金に寄附

〒740-1432 岩国市由宇町神東10619-4  
0827-63-6036 info@shintou-farm.com

関連情報はこちら ▶



地方  
奨励賞

かぶしきがいしゃ

## 株式会社デナリファーム

耕作面積拡大に農福連携でシナジーを

## 概要

- 令和元年に元海上自衛官二人で設立。
- 「農業従事者減少や耕作放棄地増加」と「障害者の就労先の問題」の状況を踏まえ、リタイアする農家の農地を借り受けて規模を拡大。人材は定年後の年配者や短時間希望の障がい者雇用で確保し、地域で安定した雇用を創出。



未耕作地を再生しさつまい芋を定植



収穫コンテナ清掃を就労施設へ作業委託



小学生の課外授業を受入れ

## 成果

- 自由に働ける枠組みを作るため、16名のスタッフはシフトなしの自由出勤制度。
- 食育・農業従事者を増やすため、若い世代にやってみたい農業をアピールが必要と考え、農業を身近に感じてもらう取組として、子供食堂への食材提供や、地元小学校への苺の差入を行っている。

〒740-1432 岩国市由宇町神東1330番地2  
0827-93-4037 denalifarm2018@gmail.com

関連情報はこちら▶



ふたしかあいきょうかい

## 二鹿愛郷会

「へこたれない」日本一美しい山里

## 概要

- 二鹿地区は県指定の天然シャクナゲの群生地を始めとし、ホテルや7つの滝等の美しい景観を有しており、地域外から二鹿を訪れる人も多く、景観維持や集落保全を目的に平成22年、設立。
- 集落農地維持のため、農地の実態調査を行い、不在地主と入り作農家との連絡体制を構築し、耕作放棄地の防止に努めている。
- 景観保全活動として、渡り蝶のアサギマダラを誘致するため、休耕田を活用し、フジバカマ園の整備を行っている。

## 成果

- 活動は、報道でも取り上げられ、集落来訪者数は、平成30年、約5千人であったものが令和6年には約2万人と大幅に増加しており、地域の活性化に繋がっている。
- 会では、どんなことにも「へこたれない」を合言葉に地域一丸となった活動を展開し、会員同士のコミュニケーション作りや、元気の源となっている。
- 耕作放棄地の防止。



幼稚園児がフジバカマ園を訪問



地域の合言葉 へこたれない碑



渡り蝶 アサギマダラ

〒740-0305 岩国市二鹿110番地  
0827-29-5114

とくていひえいりかつどうほうじん たなだけいかんほぞんかい  
**特定非営利活動法人 ゆや棚田景観保存会**  
 ときめく棚田大作戦

## 概要

- 長門市油谷後畑地域は、急傾斜農地が広がる棚田地域で、その景観は「全国棚田百選」にも選定されている。しかしながら、高齢化・過疎化の進行により耕作放棄地が年々増え続け、棚田景観の維持・保全が困難な状況となっている。
- こうした中、長門市棚田保護条例が制定され、地域での6次産業やグリーンツーリズムの取り組みの機運の盛り上がりをきっかけに本団体は設立され、棚田再生、米粉やハーブによる6次産業化、棚田景観の観光活用等による地域活性化に向けて取り組んでいる。



草農地再生：棚田の花段



夕涼み棚田マルシェ



商品開発：ワンちゃんハーブボール

## 成果

- 再生した棚田の特徴を生かし、無農薬無肥料の自然環境に適したハーブを入植。クラフトジン（蒸留酒）やハーブティー、クラフトビールの原料としても使用。
- 収穫したハーブの農産物供給促進に繋げるため、令和3年度から棚田マルシェを開催。今年度は、棚田クイズラリーやワンちゃん芋掘り大会、シャボン玉アーティストのシャボン玉体験やハーブティー作りなど開催し、地域の活性化に貢献。
- 収穫したハーブを使った飲食店の営業を創めたことで、週末は多くの観光客が立ち寄り、地域の賑わいや活力創出に繋がった。

〒759-4711 長門市油谷後畑1766番地  
 0837-32-2056 yuya-tanada@hot-cha.tv

関連情報はこちら ▶

地方  
奨励賞

ほんごうしゅうらくきょうてい  
**本郷集落協定**  
 棚田PR活動と水田放牧による棚田保全

## 概要

- 当組織は、長門市向津具半島の中心に位置し、急傾斜の棚田を多く有する地区で平成12年から活動している。当地域において大きな課題となっていた耕作放棄地の増加や担い手不足に対して、協定に参加している若手の畜産農家数名が、棚田の景観保全や耕作放棄地を未然に防ぐための水田放牧や、一度耕作放棄地となった農地を復旧する取組みに力を入れている。

## 成果

- 草刈サミットの開催（令和3年から毎年、現在3回開催）や県外のイベントで棚田米の販売、市内のマラソンイベントでロールアートの展示等を通じた棚田のPR活動にも取組み、地域内外への棚田の認知度向上や関係人口の増加に繋がっている。
- 見ても楽しめる景観形成を目的とした法面への桜の苗木の植樹を行ったり、法面の草刈りで刈った野草をロールにして発酵させ、牛のための保存食として野草のサイレージを作るなど新たな取組みも行い、農地の保全及び景観形成に大きく寄与している。



草刈りサミットの様子



ロールアートの展示



地域の運動会でのロール転がし競走

〒759-4623 長門市油谷向津具下4004番地  
 0837-23-1140

おおどおりちくひやくしょうくらぶ  
**大道理地区百笑俱樂部**  
 行ってみたい住んで良かった芝桜の里

**概要**

- 平成19年1月、高齢化と急こう配で膨大な田圃法面の管理・草刈り作業等の省力化を目的に、大道理地区農家6戸で立ち上げた「百笑俱樂部」を前身とし、地区内外の協力を得て、平成24年に同俱樂部を組織化。現在は、会員21名と協力者25名で活動。
- 草刈りの手間を省くために張った防草シートに芝桜を植栽。
- 平成23年から芝桜の開花時期には、芝桜祭りを開催している。



小学生と防草シートに芝桜を植栽

**成果**

- 芝桜の植栽は、農地保全や景観保全に繋がっているだけでなく、地元住民の結束力も高めている。
- 年々拡大した芝桜は（10万本/1万㎡）、花色を活かした模様や絵文字となるよう、キャリアデザイン専門学校生にデザインを依頼。その美しさはロコミなどで知る人が増え、来場者は年々増加し、都市住民との交流の場となっている。
- 芝桜祭りでは、特産物を販売するなど、農業者の所得向上にも繋がっている。



芝桜アート

〒754-0242 周南市大道理1127  
 0834-88-1519 y-kanehira443@hotmail.co.jp



たなだせいりゅう かい  
**棚田清流の会**  
 くらしがいをみつけられる郷づくり

**概要**

- 平成13年に発足以来、非農家を含めた近隣5集落全住民を会員として活動。
- 休耕田の草刈り作業などの農地・景観の保全、農業体験や「棚田サポーターズクラブ」設立などによる都市部住民との交流など、様々な取組を実施。地域活性化に取り組む。
- 地域特産品の加工・販売をすることで地域住民の所得向上にも取り組んでいる。



耕作の卵吉のない、すり鉢状の棚田

**成果**

- 小学生親子の農業体験交流、中学生職場体験、フォトコンテスト等を開催し、四季を通じ農村と都市部の交流を積極的に行うことで、地域の魅力発信や地域活性化に繋がっている。
- ドライブスルー型マルシェやまつりでは、棚田で生産された棚田米や杵つき餅の販売等を行い、農家の所得向上にも寄与。
- ビアガーデンやモルック体験会など、地域住民の健康維持や世代を越えた交流を継続的に実施。



農業体験交流会

〒745-0511 周南市大字中須北784  
 090-5698-6521 gats.ishida@icloud.com

関連情報はこちら ▶



地方  
奨励賞にしかわ まきこ  
西川 満希子

新行事食を創出で地域を元気に！

## 概要

- 野菜ソムリエの活動を通して自ら「ヤサイコトバ」を考案、地元山口県の県花である夏みかんを「母への感謝」とすることで、母の日に夏みかんを贈り感謝を伝える新たな習慣を創出。地域資源である夏みかんの次世代への継承と地域活性化に取り組む。
- 夏みかんの魅力を広め購買意欲を高めるため、イベントを積極的に開催したり、SNSやメディアを活用して効果的に情報発信するなど、21社の協賛企業と連携し活動している。

## 成果

- 夏みかんのヤサイコトバ「母への感謝」を使い、協賛企業と連携して、萩夏みかん及びその加工品の販売促進キャンペーンが行われ、認知度向上や消費拡大に成功し、地域資源の有効活用と山口県への観光誘致にもつながった。
- 子供食堂での夏みかんの配布、レストランでの夏みかんデザートを提供イベントのほか、200回を超えるSNSへの投稿、ラジオやテレビのキャンペーン告知による情報発信を通じて萩市の魅力の再認識、新習慣の創出など地域の活性化にも大きく貢献。



キャンペーンPOP



子供食堂でのキャンペーン



ポップを活用した販売

〒745-1131 周南市戸田1864-1  
090-6838-0309 makiko.nishikawa1@gmail.com

関連情報はこちら ▶

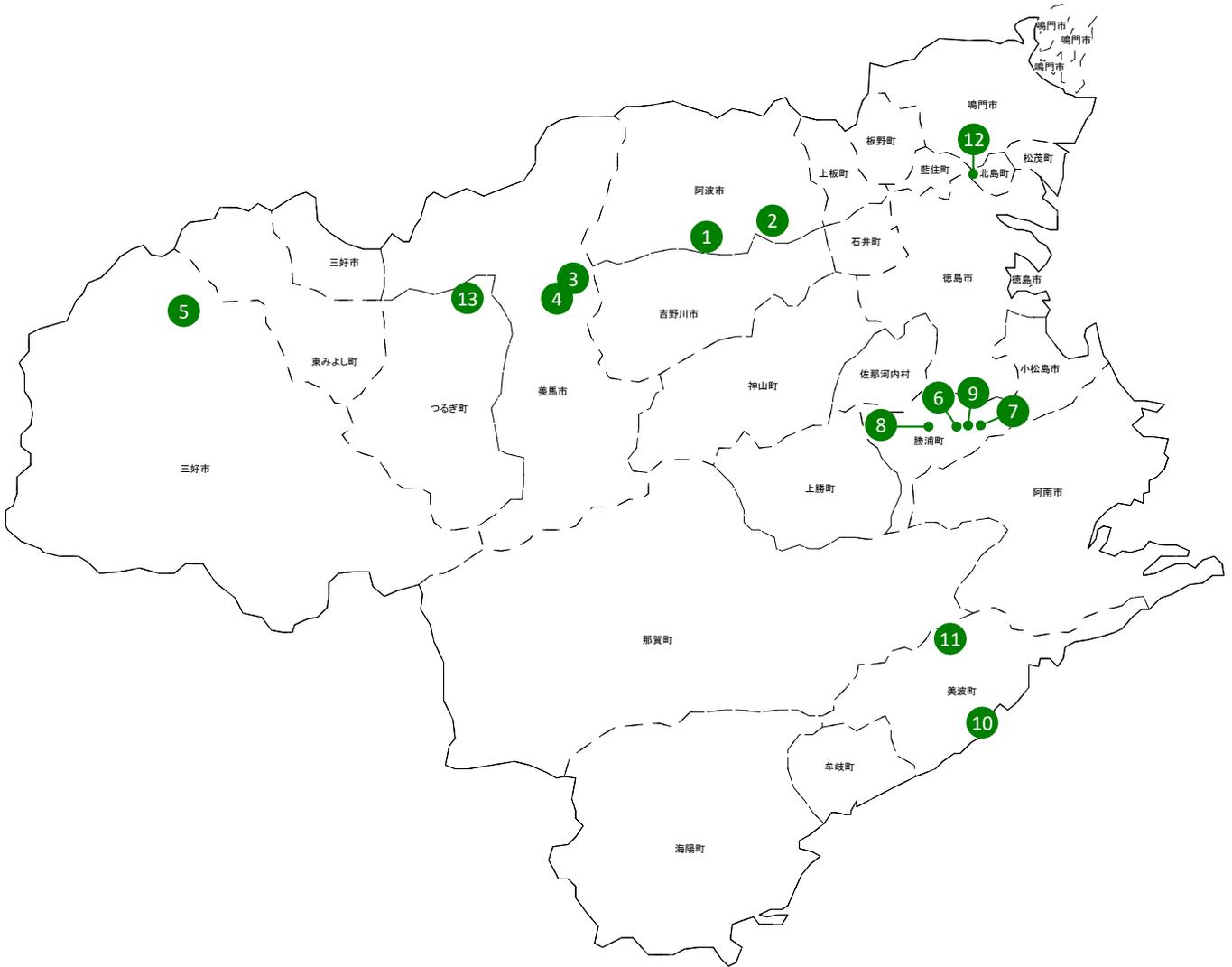


**徳島県**

## 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (徳島県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①		個人	阿波市	寺井 稔	農業	食育・教育	多様な分野との連携
②		団体	阿波市	特定非営利活動法人山の薬剤師たち	農業	雇用	農福連携
③		団体	美馬市	株式会社 Tea.M	輸出	環境保全(農林水産業・食品産業)	教育機関との連携
④		団体	美馬市	仕出原自治会	輸出	伝統の継承	農村環境・景観保全
⑤		団体	三好市	一般社団法人そらの郷	農泊	農村文化体験	関係人口の創出
⑥		団体	勝浦町	生名ロマンの会	農村環境・景観保全	高齢者の活躍	関係人口の創出
⑦		団体	勝浦町	NPO法人 阿波勝浦井戸端塾	伝統の継承	高齢者の活躍	関係人口の創出
⑧	地方 奨励賞	団体	勝浦町	特定非営利活動法人 K-Friends	6次産業化	地産地消	食育・教育
⑨		団体	勝浦町	道の駅ひなの里かつうら再生プロジェクト	農業	荒廃農地対策	農福連携
⑩	地方 奨励賞	団体	美波町	株式会社四国の右下木の会社	スマート農林水産業	伝統の継承	環境保全(農林水産業・食品産業)
⑪		団体	美波町	特定非営利活動法人赤松煙火保存会	伝統の継承	-	-
⑫		団体	北島町	は一とふる川内株式会社	農業	6次産業化	農福連携
⑬		団体	つるぎ町	家賀再生プロジェクト	農泊	伝統の継承	農村環境・景観保全

# 応募地区（者）所在市町村図（徳島県）



てらい みのる  
寺井 稔

農業が、何倍も楽しくなった理由（ワケ）。

## 概要

- 「生産から販売まで、自分でやってみたい」と、28歳の時に就農。農業後継者グループ「GOTTSO阿波」にも参加。
- 「野菜の力でまちおこし」を目標に野菜の出張販売や広報を幅広く行い、自らが「まちのPR隊」として活動。
- 県農業支援センターと連携し、県内の幼稚園や小学校で「GOTTSO 美〜ナス」を使った食育の出前授業を実施。



徳島阿波おどり空港での試食販売



コンビニで「美〜ナスの Pasta」発売



県農業機関と食育の出前授業

## 成果

- グループの独自の販売ルートが確立されており、個人で農業をしていた時と違い、新たな情報や消費者の声を直接聞くことのできる機会が増えた。
- 夏は「GOTTSO 美〜ナス」、冬はミニ白菜「ミルフィ〜菜」を主軸に通年でグループのブランド野菜を出荷。2020東京オリ・パラ選手村へ「GOTTSO 美〜ナス」を納品。
- 食育を毎年続けるうちに野菜好きの子供が少しずつ増えてきて、農業に興味を持ってくれるようになった。

〒771-1701 阿波市阿波町下喜来南174-7  
090-3787-2756 gottsoawa@gmail.com

関連情報はこちら ▶

とくていひえいりかつどうほうじん やま やくざいし  
特定非営利活動法人 山の薬剤師たち

軽負担農業で質の高い野菜を栽培する

## 概要

- 軽負担でマニュアル管理しやすい高床式砂栽培ハウスを導入し、葉物野菜を栽培。障がい者たちだけで管理する自立型農園をコンセプトに、障がい者の担い手を育成。
- 農業教育の場で「農福連携」や「障害福祉」の学習の一環として、農業を学ぶ学生と障がい者が共同作業する機会を提供。
- 高齢者施設の入所者向け収穫体験など、レクリエーションや園芸療法として農業に触れ、明るく元気に暮らすきっかけを創出。

## 成果

- 農福連携普及活動での交流人口は、67人（令和2年度）から189人（令和5年度）に増加。
- 高床式砂栽培では、幅広い障がい者に活躍の場を提供すると同時に、賃金アップによる障がい者の自立に貢献。
- 老舗中華料理店や地域給食センターにチンゲンサイ、レストランやホテルにベビーリーフを提供し、質の高い野菜として好評を得ている。



高床式砂栽培ハウスでの体験見学



チンゲンサイ



ベビーリーフ

〒771-1401 阿波市吉野町柿原字原194-1  
088-676-3380 tanagokorokoyadairanaruto@gmail.com

関連情報はこちら ▶



かぶしきがいしゃ てい ー む

## 株式会社 Tea.M

手のひらの茶葉から豊かな農文化と伝統に

## 概要

- 世界農業遺産に認定された伝統農法「にし阿波の傾斜地農耕システム」で、瀧名地区の茶畑の再生に取り組む。
- 希少な茶葉「瀧名茶」の商品開発・販売。また、食べる茶葉、フレーバー、お茶墨、お茶染め等のアイデアにより茶葉の可能性を最大限に引き出している。
- 学校教育現場での「茶育」の出前授業や、海外での緑茶セミナーにより飲むだけではないお茶の魅力を発信。

## 成果

- 茶畑の管理活動は15人（令和4年度）から45人（令和5年度）に増加。地域住民や高校生と連携して、高齢化の進む瀧名地区の茶畑再生を実現し、茶葉を活用した集落のブランディングと地域おこしに貢献。
- 「茶育」は子供たちがお茶をより身近に感じることができ、その価値を高めている。自分が住んでいる土地やその成り立ちを学び、「生きること」をお茶を通じて伝えている。
- シンガポールで開催した緑茶セミナーには約35名が参加。



傾斜地にある瀧名地区の再生茶畑



瀧名茶



教育現場での茶育 ～茶習字体験～

〒777-0005 美馬市穴吹町穴吹字藤原11-1  
090-9453-1442 nitoha28@gmail.com

関連情報はこちら▶

しではらじちかい  
仕出原自治会

清流穴吹川と自然を楽しむ人気のスポット

## 概要

- はっさくの産地「仕出原集落」は、少子高齢化、後継者不足、鳥獣被害、耕作放棄地の拡大等多くの課題を抱え、集落の存続に不安を覚えていた。
- そこで国等の各種支援制度を活用し、景観維持のため、道路の草刈り等の地域の環境整備に取り組んだ。
- はっさくをEUへ輸出やブルーベリー観光農園及び「リバーサイドしでの家」の運営を実施している。

## 成果

- 仕出原地区は、はっさく生産の伝統を守り、品種変更をせず、気候・風土に適した栽培を行っている。
- また、同地区のはっさくは、とくしま特選ブランドに認定されており、更にEUへの輸出で知名度アップが図られている。
- 「リバーサイドしでの家」での夏場の川遊びやブルーベリー観光農園が人気スポットとなっている。また、これらの施設の運営を通じ、集落の活性化や集落と外部の人々との交流が深まり、協調性が醸成された。



「リバーサイドしでの家」と清流穴吹川



はっさくシャーベット等の販売



ブルーベリー狩りの様子

〒777-0006 美馬市穴吹町口山字仕出原80  
0883-52-0468

いっばんしゃだんほうじん さと  
**一般社団法人そらの郷**  
 千年のかくれんぼ～分け入るごとに時は遡り

## 概要

- サステナブルな暮らしの中に来訪者を招き入れて地域の農業者との交流により感動を共有するといったテーマ性のある観光に価値を見だし、新しい観光資源としてブランディングを図る。
- 体験型教育旅行では、受入農家の下で農作業体験や収穫した農作物の共同調理などをメニューとした農泊体験を商品化。都市部の中学・高校を対象に受入れを行うための環境整備を実施。
- インバウンド誘致は、農山村での畑の散策や農家の庭先での餅つきなどを交流コンテンツに組み込んだ商品開発に取り組む。



伝統的な農作業ソチアゲ体験



野菜の収穫体験（教育旅行）



地元農家との交流（餅つき体験）

## 成果

- 観光客数増による交流人口の増加、観光事業者・農業者の所得向上、新たな雇用の創出等により地域活性化に貢献。
- 体験型教育旅行の受入泊数は、平成20年度の977人泊（4校）から令和5年度は7,215人泊（35団体）へと増加。
- 「桃源郷」とも称される農山村の風景や文化、地域の農業者等のホスピタリティーが高く評価され、平成25年に4本のナショナルジオグラフィックツアーから始まったインバウンドツアーの受入数は令和6年には35本までに増加。

〒778-0005 三好市池田町シマ995番地 1  
 0883-87-8988 sora-05@nishi-awa.jp

関連情報はこちら ▶



いくな かい  
**生名ロマンの会**  
 ボランティアでつくろう「生名ロマン街道」

## 概要

- 生名区老人会等の人々が子々孫々のためにと植栽した桜（生名谷川両岸総延長約2km）が、40年以上経過し、大きく美しく成長。平成15年に両岸の管理道路を公園化。
- 桜の美しさと自然の恵みをアピールし、環境保全、地域コミュニケーション、安らぎの名所として地域の活性化活動を開始。
- 平成16年から「勝浦さくら祭り」を開催。平成23年には、舟下り、トロッコ列車等のイベントを開始し、取組規模を拡大。

## 成果

- 「勝浦さくら祭り」の来場者数は、国内外合わせて4万人を超え、町内の文化経済に大きな影響を与える。
- 大学生など町内外から1日100名を超えるボランティアの参加により、地域コミュニケーションが活性化。
- 生名ロマン街道での清掃と草刈り、生名谷川の清掃活動（年3回）を実施するとともに、桜のせん定（隔年）等により、環境・景観保全に寄与。



生名ロマン街道の桜並木



勝浦さくら祭り（舟下り）



ボランティアによる環境保全活動（年3回）

〒771-4303 勝浦郡勝浦町大字生名  
 090-8970-6728 kouryu@town.katsuura.i-tokushima.jp

関連情報はこちら ▶



えぬぴーおーほうじん

あわかつうらいどぼたじゅく

## NPO法人 阿波勝浦井戸端塾

グローバル・地球と結ぶ勝浦づくり

## 概要

- 平成3年、新とくしま県民運動推進事業の認定を受け、同年8月「勝浦町・地域づくり井戸端塾大会」を開催し、活動を開始。
- 平成4年から日本一を誇る「ビッグひな祭り」を開催。家庭で飾られなくなった雛人形を全国から集め、ピラミッド型ひな壇100段などに約3万体の雛人形を展示。
- 平成6年には、四国で初めて恐竜化石が発見され、「恐竜の里づくり」の取組も開始。



ビッグひな祭り会場

## 成果

- ビッグひな祭りのロールモデルを形成し、各地に雛人形を提供し続けることで、全国に広がるきっかけとなった。文化交流にもつながり、令和3年に開催された東京五輪で展示。
- 町内で恐竜の化石が発掘されたことを契機に、恐竜の里を整備。モニュメントの設置や化石発掘体験を開催。徳島県が行う発掘調査の支援。イベント開催等でインバウンド誘致等、地域活性化に貢献。



化石発掘体験

〒771-4303 勝浦郡勝浦町大字生名字月ノ瀬35-1  
0885-42-4334 hinanosato.k@gmail.com

関連情報はこちら ▶

地方  
奨励賞とくていひえいりかつどうほうじん けいふれんず  
特定非営利活動法人 K-Friends

～山あいの農産物・知恵・仲間を集めて～

## 概要

- スポーツ振興で地域活性化を目指し、スポーツと地元特産物の収穫体験をコラボさせたスポーツツーリズム事業等を実施。
- 地域の子供達に旬の野菜の魅力を知ってもらおうと、食育と地産地消の食育教室を開催。
- 令和3年から農産物商品加工ができる施設を受託したことをきっかけに、6次産業化へ取り組み、地元の農産物を使った商品を開発し販売。



収穫体験&amp;ウォーキングイベント

## 成果

- スポーツ振興イベントでの交流人口は、138人（令和2年度）から950人（令和5年度）へ増加。地産地消・食育教室等の参加者は、42人（令和元年度）から70人（令和5年度）へ増加。
- 6次産業商品化の取組は、「まんまいも」「まぜご飯の素」に加えて、規格外の地元の特産品である熟成みかんを使用したジャム等を商品化。商品の売上げは、取組開始初年度（令和3年度）の35万円から350万円（令和5年度）へ増加。



熟成みかんジャム



食育教室

〒771-4307 勝浦郡勝浦町大字三溪字古川1番地1  
0885-42-3671 kfriendsskss@gmail.com

関連情報はこちら ▶



みち えき さと さいせい  
道の駅ひなの里かつうら再生プロジェクト  
住民が輝く地域再生の拠点づくり

概要

- 行政及び地域住民から交流人口増加対策や耕作放棄地の景観問題の解消の依頼があり、道の駅が主体となりプロジェクトを企画。
- 消費拡大と地域資源PRに資するイベントの開催（808（ヤオハチ）農園、マルシェ、防災フェス等）。こども食堂「ヤオハチ食堂」の整備。
- 協働体制の構築及び食育に資する「給食メニュー」の開発。



保育園児のかんしょ収穫体験



ひまわり畑



ヤオハチカレー試食会

成果

- 耕作放棄地を再生し農地面積を13a（令和4年度）から、30a（令和5年度）へと拡大。地域住民や近隣の学生等と協働し、かんしょ、ひまわり等を栽培。協働人数は、50人（令和3年度）から250人（令和5年度）へ増加。
- 栽培した野菜を使ったレトルト食品「ヤオハチカレー」を町内の高校と共同開発。商品化に向け、こども食堂で試食会を開催。
- 各種イベントを開催し、関係人口を獲得するなど地域経済の活性化に貢献。

〒771-4303 勝浦郡勝浦町大字生名字月ノ瀬4-1  
0885-44-0112 hinanosato.k@gmail.com

関連情報はこちら▶



地方  
奨励賞

かぶしきがいしゃしこく みぎしたき かいしゃ  
株式会社四国の右下木の会社  
樵木林業と備長炭で里山を宝の山に！

概要

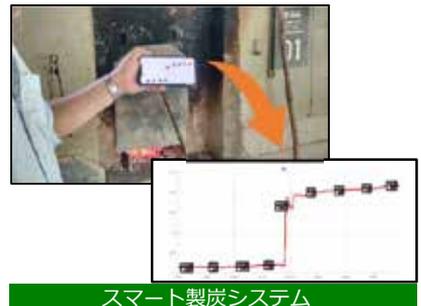
- 江戸期から続く薪炭林に最適化された徳島県南部地域伝統の林業技法である「樵木（こりき）林業」を再興し、国内外で高価取引される備長炭の生産販売に取り組む。
- 樵木林業の再興を、雇用の創出、伝統・文化の継承、高齢林の若返りやナラ枯れの抑制など里山の回復・維持につなげるとともに、地域自治体と連携し、官民連携で地域産業化を推進する。



樵木林業を復興し新炭林を伐採



「樵木備長炭」の製炭



スマート製炭システム

成果

- 製炭師の経験や感覚値への依存が高い製炭工程について、IoTによるスマート化を図り、高品質で安定的な生産を実現。品質面だけでなく環境への配慮にも評価をされ、有名飲食店等への導入が進んだ。また、JETROの支援を受け海外輸出に着手している。
- 林業の6次産業化モデルを確立し、里山林の未活用と荒廃に悩む他地域にもこのモデルを広げるべく、複数の自治体とプロジェクトを進めている。

〒779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天54-5  
0884-70-5831 info@treecompany.jp

関連情報はこちら▶



とくていひえいりかつどうほうじん あかまつえんかほぞんかい  
**特定非営利活動法人 赤松煙火保存会**  
 できたん、どしたん、吹筒花火

**概要**

- 徳島県南部の美波町赤松地区は中山間地域に位置し、約200戸で構成されている。過疎化、高齢化、人口減少が進んでいる。
- 約200年続く伝統の吹筒花火の製造技法の衰退や神社への奉納ができなくなることが危惧され、平成7年、赤松地区有志により「赤松煙火保存会」を設立し、その後、持続可能な組織とするため平成25年「NPO法人赤松煙火保存会」を設立。
- 令和4年、徳島県指定無形民俗文化財に指定。

**成果**

- 地域住民による手造り吹筒花火の製作は、共同の作業を通して、住民相互のコミュニケーションの促進、地域の活性化につながっている。
- さらに活力ある村づくりとするため、「赤松地区農村RMO推進協議会」に参加。
- 令和5年、令和6年には、「全国花火師競技大会 にし阿波の花火」で伝統の吹筒花火を披露。



吹筒に火薬を詰め込む作業



奉納吹筒花火の様様



「できたんどしたん」の掛け声とともに

〒779-2301 海部郡美波町赤松字総屋敷146-1  
 090-3180-9472 yokoyama@ma.pikara.ne.jp

関連情報はこちら ▶



かわうちかぶしきがいしゃ  
**はーとふる川内株式会社**  
 障がいと共に農業で働いて元気になる

**概要**

- 大塚製菓株式会社の特例子会社として、障がい者雇用農園を設立し、ハウストマトの生産・販売を行う。
- 地域の障がい者就労支援センターとドライトマトを開発し、農福連携・6次産業化を実現。
- とくしま安<sup>2</sup>農産物(安<sup>2</sup>GAP)認証を取得し、安全な職場整備と安心安全なトマトを提供。もにす認定、ノウフクJASを取得し、全国的な農福連携の啓発を推進。

**成果**

- 障がい特性に応じた支援や指導を行い、障がい者就業人数は、知的障がい者4名(平成27年度)から、知的障がい者5名と精神障がい者3名の8名(令和5年度)まで増加。
- ドライトマトの販売拡大により、6次産業化を更に推進。
- 障がい者雇用に関わるロールモデルとしてセミナーや見学会等を積極的に行い、各職域での障がい者雇用を推進。



農園で働く社員：職業人として成長



G7宮崎農業大臣会合JAS認証商品展示会に出品



ドライトマト

〒771-0283 板野郡北島町高房字居内1-1  
 088-678-5276

関連情報はこちら ▶





## けかさいせい 家賀再生プロジェクト

家賀の藍は日本の桃源郷からの贈り物

### 概要

- 世界農業遺産の「にし阿波の傾斜地農耕システム」でカヤ、落葉などを用い「藍」を栽培し、食用としてパウダー化して販売。
- 令和4年にリース法人の農業参入を支援して「SAWAファーム」を、令和6年に個人向けの農業体験地をそれぞれ開設し、いずれも世界農業遺産の農法を実施。
- 家賀再生プロジェクトと地元団体が協働して体験型宿泊施設「家賀の郷 清笹」を活用しながら家賀地区でのツアーや農業体験を受入れ。

### 成果

- 家賀地区では戦前まで栽培していた藍の栽培を世界農業遺産の農法により再生させ、食用を始め様々な商品を開発し販売して地域の活性化につなげている。
- 「にし阿波の傾斜地農耕システム」はSDGsの取組に優れ、「CO2」を地中に封じ込める特性があり、「カーボンニュートラル」達成への手段として近年改めて評価されており、多くの企業や団体、学識者、大学生などが訪れ、プロジェクトを立ち上げた平成30年から延べ3,000人以上が家賀地区を訪れた。



カヤ場（採草地）の維持・管理でCO2を固定



リース法人の農業参入を支援



日本各地の大学生等との交流・体験

〒779-4101 美馬郡つるぎ町貞光字大須賀44-8  
0883-68-8808 shinca@movie.ocn.ne.jp

関連情報はこちら ▶

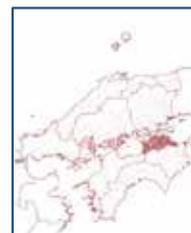
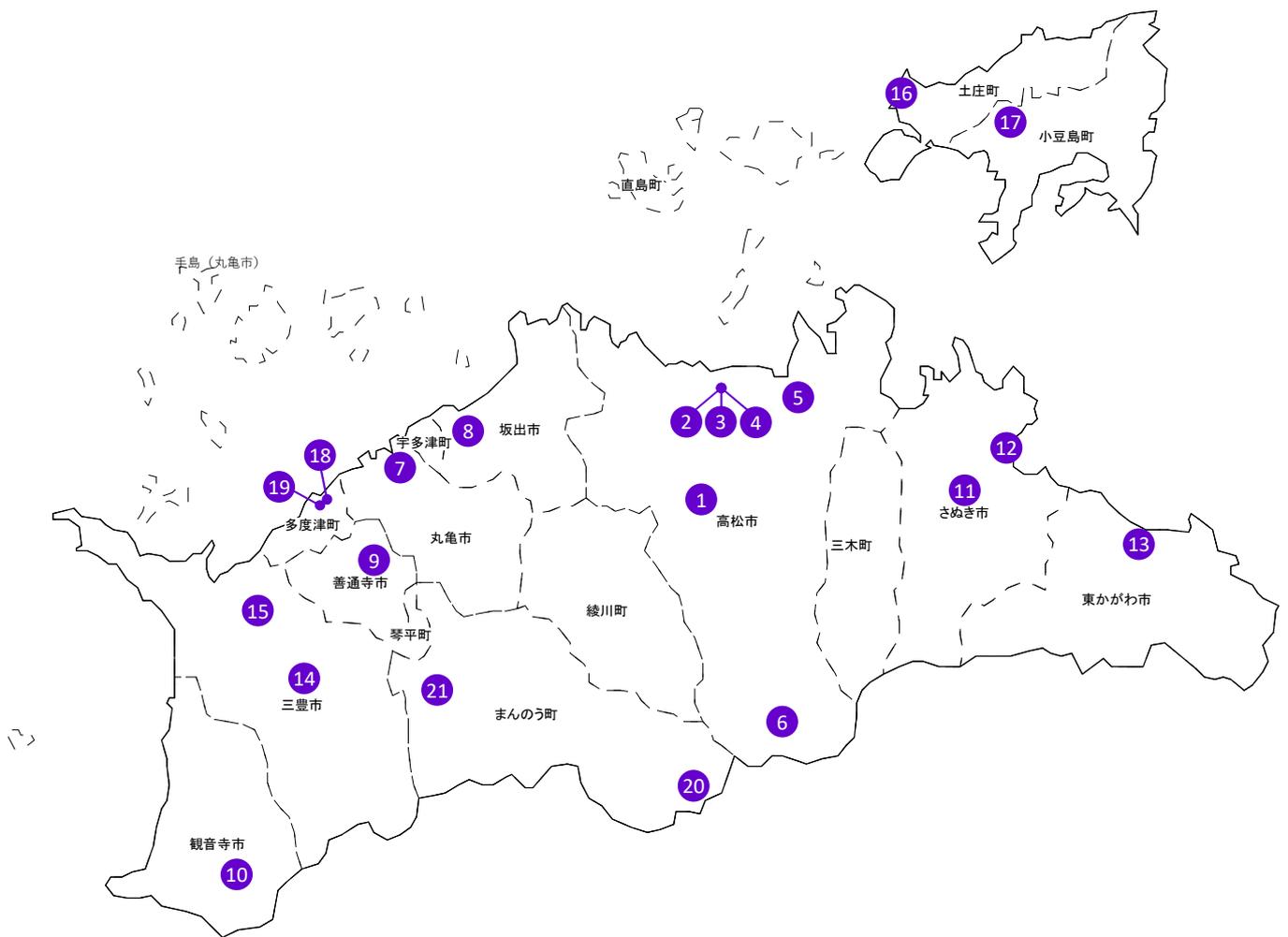


**香川県**

## 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (香川県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①		団体	高松市	大野豆プロジェクト	地産地消	伝統の継承	農福連携
②		団体	高松市	香川大学学生ESDプロジェクトSteeP	環境保全(農林水産業・食品産業)	学生・若者の活躍	
③		団体	高松市	香川大学OGIJIMAプロジェクトここだから	農業	地産地消	学生・若者の活躍
④		団体	高松市	香川大学Bonsai☆Grils Project	伝統の継承	女性の活躍	学生・若者の活躍
⑤		団体	高松市	社会福祉法人 ナザレの村	6次産業化	教育機関との連携	農福連携
⑥		団体	高松市	特定非営利活動法人 奥塩江交流ボランティア協会	農村文化体験	高齢者の活躍	多様な分野との連携
⑦		団体	丸亀市	塩飽部隊	農村文化体験	女性の活躍	学生・若者の活躍
⑧	地方 奨励賞	団体	坂出市	坂出第一高等学校 食物科	地産地消	食育・教育	学生・若者の活躍
⑨		団体	善通寺市	株式会社まんでがん	農業		
⑩		団体	観音寺市	五郷里づくりの会	伝統の継承	関係人口の創出	その他(小さな経済の循環)
⑪		団体	さぬき市	香川県立石田高等学校 ワンダーフォーゲル同好会	棚田保全	伝統の継承	環境保全(農林水産業・食品産業)
⑫		団体	さぬき市	株式会社安岐水産	水産業	企業との連携	食育・教育
⑬		団体	東かがわ市	三高みんなの食堂プロジェクト(香川県立三本松高等学校)	6次産業化	食育・教育	学生・若者の活躍
⑭		団体	三豊市	農事組合法人高瀬茶業組合	農業		
⑮		団体	三豊市	三野町環境保全会	農業	農村文化体験	農村環境・景観保全
⑯		団体	土庄町	小豆島陽当の里伊喜末	荒廃農地対策	農村環境・景観保全	高齢者の活躍
⑰		団体	小豆島町	小豆島町中山棚田協議会	棚田保全	伝統の継承	関係人口の創出
⑱		団体	多度津町	香川県立多度津高等学校 建築科・木匠部	学生・若者の活躍	農村環境・景観保全	その他(教育)
⑲		団体	多度津町	たどつまちLabo	林業	農村環境・景観保全	
⑳		団体	まんのう町	島ヶ峰の原風景を守る会	6次産業化	棚田保全	荒廃農地対策
㉑	地方 奨励賞	団体	まんのう町	帆山地域保全活動組織	農業	6次産業化	関係人口の創出

# 応募地区（者）所在市町図（香川県）



## おおのみめ 大野豆プロジェクト

### 「大野豆」復活とその次世代への継承活動

#### 概要

- 品種転換により消滅の危機に瀕していた伝統野菜の「讃岐長莢空豆(通称：大野豆)」の生産復活を願う有志35名が集い、休耕田を活用し、大野豆を中心に黒豆・大豆・小豆等の豆類栽培を開始。
- 地元幼稚園及び小中高校に栽培活動への参画を提唱し、地域の活性化と伝統野菜「大野豆」の復活とその次世代への継承を目指したプロジェクト活動。

#### 成果

- 小中高校生への環境学習、学校給食への提供、地産地消、さらに農福連携分野まで活動領域が拡大。
- プロジェクト活動の成果を「大野豆復活物語」や「6次産業化事例」として、香川大学マネジメント研究科公開講座等で発表。
- 令和6年1月地理的表示(GI)登録に至り、「大野豆」は特産品として自信を持って地域の子供たちに継承できる産品となる。



地域全体が連携した活動



押し抜き寿司作りと女性会発刊の郷土料理本



令和6年1月 地理的表示(GI)登録

〒761-1701 高松市香川町大野1329-1  
087-886-1960

## かがわだいがくがくせいーえすでー すてっぷ 香川大学学生ESDプロジェクトSteeep

### 香川から世界へ！エコな社会を目指して

#### 概要

- 環境問題に関する様々な活動を行うなかで、自然を守るうえで見過ごすことのできない海洋プラスチック問題に関心を持ったことをきっかけに、深刻化する海洋ごみ問題の現状を踏まえ、地域の子供たちを対象に海ごみ拾いイベントを令和2年より実施。
- 地域のコミュニティーセンターと連携し、海ごみ拾いと座学を行うことで、環境保全について考えるきっかけづくりの提供。

#### 成果

- イベントでは海ごみ拾いに加え、魚釣りゲームや環境問題に関するクイズを実施することで、子供たちに楽しんでもらいながら海ごみ問題を学ぶ機会を提供。
- この活動を通じて、参加者は海洋ごみ問題を身近な課題と捉え、幅広い年齢層の方たちに海ごみ問題について考えてもらうきっかけとなり、地域社会が抱える環境問題の解決に貢献。



海ごみ拾いイベント



小学生を対象にした勉強会

〒760-0016 高松市幸町2-1 香川大学古川研究室  
steep.kagawa@gmail.com

関連情報はこちら ▶



かがわだいがく おぎじま  
香川大学OGIJIMAプロジェクトここから  
特産品の落花生で男木島を元気に！

## 概要

- 少子高齢化、過疎化の進行に伴い農業の担い手も不足している男木島で、荒れた耕作放棄地を解消し、かつて名産品であった落花生の生産に取り組み、島の伝統や食文化を継承する活動を実施。
- 収穫した落花生を用いて島民向けのイベントを実施し、また、事業を継続的に実施することで、島内だけでなく島外の人々へも認知度の向上を目指す。



島民の方と一緒に畑の整備



落花生の収穫



落花生を用いて調理したお菓子

## 成果

- 男木島の地域活性化を図るとともに島民の方々に活動を認知してもらおう機会が創出でき、耕作放棄地の解消や食文化の継承等にも寄与。
- 地産地消を意識した取組として、男木島で育てた落花生を調理から実食するまでの過程を男木島の方々とともに実施。
- 島民の方々と協力して島の名産品を栽培するという地域に根差した取組を今後も継続。

〒760-0016 高松市幸町2-1 香川大学古川研究室

関連情報はこちら▶



かがわだいがく ぼんさいがーるずぷろじえくと  
香川大学Bonsai☆Girls Project  
若者と高松盆栽を繋ぐ架け橋に！

## 概要

- 松盆栽の生産地として知られる高松市の盆栽の魅力を女子大生の目線からPRするために平成24年に発足。
- 「男性・お年寄り・高価」といった盆栽の一般的なイメージとは真逆の「女性・若い大学生・お金をそんなに持っていない」といった女子大生が高松盆栽の認知度向上と若い世代への普及を目的に活動。

## 成果

- 盆栽作家から、実際に盆栽の作り方や育て方を定期的に教わり技術向上に努め、若者や女性をターゲットに盆栽教室や苔玉ワークショップを開催し、誇るべき地場産業を女子大生の新しい視点から効果的に発信。
- フリーペーパー「ZINE」を作成し、盆栽に関連したことを取材して掲載。SNSによる情報発信は盆栽に興味のある海外からのフォローも多く、それをきっかけに海外の盆栽イベントに動画参加。



週1回の情報共有のミーティング



フラワーフェスティバルワークショップ



盆栽教室の様子

〒760-0016 高松市幸町2-1 香川大学古川研究室

関連情報はこちら▶



しゃかいふくしほうじん むら  
**社会福祉法人 ナザレの村**  
 あなたの居場所がこの村にありますように。

**概要**

- 関連施設を卒業した障害児の家族から「成人になっても地域の中でありのままに暮らして欲しい」との要望があり作業所を開設。
- 平成16年に法人化以降は、各施設において、農福連携等の様々な取組を通じ、利用者の作業活動や就労支援を行い、地域の人たちに喜ばれるものを提供。
- 利用者が自分自身の役割やチームワークの重要性・大切さを学ぶ機会を創出。



薬用作物の植え付け作業



高松中央郵便局での無人販売



ランチ・弁当の販売風景

**成果**

- 地域の方々から使わなくなった農地を借り、EM（有用微生物群）による無農薬・無化学肥料栽培で、水稻、マコモダケ、野菜、薬用作物等を栽培。栽培品目・面積は年々増加。
- 収穫した米や野菜などは、マルシェで新鮮な状態で販売するほか、ランチや弁当、スイーツ等に加工して販売。特に米は好評であり、全体売り上げも好調。
- サツマイモ栽培では、「春日こども園」の園児と利用者が交流し、苗の植え付けや収穫作業が地域のイベントとして定着。

〒761-0101 高松市春日町1291番地1  
 087-841-9595

関連情報はこちら ▶



とくていひえいりかつどうほうじん おくしおのえこうりゅう きょうかい  
**特定非営利活動法人 奥塩江交流ボランティア協会**  
 スローライフを楽しみながら持続可能な社会に貢献

**概要**

- かつては木材・炭・農産物の供給や阿讃交通の要所として賑わっていた地域を再び活性化させることを目的に、有志20名が中心となり平成18年に奥塩江交流ボランティア協会を設立。
- 楽しみながら地域農業に貢献する「楽農人活動」、山村に賑わいをもたらす「交流活動」、グリーンツーリズムに向けた「山なみ活動」を実施。



天空の茶畑で「楽農人」



モモの広場で「まんぷく会」

**成果**

- 高齢化や後継者不足で荒廃が進んだ畑や放置茶畑を再生し、畑は「天空の畑」として蘇りソバや野菜の栽培に、茶畑は「天空の茶畑」として香川県内第2位の生産量を誇るまでとなり、JA産直市や地元の道の駅で売り上げも順調。
- 会員も約100名にまで増え、奥塩江の自然・風土が好きで「スローライフを楽しみ、持続社会に貢献する」を合言葉に地域内外から集まる仲間たちが活発な活動を展開。

〒761-1613 高松市塩江町上西甲29-1

関連情報はこちら ▶



## しわくぶたい 塩飽部隊

### 瀬戸内海の島はSDGs ラボ

#### 概要

- 香川県丸亀市沖に浮かぶ高齢化率90%、平均年齢80歳、人口わずか15名の手島を訪問した際、島の人たちの力強さと優しさ  
に感銘を受け、手島を自然循環のモデルアイランドにしようと、  
島民、京大生、NPO「四国夢中人」が一緒になって「塩飽部  
隊」を結成。
- 企業や大学、市民団体を巻き込んで活動を実施し、様々な分野  
の人々の交流を生むことで島を守り、歴史や文化を後世に残す。



香川本鷹栽培農家による現地指導

#### 成果

- 企業研修や外国人のキャンプなどで、島民との交流の機会を創  
出。
- 「瀬戸内海海洋ゴミゼロ作戦」に協力し、海洋環境問題を啓発。
- 島民にフォーカスした「自然と共に生きる手島暮らし」を3か  
国語(日本語、英語、仏語)で動画配信。
- 香川本鷹の有機農法や手島の海洋漂着ゴミ回収プロジェクトを  
通じて、国内外に瀬戸内海の今を動画配信。



海洋ゴミ回収

〒763-0027 丸亀市7番丁-71

関連情報はこちら ▶



地方  
奨励賞

## さかいでだいいちこうとうがっこう しょくもつか 坂出第一高等学校 食物科

### 高校生が伝える生きた食材

#### 概要

- 令和4年度に各学校併設の調理場を統合した坂出市学校給食セ  
ンター新設に伴い、小・中学校の児童や生徒に「食」を通じて、  
地域への理解・関心を深めてもらうため、地場産物を活用した  
学校給食メニューを考案し、学校給食で提供。
- 児童・生徒への地産地消の意識を高め、学校給食における地場  
産物の使用割合の向上に貢献し、高校生による食育ワー  
クショップ等の食育授業を通じて、若い世代への食育意識の浸透  
を図る。



班別のメニュー案の作成

#### 成果

- 栄養バランスやアレルギーへの配慮、単価という予算面でも苦  
慮しながら、仲間との協力を通じて柔軟な発想から考案したメ  
ニュー14品のうち、教育委員会・JA・給食センター等の関  
係者による試食会で評価の高かった5品を学校給食で提供。
- 地場産物や学校給食に関する知識だけでなく、食材の好き嫌い  
がある子どもたちにも、どう調理すれば残さず食べられるかと  
いった想像力や発想力を鍛える経験に繋がった。
- 給食提供の際、食育授業を実施して地産地消を広く浸透させた。



調理実習

〒762-0032 坂出市駒止町二丁目1番3号  
0877-46-2157

関連情報はこちら ▶



かぶしきかいしゃ

## 株式会社まんでがん

地域の架け橋となり新しい価値を創り続ける

## 概要

- シャッター通りとなりつつあった街を、まちの全部まるごと元気にしたいという思いで、香川県の方言「まんでがん（全部まるごと）」という社名のもと、平成11年に設立。
- 新品種のもち米として誕生した「讃岐もち麦ダイシモチ」の生産振興や商品開発・販路の拡大をすることにより、善通寺市の農業の活性化と地域ブランドの向上に取り組んでいる。



自社売店

## 成果

- 「讃岐もち麦ダイシモチ」を使った食べやすい茹で麦やレトルトカレーなどの商品を開発。最近では、ふるさと納税の返礼品として雑穀部門で上位になるなどリピーターが増加。
- 市内高校生が考案したレシピを元にチュロスの商品化するなど、地域との関わりを深めている。
- インターネットやSNS、「移動式観光案内所&キッチンカー」（ぜんつうじ むぎゅっとカー）を活用し、特産品を県内外に広くプロモーションして善通寺市の魅力を発信し、地域を振興。



ぜんつうじ むぎゅっとカー と むぎゅ〜ちゃん

〒765-0011 善通寺市上吉田町二丁目1番9号  
0877-64-0012

関連情報はこちら ▶

ごごうさと かい  
五郷里づくりの会

GOGO五郷！～文化は山から降りてくる～

## 概要

- 平成23年に、井関・内野々・有木・海老済・田野々の5つの地域からなる五郷の活性化を目的に、「できることから活動を始めよう」と五郷里づくりの会を発足。
- 「人が輝く里山づくり」を目指して、地域資源である「五郷の棚田(つなぐ棚田遺産認定)」の保全と地域の活性化を図る活動を実施。5月5日を「五郷の日」と定め、総会&記念行事を実施。
- 五郷の独自性を大切にして、伝統行事・郷土料理の継承や関係人口創出に資する取組を実施。

## 成果

- 五郷水車、水車小屋、吾妻屋、ピザ石窯の建設を始め、蕎麦の栽培と蕎麦打ち体験、里山歩き、三世交流のピザ作り体験やさつま芋の栽培と親子収穫体験会など幅広い活動を実施。
- 独自性を出すため、豊稔池堰堤(国の重要文化財)等の名所を活かした5つの里山歩きコースの整備や、梅狩り・ミカン狩り・花炭づくり体験を絡めたグリーンツーリズム、伝統料理の提供。
- 和文・英文表記の案内板、五郷観光案内図や五郷たんけんマップを作成するなど来訪者に配慮した取組を展開。



「五郷の日」記念イベント



3基のピザ石窯



国の重要文化財「豊稔池」

〒769-1621 観音寺市大野原町井関696  
0875-54-4489 携帯090-1324-8364 (徳善)

関連情報はこちら ▶



かがわけんりついでこうとうがっこう  
**香川県立石田高等学校 ワンダーフォゲル同好会**  
 どうこうかい  
 大人から教わる山仕事、僕らの青春。

**概要**

- 耕作放棄地だった里山を一人で耕作して水生生物のために環境を整備していた昆虫研究家の卒業生に誘われ、棚田の耕作・生物調査・水源管理・下草刈り等里山保全活動に取り組む。
- ボランティア団体である「Gomyo倶楽部」の人たちに昆虫研究と農業と山暮らしについてサポートを受けながら取り組んでいる。保全活動は重労働であるが、その楽しさや面白さは代々先輩から後輩へ受け継がれている。



自然観察会の開催



ため池調査



新水源の設置

**成果**

- 珍しい水生生物を守るために棚田を耕して、湯水対策として砂防ダム上流部に新水源を設置することにより、旧水源の水はすべてため池に貯水することで、ため池の高水位を維持できた。
- 「Gomyo倶楽部」のサポートを受けながら、自然観察会・御田植祭・稲刈り体験会等イベントを開催して、地域の人々と交流している。特に旬の食材を限られた手段で調理する野外炊飯が楽しみの一つになった。大人たちと共に時間を過ごすことで、自信を持って自然と向き合うことができるようになった。

〒769-2321 さぬき市寒川町石田東甲1065番地  
0879-43-2530

関連情報はこちら▶



かぶしきがいしゃ あきすいさん  
**株式会社 安岐水産**  
 食べる喜びは生きる喜び

**概要**

- お魚を通して知る「楽しさ・喜び」をたくさんの方と共有したいと「お魚を食べることを、次世代に繋ぐ」という熱い思いのもと、『お魚生活すすめ隊』を結成。地元の食文化を伝えるするなど魚食文化を伝える活動を継続。
- 命をいただくことの大切さやその意味を伝え、お魚をより身近なものにしてもらう機会を提供。

**成果**

- 食育ツアーや親子お魚料理教室、地元企業とのコラボした郷土料理の「ばら寿司」の制作・試食会等のイベントを開催した。
- 漁師、地域、企業の3者で発足した地域活動に計画段階から参加、過疎化が進む津田の街に賑わいをもたらすことを目的に「津田港わくわくフェスティバル」を開催した。
- 地元小学生とともに、タコの減少理由を調査し、減少の一因と考えられる真鯛を間引いて食物連鎖のバランスを保つために真鯛を使った商品の企画・販売をした。



津田港わくわくフェスティバル×地元小学生



World Cleanup Day:ビーチクリーン開催

〒769-2401 さぬき市津田町津田1402-23  
0879-42-3037

関連情報はこちら▶





## さんこう しょくどう 三高みんなの食堂プロジェクト

かがわけんりつさんぽんまつこうとうがっこう  
(香川県立三本松高等学校)

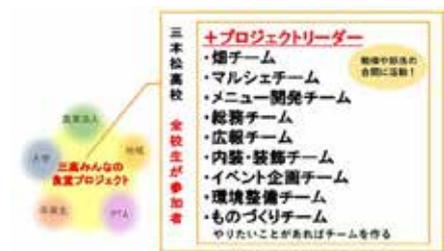
学食の復活、そして地域食堂へ

### 概要

- 高校の学食運営は、新たな仕組みを作ることで大きな可能性があると考え、地域の資源を生かし、生徒が主体的に活動して農事組合法人と共に食堂運営に係わるプロジェクトを構築。
- 良質な食の提供、生徒の活動と学び、地域住民の交流の場としての食堂を目指し、地域の良さを体感できコミュニティを活性化することに繋がる取組を通して、地域の将来を担う人づくりとして活動。

### 成果

- 65人のプロジェクトリーダーが中心となって全生徒・職員が参加し、よりよい学食に向けてできることを主体的に考えて自主的に実行している。地元農家や漁協の協力もあり、安価で質の良い食事の提供が可能に。
- 生徒は活動を通して地域が身近になり人の良さに触れ、その大切さを実感できており、将来自ら進んで地域を担う意識をもった社会人として活躍することが期待できる。地域との関係が深まり、生徒たちは誇りをもって取り組みに参加。



プロジェクトの体制



地元産品使った日替わり定食



高齢者など地域の方の学食利用

〒769-2601 東かがわ市三本松1500-1  
0879-25-4147

関連情報はこちら ▶



## のうじくみあいほうじんたかせちやぎようくみあい 農事組合法人高瀬茶業組合

四国発の高麗人參スプラウトを水耕栽培にて

### 概要

- 組合員の高齢化・後継者不足による茶の減産を心配した地域の有志が、組合の再構築のため、姉妹縁組を結び農業交流を続けていた韓国から高麗人參スプラウトの栽培技術の指導と研修を受け、約2年で安定的に栽培する技術を習得して事業を始めた。
- 高麗人參スプラウトを水耕栽培することにより、従来の高麗人參よりも安く生鮮野菜として販売。
- 健康意識向上のための薬膳教室を開き、漢方や生薬などの普及・啓発に取り組んでいる。

### 成果

- これまで緑茶の製造・販売のみだったが高麗人參スプラウトの栽培と販売に取り組むことにより、従来のお茶のお客様にも販売できるという相乗効果をもたらした。
- 東京等の都市部の料理店・高級食材店への営業を拡大するとともに健康意識の高い顧客に直接販売する等販路を拡大している。
- 三豊市は「薬草の町」づくり宣言をしており、高麗人參スプラウト及び関連商品をふるさと納税の返礼品に提供するなど地域ぐるみで販路を拡大している。



茶工場を改装した販売所



高麗人參スプラウトと水耕栽培システム



薬膳教室

〒767-0021 三豊市高瀬町佐股甲2476  
0875-74-6012 ginseng@shikokuhatsu-koraininjin-sprout.com

関連情報はこちら ▶



みのちょうかんきょうほぜんかい  
**三野町環境保全会**  
 次世代に繋ぐ、ほほえみの町、三野町

**概要**

- 農地・農業用施設の維持管理を農業者以外の地域住民も加わった地域全体で行うことや本地域における環境資源や伝統文化を後世に継承していくことを目指して、ほぼ三野町全域で活動する「三野町環境保全会」を設立。
- 地域資源保全の活動を町全域に広げていくとともに、子供達への啓蒙活動、景観形成活動、田んぼダムや防災訓練などの防災・減災活動等多種の活動に取り組んでいる。



ため池の草刈り

**成果**

- 活動区域が拡大し、構成員が多種の活動に取り組めるようになった。また、町全体の包括的な活動で、維持管理が困難だった小規模な農地・農業用施設も活動が実施できるようになった。
- 協力団体も増え、農地・農業用施設の維持管理だけにとどまらず、子供達への農業体験、遊休農地にコスモスやアジサイなどの景観作物の栽培、河津桜の維持管理など非農業者を主とした地域住民との共同活動へ広がっており、その結果、本組織が町全体に広く知られることとなった。



田んぼダムの看板

〒767-0032 三豊市三野町下高瀬568-1

しょうどしまひあたりのさといぎすえ  
**小豆島陽当の里伊喜末**  
 高齢者も活躍し、若者が地域を支える農村へ

**概要**

- 高齢化や鳥獣被害で増加した耕作放棄地に危機感を抱いた農業者数名が、かつての活気と景観を取り戻そうと農地の再生に乗り出し、それをきっかけに活動が開始。
- 島嶼部特有の不利な耕作条件のなか、高齢者が生き生きと活躍し、女性と若い世代が一丸となって地域を支えることにより、新たな耕作放棄地の発生を防止。
- サツマイモの「芋づるの塔」等の伝統継承、積極的にコミュニティ活動を推進した結果、住民全体の交流が深まった。

**成果**

- 当初は農業者有志で始めた活動も、現在では青年団や消防団も管理作業に参加し、地域全体の交流と協力体制が構築。
- 島内のオリーブ生産4法人の誘致、伝統野菜の生産や地元企業と連携した新規作物の契約栽培に取り組む等再生した農地を永続的に活用することが実現。
- 地域創生プロジェクトとして「ごまのみらい小豆島プロジェクト」を発足、野菜の収穫体験イベントや給食への食材提供による食育、芋掘り体験等による交流人口も増加。



タマネギの収穫体験学習



ごまのみらい小豆島プロジェクトが発足



島内外からの来客で賑わう産直市

〒761-4131 小豆郡土庄町伊喜末116-3

関連情報はこちら ▶



しょうどしまちょうなかやまたなだきょうぎかい  
**小豆島町中山棚田協議会**  
 先人の汗の結晶を未来へ継ぐ「中山千枚田」

**概要**

- 棚田を中心に培われてきた貴重な文化や伝統の源である中山千枚田を守るため、住民自らが発起人となり協議会を設立。
- 未耕作田の減少に努め、景観の保全に取り組むとともに、地域の強みを活かしつつ、新たな魅力発見に努めることで、地域おこし協力隊等移住者も含めた地域づくりを目指す。



大学生ボランティアによる水路掃除

**成果**

- 棚田オーナーを募集し、耕作作業を指導する棚田アカデミーや江戸時代から続いてきた「中山農村歌舞伎」や「虫送り」等棚田での稲作文化が起源となっている行事に参加してもらうことにより、棚田の魅力発信と再発見につなげている。
- 若い学生によるボランティア活動の受け入れや棚田耕作体験を支援して、地域の活力づくりに役立っている。



活性化イベント「泥んご遊び」

〒761-4431 小豆郡小豆島町片城甲44番地95  
 0879-82-7026

関連情報はこちら▶



かがわけんりつたどつこうとうがっこうけんちくか・もくしょうぶ  
**香川県立多度津高等学校建築科・木匠部**  
 専門高校のモノづくりで地域貢献！

**概要**

- 里山の保全活動を行いながら、学校での学びを形に変える活動を実施。地域おこしのプロジェクトに参加し、環境整備や地域活動を通じて活動の場を広げる。
- 地域貢献から始まり、地域の方からの支援を受けた実地教育の成果を、モノ・コトとして残すという良縁のスパイラルを創出。
- 地域活動を通じて様々な人と会うことにより、生徒たちの活動の場が広がる。

**成果**

- 保全活動を通じ、木材の生育環境や保全について実地で学べる貴重な機会を得て、自然管理の大変さと大切さの学習の場が創出される。
- 専門高校に通う生徒の地域貢献活動と地域の方の支援がマッチし、唯一無二の教育機会に繋がっている。
- 学んだことを活用した地域貢献で、生徒と地域の大人達との繋がりで活躍の場が広がり、地域の好循環が生まれている。



記念樹を植樹



毎月行っている里山保全活動



CLTベンチの制作

〒764-0011 仲多度郡多度津町栄町1丁目1-82

## らぼ たどつまちLabo

竹あかりで多度津を盛り上げたい！

### 概要

- 地域未利用資源である放置竹林の竹を利用したワークショップの開催や作成した竹あかりを展示するイベントの企画・運営することにより、町の活性化を推進。
- 古くなった竹あかりや牡蠣養殖で使われていた竹で竹炭を作り、河川の浄化に生かす。

### 成果

- 地域住民団体や多度津町役場と連携して、歴史的建造物が立ち並ぶ旧本町筋にて竹あかりを展示することを通して、旧本町筋が重要伝統的建造物保存地区に選定されることを目指す。
- 地域住民と連携して放置竹林の竹を定期的に伐採することにより、放置竹林問題の解消に貢献。
- 竹炭を利用して、町のシンボルである桜川の浄化につなげることにより資源の循環を実現。



竹あかりワークショップ



竹あかり展示



竹炭づくり

〒760-0016 高松市幸町2-1 香川大学古川研究室

関連情報はこちら▶



## しまがみね げんふうけい まも かい 島ヶ峰の原風景を守る会

初めて会った人達もいつか笑顔のソバづくり

### 概要

- 人口減少・高齢化により衰退し荒廃する農地の状況を憂いた同士が、この地の食文化や風景を「次世代に残したい」という想いで集まり、平成28年より荒廃地の開墾から始め、寒暖差を利用したソバ作りを開始。
- 開墾した農地の一部を利用して、ソバの栽培体験・そば打ち体験ができる『そば道場』を実施しており、加えて廃校跡地を利用してそばが食べられる食堂をオープン。

### 成果

- 農地であった面影さえない荒地の開墾は、狭小な道路や背丈よりも大きな草木のため容易ではなく、農地として復活するのに約3年の歳月を要したが、最近では本地区に定住した元地域おこし協力隊の方や島ヶ峰の紫翠に魅了された若い人も活動に参加するようになり、活気があふれてきた。
- 荒地を開墾したことにより、復活したソバ畑として県内外から注目を浴び、ソバ畑を一目見ようと多くの方が訪れるようになった。



荒れた農地が3年後に復活



咲き誇るのソバの花



ソバを使用した6次化商品

〒766-0203 仲多度郡まんのう町川東2467

地方  
奨励賞

ほのやまちいきほぜんかつどうそしき  
**帆山地域保全活動組織**  
 ほのやまロード、ひまわりに託す夢と希望

**概要**

- 高齢化等による後継者不足で地域のインフラを守る事が困難になるなか、施設の老朽化等で維持管理や更新に多額の費用が必要と想定されるため、インフラは帆山保全活動組織で長寿命化を図り、農業生産活動は(農)ほのやまに集約して、二つの組織で持続可能な地域集落型営農を目指す。
- 地域資源を活かした6次産業化で地域を活性化し、自分達の集落は自分達で守るため、更なる省力化と生産性の向上を図る。

**成果**

- 「自分達の集落は自分達で守る」をスローガンに、農道・ため池・水路のほか、地区内すべての官地の草刈り等を年3回実施。
- 6次産業化として、ひまわりオイルをはじめドレッシング、焼酎等の多数の商品を開発。また、畜産農家の協力で搾りかすを飼料にした「まんのうひまわり牛」や肥料として活用した「ひまわり米」も誕生。
- 約75万本のひまわりは、県内外から観光客が訪れる夏の風物詩となり、写真映える仕掛けにも取り組む。



写真映える仕掛けづくり



ひまわり迷路・幸せの鐘



夜間ライトアップ

〒769-0314 仲多度郡まんのう町帆山599番地1  
 0877-77-2221

**愛媛県**

## 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (愛媛県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①		団体	松山市	きりぬき	農業	企業との連携	学生・若者の活躍
②		団体	松山市	公益社団法人 松山市シルバー人材センター	都市農業	伝統の継承	食育・教育
③		団体	松山市	HAPP (Hojo Agriculture Professional Production)	企業との連携	学生・若者の活躍	その他(新規就農者サポート)
④		団体	今治市	しまなみイノシシ活用隊	鳥獣被害防止	移住・定住	教育機関との連携
⑤		団体	宇和島市	愛媛県立北宇和高等学校三間分校地域情報ビジネス部	農業	地産地消	学生・若者の活躍
⑥		団体	八幡浜市	愛媛県立八幡浜高等学校 商業研究部A★KIND	地産地消	学生・若者の活躍	関係人口の創出
⑦		団体	八幡浜市	ダルメインWorldマーメイドアワード&フェスティバル in Japan実行委員会	6次産業化		
⑧		団体	西条市	NPO法人うちぬき21プロジェクト千町棚田チーム	農業	棚田保全	農村環境・景観保全
⑨		団体	西条市	愛媛県立西条農業高等学校 食農科学科	農業	企業との連携	学生・若者の活躍
⑩		団体	西条市	愛媛県立西条農業高等学校 食農科学科 チームパパイヤ	農業	荒廃農地対策	鳥獣被害防止
⑪	地方奨励賞	団体	大洲市	長浜高校水族館部	水産業	移住・定住	環境保全(農林水産業・食品産業)
⑫		団体	伊予市	愛媛県立伊予農業高等学校 生活科学科食物班	農福連携	高齢者の活躍	学生・若者の活躍
⑬	地方奨励賞	団体	東温市	奥松瀬川地区農村活性化協議会	農業	6次産業化	女性の活躍
⑭	地方奨励賞	団体	愛南町	愛南町役場水産課海業推進室(ブルーカーボンプロジェクトチーム)	水産業	環境保全(農林水産業・食品産業)	食育・教育





## きりぬき

『価値を再定義』

### 概要

- 農家から規格外柑橘を市場より高く買取り、インターネット販売やジュースへの加工、販売を通して柑橘農家全体の収益底上げを目標に活動を開始した。
- みかん農家や自治体、大学や福祉施設と連携し、みかんの選別体験会や講演会、販売イベントなどを開催している。
- 地域の既存産業とコラボし、柑橘のリキュール開発や伊予柑のクラフトビール開発に携わっている。



規格外柑橘の選別作業の様子



規格外柑橘から生まれた果汁100%ジュース



柑橘のリキュールお披露目会

### 成果

- 昨シーズン（令和5年10月～令和6年6月）は、70軒の柑橘農家から委託された25種類の規格外柑橘300トンを販売した。
- 柑橘の発送作業で、地域の高齢者や大学生の新たな雇用を創出している。
- 老舗酒造会社・松山大学とコラボし、河内晩柑ジュース・伊予柑ジュースに日本酒を配合したリキュール「推し柑」の販売を令和5年に開始した。

〒799-2430 松山市北条辻16-6  
070-8483-2507 kirinuki.mikanyama@gmail.com

関連情報はこちら ▶



## こうえきしゃだんほうじん まつやまし じんざい 公益社団法人 松山市シルバー人材センター 農で集うシルバーパワー

### 概要

- 平成28年度に「まつやま郷土料理研究会」を発足し、郷土料理マイスターの育成、郷土料理の保存とビジネス普及、シニア世代の生涯現役活動の機会づくり活動に取り組んでいる。
- 伝統野菜「伊予緋かぶ」栽培と就農者育成の活動をしている。
- 令和5年度にみんなの農園「シルバーfarm平井」を開園し、耕作放棄地の解消と地域の方や会員との交流活動による農産物の販売や体験ビジネスの拡大を目指している。



まつやま郷土料理研究会マドンナキッチン



「シルバーfarm平井」での播種の栽培指導



伝統野菜「伊予緋かぶ」

### 成果

- 新橋アンテナショップに出店し、郷土料理ランチプレート試食や商品化した甘夏マーマレードを販売する活動を実践した。
- 農作物の栽培と販売による経済効果が得られ、令和3年に1名が就農を開始した。
- 集い・学び・地域の方や会員との交流活動の実施により、土に触れる屋外活動の場への参加を希望する高齢者が増加しているとともに、会員が活躍できる場として脚光を浴びている。

〒790-0808 松山市若草町8-3  
089-933-7373 matuyamasc@sjc.ne.jp

関連情報はこちら ▶



はっぷ ほうじょう あぐりかるちゃー ぶろふえっしょなる ぶろだくしょん  
**HAPP (Hojo Agriculture Professional Production)**  
 いっしょにつくる、農業のあたらしいかたち。

## 概要

- 松山市の北条地区で、農業経営のプロを目指す組織として、資材業者、税理士等の他業種からも参加を募り活動している。
- 新規就農者を地元呼び込む「HAPPyプロジェクト」活動により、農地や空き家、販路の情報を提供しサポートしている。
- 定例会での月1回の勉強会、週1回の農業者向けラジオ番組（アグラジ）での情報発信、食育の出前授業を実施している。
- 愛媛県「デジタル実装加速化プロジェクト」等の実証実験に参加し、デジタル化にも取り組んでいる。



「ラジオ番組アグラジ」の収録風景



ドローン等の新技術の研修



HAPP紹介パンフレット

## 成果

- 令和5年度は1名、令和6年度は2名が新規に就農し、定例会には新規就農者の声かけにより毎月新しい農家が参加して決算書の見方や販路開拓のコツなどを学んでいる。
- ラジオスポンサーやHAPP向け優待価格を提示してくれる企業が現れるなど、取組が広く知られてきている。
- ドローンのプロによる講習により、2名が農業用ドローンを購入、5名が資格取得するなど、緊急防除や急傾斜地での労力削減に活用されている。

〒799-2406 松山市中通781-1  
 090-6880-7086 happy.hojo@gmail.com

関連情報はこちら ▶



かつようたい  
**しまなみイノシシ活用隊**  
 野生鳥獣との新たな共生のカたち

## 概要

- 元々は島にいなかったイノシシによる農作物被害が増加する中で、利用が進んでいなかったイノシシを食肉等として利活用し、地域資源として所得に結びつけるため平成22年に設立された。
- イノシシによる農業被害の防止（1次産業の保護）と捕獲したイノシシの価値を最大限に利活用し、自然との「共生」を目指しながら農業生産活動の維持に取り組んでいる。
- 捕獲から販路開拓、販売までを一括で行い、鳥獣被害を抑える一方で、利益を確保する仕組みを構築している。



捕獲したイノシシの解体作業

## 成果

- 鳥獣による被害の防止だけでなく、愛媛県が全国有数の柑橘類の生産地という地域性を生かし、「みかんイノシシ」としてブランドینگに取り組んだ精肉は、平成29年のコンテストでグランプリを受賞した。
- 当団体での雇用のみならず、これを機に狩猟やジビエに関わる仕事で移住・定住が促進されている。
- 市の枠を超えた広域でのジビエ利活用の起点になるとともに、行政や大学と連携し、豚熱ワクチンの散布も受託している。



通常は廃棄する部分の利活用

〒794-1304 今治市大三島町宮浦4975  
 0897-72-8109 dfnouen@gmail.com

関連情報はこちら ▶





# えひめけんりつきたうわこうとうがっこう みまぶんこう 愛媛県立北宇和高等学校三間分校

ちいきじょうほう

## 地域情報ビジネス部

地域の課題解決を高校生がコーディネート

### 概要

- 令和8年度末で閉校が決まった三間分校の生徒が「地域との関わりを広げ、宇和島市三間町を盛り上げたい」との思いから、地域情報ビジネス部を新たに立ち上げ、三間町の活性化を行うNPO団体「みまプロジェクト」と協力し地域活性化につながる活動を開始した。
- 地元のみま米を使ったライスバーガーとスイーツの販売・PR活動や愛媛と高知をつなぐ予土線圏域学校間交流を実施。
- 閉校後も地域に交流する場所を設けて活動を継続していく。

### 成果

- MIMAライスバーガーは、宇和島市内を中心に販売・PR活動を行い、970個を販売。地元企業と連携し開発した、美沼フルーツミックスは、マルシェに出店し約170個を販売し、地域のPRや活性化に貢献した。
- 三間分校がホスト役として企画・立案した、予土線圏域活性化のシンポジウムでは、圏域に暮らしている若い世代が、地域に貢献していく気運が高まった。



MIMAライスバーガーを販売・PR



みまプロジェクトのメンバーと商品づくり



予土線圏域学校間交流（駅舎にカボチャアート）

〒798-1115 宇和島市三間町戸雁764-3  
0895-58-2031

関連情報はこちら▶



# えひめけんりつやわはまこうとうがっこう しょうぎょうけんきゅうぶあきんど 愛媛県立八幡浜高等学校 商業研究部A★KIND

共創でワクワクするビジネスチャンスをつかむ

### 概要

- 「バーチャルカンパニーA★KIND（あきんど）」の名称で平成12年から数多くの活動を行い、近年では農業と漁業を融合した活動に注目し、地域資源を活用したビジネスプランや商品開発、ボランティア活動などを中心に活動している。
- 事業者、他の高校、就労継続支援B型事業所、塩の生産者と協働して、「海のアイス」を商品開発し、地元の道の駅で常設販売を開始した。また、海ごみを活用したクリスマスオーナメントのワークショップに挑戦した。

### 成果

- 様々な商品開発やイベント、ボランティア活動を通して多くの方々とつながりができたことにより、ビジネスチャンスが広がり、少しずつ成果を生み始めている。
- 商品開発を通して、八幡浜大島の知名度を上げることで、関係人口を増やしている。また、開発商品を通して地元八幡浜の魅力を発信し、地域の環境問題の解決に向け行動することで、地域に貢献できている。



開発商品：海のアイス



ボランティア活動：大島の海ごみ



竹ツリー&amp;海ごみオーナメント

〒796-0010 八幡浜市松柏丙654  
0894-22-2570

関連情報はこちら▶



わーど  
**ダルメイン World マーマレードアワード&フェスティバル**  
 いんじゃぼん じっこういいんかい  
**in Japan 実行委員会**  
 マーマレードの聖地「やわたはま」へ

## 概要

- 英国の国際的なマーマレードコンテストを八幡浜市で開催できるよう誘致活動を行い、令和元年に日本初開催された。
- 本年（第6回）のマーマレードアワード&フェスティバルには、国内44都道府県に加え、海外では台湾、アメリカ、香港から過去最多となる計2,110作品の出品があった。
- フェスティバルでは、表彰式のほか、ステージイベント、農産物加工品販売出店ブース、受賞マーマレード販売ブースなどでマーマレード・農産物をPRした。

## 成果

- 大会期間中のマーマレードの展示やイベント、ブース出店により、来場した多くの人にマーマレード、かんきつの魅力を発信した。
- 同大会で金賞を受賞されたかんきつ生産者の団体等が企業化され、マーマレードを中心に農産物加工品を広く販売するなど、生産者という強みを生かした事業を展開。また、アマチュアの部で受賞された方々が、プロとして店舗販売・ネット販売など、事業化されている。



第6回大会最終審査会の一コマ



出品されたマーマレードの展示



英国大会・日本大会前審査員によるトークイベント

〒796-0048 八幡浜市北浜1-1-1  
 0894-22-3111 marmalade@city.yawatahama.ehime.jp

関連情報はこちら▶



えぬびーおーほうじん

にじゅういち

せんじょうたなだ

**NPO法人うちぬき21プロジェクト千町棚田チーム**  
 つなぐ棚田遺産～千町棚田から発信～

## 概要

- 平成12年にNPO法人うちぬき21プロジェクトが創設された。その後、平成26年から活動していた県立西条農業高校PTAやOB有志による「千町棚田再生プロジェクト」を平成29年に受け継ぎ、棚田の再生と環境保全活動を開始した。
- 令和3年からは千町棚田チームを結成し、地元の企業や団体、地元農業高校生とコラボして、米や野菜などの栽培から加工はもとより、放置竹林の解消、地域伝統文化（獅子舞や盆踊り）の継承も行い、3世代交流による地域活性化を目指している。

## 成果

- 耕作放棄地となっている棚田を借り受け、棚田オーナーや活動に賛同する関係者とともに、環境保全活動として草刈りや耕作、農業体験活動、各種イベントの開催等を行っている。
- 環境学習を年6回実施し、千町棚田のフィールドワークや水生生物調査、竹を使った飯ごう炊飯やそうめん流し、竹を使ったおもちゃ製作を行い、棚田の環境保全と環境教育の啓発活動を行った。また、棚田サミットを開催し、棚田の保存と後継者養成の在り方について協議した。



メンバーが参加しての稲刈り作業



伐採した竹を使った飯ごう炊飯体験

〒793-0035 西条市福武甲2128-15  
 0897-53-8902

関連情報はこちら▶



えひめけんりつさいじょうのうぎょうこうとうがっこう しょくのうかがくか

## 愛媛県立西条農業高等学校 食農科学科

未来を創る一步～七福芋を使った商品開発～

## 概要

- 新居浜市大島特産の七福芋は大島以外での栽培が難しいとされる希少なサツマイモであるが、生産量が減少している現状や認知度の低さを知り、生産量や認知度を高めることを目標に活動を開始した。
- 認知度を高めるため、スイーツを開発・販売するとともに、各種イベントで認知度調査を実施している。
- 大島以外でも生産できないか、校内で試験栽培も行っている。



ザ・芋フェスというイベントで人気投票1位に

## 成果

- 製菓業者とともに開発・改良した商品は、すべてのイベントで完売し、地方紙等にも掲載された。
- 各種イベントで実施した認知度調査の結果、地方紙等に掲載されたこの活動をきっかけに、七福芋を知った人が増加している。
- 他校主催の芋堀体験への参加や製菓業者を訪問して学習するなど、七福芋についての理解が深まっている。



西条農業高校での七福芋の定植風景

〒793-0035 西条市福武甲2093  
0897-56-3611 saia-hof@school.esnet.ed.jp

関連情報はこちら ▶



えひめけんりつさいじょうのうぎょうこうとうがっこう しょくのうかがくか

## 愛媛県立西条農業高等学校 食農科学科チームパパイア

未来型農業！「青パパイア」×「ソーラー」

## 概要

- ①鳥獣被害軽減、②地球温暖化への対応、③耕作放棄地の活用という地域農業課題を解決できる、青パパイアの栽培技術の確立と地域への普及を目指し、耕作放棄地において営農型太陽光発電設備下におけるパパイアの栽培を行っている。
- パパイアを身近な食品として捉えてもらえるよう商品開発を進め、イベントでの販売やパパイアを題材とした農業と環境学習会を開催するなど、消費拡大と認知度向上に努めている。



ソーラーパネルの下での実地栽培

## 成果

- 太陽光エネルギーの活用による発電で、カーボンニュートラル活動を実現した。
- 耕作放棄地を有効に活用することにより、地域の耕作放棄地解消に貢献できる。
- パパイアは鳥獣被害を受けにくいということから、その被害の軽減が期待される。



パパイアの収穫

〒793-0035 西条市福武甲2093  
0897-56-3611 saia-hof@school.esnet.ed.jp

関連情報はこちら ▶



地方  
奨励賞

ながはまこうこう すいぞくかんぶ  
**長浜高校水族館部**  
水族館部は救う、街も学校も！

概要

- 長浜高校は、全国唯一の部活動「水族館部」があり、海洋環境について学ぶことができ、水族館一般公開では、生物の解説や様々な体験イベントを開催している。また、水族館ならではの研究活動も充実している。
- 部員の増加により校内の施設が手狭になったため、令和6年4月に学校に隣接する長浜水族館跡地の大洲市長浜保健センターに移転し、リニューアルオープンした。

成果

- 「水族館部」人気により県内外から多くの入学希望者が殺到し、廃校の危機にあった同校を救うとともに、人口の減少が課題であった地域に年間5,000人以上の交流人口をもたらし、地域活性化や地域経済にも大きく貢献した。
- 「国際学生科学技術フェア」において、「カクレクマノミ」がイソギンチャクに刺されないメカニズムを解明した論文が4等を受賞した。現在は、サツキマスの養殖研究に取り組んでいる。



リニューアルオープンした長高水族館



令和6年度水族館部



メイン展示室：竜宮城

〒799-3401 大洲市長浜甲480-1  
0893-52-1251

関連情報はこちら▶



えひめけんりつ いよのうぎょうこうとうがっこう せいかつかがくかしょくもつはん  
**愛媛県立伊予農業高等学校 生活科学科食物班**  
#伊予農福連携プロジェクト

概要

- 企業、広島特別支援学校、伊予市、地元銀行との共助で地域振興を図り、農福連携を通じた共生社会の実現を目指している。
- 地元企業と連携し、ノウフクJASきくらげの栽培・管理とそれを原料とした商品開発に取り組んでおり、コラボコロッケの販売や「きくらげ鯛めし」等のレトルト食品の試験販売を行った。
- 漁業者の所得向上を目的に、サメやエイなど廃棄されている未利用魚を使った料理の考案に挑戦している。

成果

- 広島特別支援学校との連携では、同校の学習発表会で、簡単に量産できる「トマトアイスボックスクッキー」が販売された。
- 地元天ぷら店と連携し、ノウフクJASきくらげ使用のコロッケ4種を考案して令和6年7月末までに3,606個を販売した。
- 未利用魚を活用した料理のレシピ検討を行い、企業に提案するとともに、地元銀行等とクラウドファンディングを立ち上げ、開始19日で目標を達成した。



考案した「きくらげ鯛めし」



ノウフクJASきくらげの普及活動



クラウドファンディング

〒799-3111 伊予市下吾川1433  
089-982-1225

関連情報はこちら▶



地方  
奨励賞

おくませかわちくのうそんかつせいかきょうぎかい  
**奥松瀬川地区農村活性化協議会**  
 希望の田舎 奥松瀬川

## 概要

- 農村型地域運営組織モデル形成支援事業の開始に伴い、令和5年度に奥松瀬川地区の地域運営の中心組織として再編した。
- 荒廃した山林や農地、耕作放棄地を整備し、令和元年度に柚子の新植を開始した。
- 令和5年度から、県外の養蜂家の技術提供を受け養蜂産業の再生に取り組むとともに、地域に根差した手芸文化を活かして、リースの産地化及び商品化を行っている。



柚子の新植



みつばちの巣箱製作



リース商品の共同製作

## 成果

- 令和5年度には柚子の栽培面積が3haに拡大するとともに、荒廃農地が92aから58aに減少した。
- 養蜂の部会を設立し、会員数18名、蜜源作物栽培面積1.5ha、巣箱設置120群で活動を行い、メンバー全員が蜜蝋の製造技術を習得した。
- リースの産地化と並行し、リース教室や小学校へのリース出張授業を開催することにより、交流人口の拡大とリース文化の裾野拡大を図った。

〒791-0314 東温市松瀬川1876  
 050-1239-1606 hokkoriokumatsu@gmail.com

関連情報はこちら ▶

地方  
奨励賞

あいなんちょうやくばすいさんかうみぎょうすいしんしつ  
**愛南町役場水産課海業推進室**  
 (ブルーカーボンプロジェクトチーム)

「やっかいもの」にこそ価値がある！愛南町ブルーカーボンプロジェクト

## 概要

- 漁獲量の減少や後継者不足が深刻化する中、持続可能な水産業を営むため漁場環境の保全が必須と考え、藻場造成の一環として食用に不向きで、「磯焼け」の要因となる「やっかいもの」ガンガゼウニの駆除を行っていたが、食用化に挑戦した。
- 真珠母貝養殖筏に毎年繁茂して生産活動の障害となっていた海藻をブルーカーボンとして再評価し、Jブルークレジット®認証の取得に挑戦した。

## 成果

- 捕獲したガンガゼウニに町特産品のブロッコリーと河内晩柑の廃棄部分を餌として与え畜養することで、「ウニコリー」として商品化に成功し、年間200~500パック販売した。
- 養殖業者の日常作業がブルーカーボンの創出源であると再評価され、四国初となるJブルークレジット®認証を取得した。今後、「海業」の一環として事業展開し、持続可能な海業の実現を目指していく。



畜養したガンガゼウニ



Jブルークレジット®認証を受けた筏上の藻場



ウニ等を用いた環境学習

〒798-4196 愛南町城辺甲2420  
 0895-72-7312 umigy@town.ainan.ehime.jp

関連情報はこちら ▶

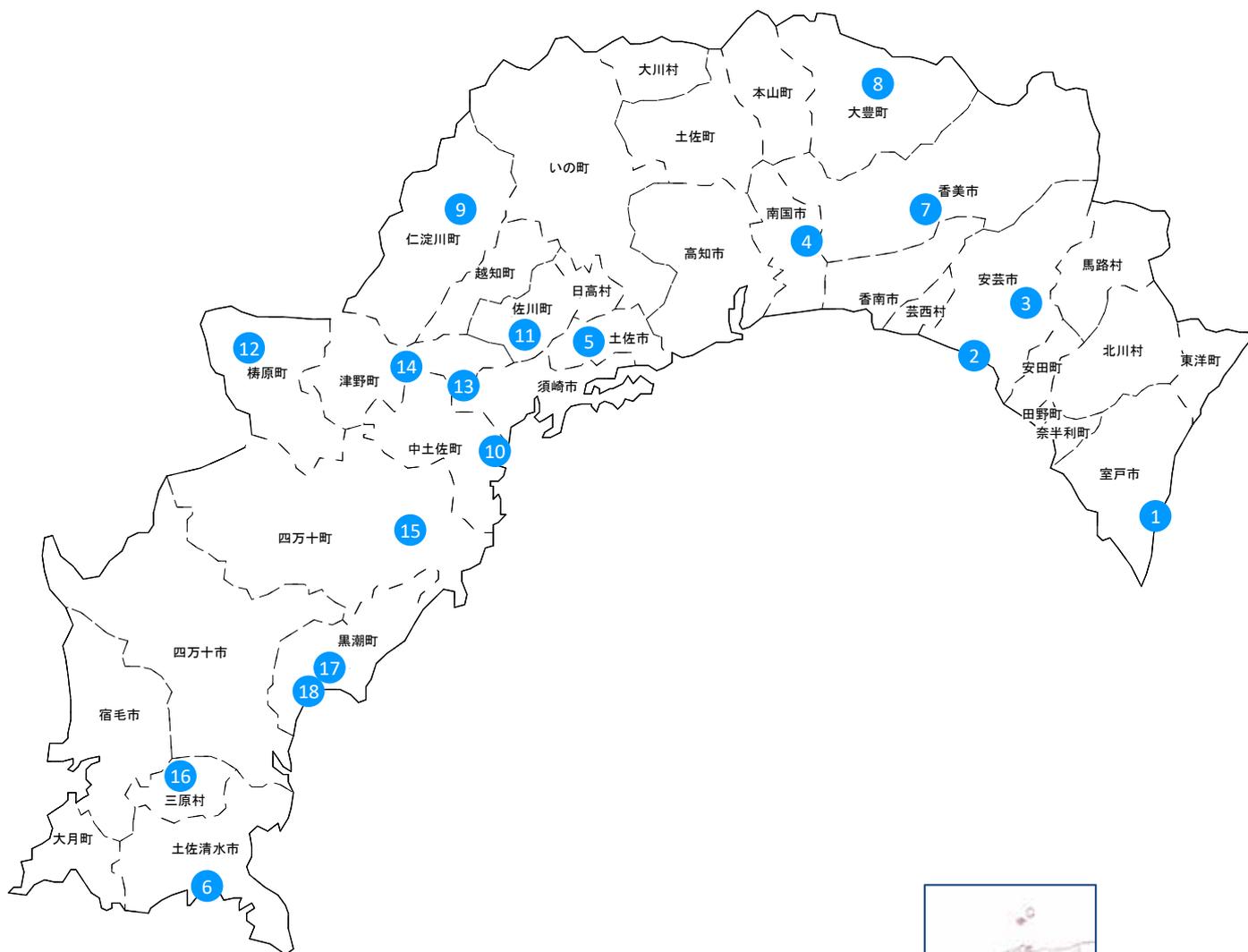


**高知県**

## 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (高知県)

No.	選定 地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①	地方 奨励賞	団体	室戸市	むろと廃校水族館	水産業	移住・定住	食育・教育
②	地方 奨励賞	団体	安芸市	安芸「釜あげちりめん丼」楽会	食育・教育		
③		団体	安芸市	入河内大根のこそう会	農業	地産地消	伝統の継承
④		団体	南国市	農家レストラン「まほろば畑」	地産地消	伝統の継承	女性の活躍
⑤		団体	土佐市	有限会社 戸田商行	伝統の継承	環境保全(農林水産業・食品産業)	その他(多様な機関との連携)
⑥		団体	土佐清水市	株式会社サクセス 道の駅めじかの里 土佐清水	地産地消	関係人口の創出	その他(道の駅を通じた地域間交流)
⑦		個人	香美市	西村 直子	農泊	ジビエ	食育・教育
⑧		団体	大豊町	東豊永集落活動センター推進協議会	林業	荒廃農地対策	関係人口の創出
⑨		団体	仁淀川町	清流ファーム合同会社	農業	雇用	農福連携
⑩		団体	中土佐町	大正町市場協同組合	水産業	6次産業化	食育・教育
⑪	地方 奨励賞	団体	佐川町	特定非営利活動法人とかの元気村	農業	高齢者の活躍	農村環境・景観保全
⑫	地方 奨励賞	団体	梶原町	集落活動センター四万川	農業	関係人口の創出	その他 (地域住民のくらしを守るための活動)
⑬		団体	津野町	津野町まちづくりネットワークfuu-hot(フーホット)	女性の活躍	関係人口の創出	その他 (地域活性化、地域連携)
⑭	地方 奨励賞	団体	津野町	船戸活性化委員会「四万十川源流点」	女性の活躍	農村環境・景観保全	関係人口の創出
⑮		団体	四万十町	JA高知県四万十エコ栽培米生産部会	農業	食育・教育	高齢者の活躍
⑯	地方 奨励賞	団体	三原村	一般社団法人三原村集落活動センターやまびこ	農業	高齢者の活躍	関係人口の創出
⑰		団体	黒潮町	一般社団法人であいの里蜷川	6次産業化	地産地消	女性の活躍
⑱	地方 奨励賞	団体	黒潮町	株式会社黒潮町缶詰製作所	農業	水産業	雇用

# 応募地区所在市町村図（高知県）



地方  
奨励賞

## はいこうすいぞくかん むろと廃校水族館

廃校にハイッ行こう！

## 概要

- 旧小学校を改修し平成30年に開館。NPO法人日本ウミガメ協議会が運営。室戸市でのウミガメの調査に地元漁師の協力を得られるようになり、調査継続の拠点として運用開始。
- 地元の定置網で獲れた売れない、食べられない、傷ついた未利用魚を中心に展示し、室戸の海の魅力を発信。
- 施設は小学校の校舎を再利用しているが、図書室には海の生き物や高知県に関連する書籍を置き、教室をほとんどそのままの状態で解放。



25mプールでサメが泳ぐ



アカウミガメの計測



「せいくらべ」企画開催

## 成果

- 令和5年度は88,000人近い入館者が訪れ、室戸市における観光の目玉となり、地域の活性化に大きく寄与している。
- 職員は県外出身の移住者で、研修生の中には漁師になる人もいる（6名）。室戸市の移住促進・就職支援にも貢献。

〒781-7101 室戸市室戸岬町533-2  
0887-22-0815 murosu@umigame.org

関連情報はこちら ▶

地方  
奨励賞

## あき かま どん がっかい 安芸「釜あげちりめん丼」楽会

じゃこ食文化で郷土愛を育むじゃこ!!

## 概要

- 平成22年に設立し12団体21名で活動を開始。現在の構成員は19団体43名。安芸沖で獲れるちりめんじゃこなどの地域食材をPRすることにより、地域産業の振興や郷土愛の向上を図る取組。
- 平成25年以降、じゃこサミットを開催し安芸市をじゃこの聖地として全国へPR。

## 成果

- パンフレットなどの設置、配布、SNS等の活用により店舗を紹介。親子で楽しめるじゃこ文具等のグッズ作成、出店販売、着ぐるみによる活動、出前授業、県外との交流なども実施。
- 毎月15日を「じゃこの日」として制定。のぼりなど作成。毎月15日には保育・学校の給食でじゃこ料理を提供。



全国ご当地じゃこサミットの開催風景



小学校でのじゃこの日給食



広島市安芸区との交流（のろしりレー）

〒784-0004 安芸市本町3丁目11-5  
0887-34-1311 aki005@cciweb.or.jp

関連情報はこちら ▶



にゅうがうちだいこん かい  
**入河内大根のこそう会**  
 入河内大根で交流の輪を広げよう

**概要**

- 入河内地区に古くから伝わってきた入河内大根を保護・継承し、地域活性化を図るため農家を中心に会を結成。収穫体験や調理体験をとおして、まちとむらの交流を行っている。
- 地元の市指定管理者の温泉施設と連携して「入河内大根定食」をメニュー化。提供は1月中旬～2月下旬と短期間だが、毎年訪れる人や遠方から足を運ぶ人もいるなど、旬の味覚として知られている。
- 量販店や市場を通じた販路の拡大に取り組んでいる。



学生の収穫体験

**成果**

- 高知市内の飲食店等でメニュー化され、県を代表する伝統野菜として知名度が向上し、入河内地域の認知度も高まった。
- グループや遠方から訪れる人々も徐々に増え、収穫体験などの交流を通じて地域活性化に貢献している。
- 冬季には、入河内大根が親しい人への贈り物やコミュニケーションの媒介として大きな役目を果たしている。



こまどり温泉の入河内大根定食

〒784-0272 安芸市入河内588 (東川公民館内)  
 0887-32-3031 norin01@city.aki.lg.jp

関連情報はこちら ▶



のうか ばたけ  
**農家レストラン「まほろば畑」**  
 旬の南国野菜がいっぱい農家レストラン

**概要**

- 毎月1回バイキング形式で農家レストランを開催。地域野菜を使ったメニューの考案から料理提供までを行う。
- 野菜や山菜を寿司のネタにした土佐の郷土料理「土佐田舎寿司」を盛り上げようといわれている高知県内の各種イベントへ出店。地域の農産物を使った「まほろば畑」ならではの「土佐田舎寿司」を販売し、地域食材の美味しさや、ふるさとの味の伝承を行う。



農家レストランのオープン時の様子

**成果**

- 平成22年10月にオープンした農家レストラン「まほろば畑」は、令和5年7月には来店者数7万人を達成。旬の野菜をふんだんに使った料理を提供することで、南国市産野菜の認知度アップと地域野菜の消費拡大に貢献。生産者と消費者をつなぐとともに地域の活性化にも寄与している。



農家レストランのバイキング料理盛付け

〒783-8501 南国市大桶甲2301 (南国市役所 農林水産課)  
 088-880-6559 n-chisan@city.nankoku.lg.jp

関連情報はこちら ▶





ゆうげんがいしゃ とだしょうこう  
**有限会社 戸田商行**

里山の宝を世界に～日本最期の木毛屋の挑戦

### 概要

- プラスチック製緩衝材にシェアを奪われ衰退する中、伝統の継承を大切に、天然緩衝材「木毛（もくめん）」にこだわり作り続け、木育活動、地域連携に取り組み、持続可能な社会の実現を意識して活動。
- 杉・桧の枝葉や廃棄文旦など、未利用だった地域資源を活かしたエッセンシャルオイルの製造販売。

### 成果

- 地域資源を活用した新たな商品開発により、地元農業者や障害者施設の所得向上に貢献。
- 新たな商品（エッセンシャルオイル）は、輸出により売上を伸ばしている。
- 「文旦オイルプロジェクト」を令和4年度に立上げ、地元から文旦受入れ、障害者施設で皮剥、自社で蒸留の地域連携で取り組み、新たな価値を地域還元する仕組みを構築。



木毛製造の様子



木毛を使った木育



エッセンシャルオイル（桧・杉・文旦）

〒781-1122 土佐市本村580番地  
 088-855-0426 info@toda-shoko.co.jp

関連情報はこちら ▶



かぶしきがいしゃ みち えき さと とさしみず  
**株式会社サクセス 道の駅めじかの里 土佐清水**

地元（ふるさと）の魅力を道の駅を通じて発信

### 概要

- 令和5年4月にリニューアルオープン。高知県土佐清水市の道の駅めじかの里土佐清水と鳥取県日南町の道の駅にちなみ日野川の郷、自治体（行政）と民間企業（㈱サクセス）が協力する形で地域間及び物産品の交流を始めた。
- お互い深刻な悩みである農林水産業の後継者不足や過疎化などを道の駅を通じて解消すべく、行政と民間が手を携えて取り組みを行い、道の駅めじかの里土佐清水の再生と発展に向けて取り組んでいる。

### 成果

- 売上が5千万円から1億1千万まで売上が回復、地元企業はもちろん、大数組合など衰退が深刻な漁業や農業にも利益をもたらす事が出来た。
- 地元の特産品だけでなく、鳥取県産の野菜や日南町特産のりんごなども土佐清水で購入できることになり、市民からも大変喜ばれている。



道の駅めじかの里での産品交流商品販売



土佐清水市×サクセストップ会議



土佐清水市×日南町ゆるキャラによるもちまき

〒787-0450 土佐清水市三崎西シリソメ671-1  
 0880-83-1103 mejikanosato@kk-success.co.jp

関連情報はこちら ▶



にしむら なおこ  
西村 直子

食、学び、体験・指導、農泊の全てがジビエ

## 概要

- 鹿肉が見向きもされず廃棄される現状に衝撃を受け、害獣から地域資源へ転換させ、ジビエを普及させる取組を開始。
- 欧州で培った料理人としてのノウハウを活かし、過疎地でも稼げるジビエビジネスアカデミーを開校。県内外の飲食店や行政関係者等を対象にジビエビジネスのノウハウを直接指導。
- 1日1組限定でジビエと田舎の日常を堪能できる農泊を運営するほか、ジビエ料理のオンラインショップやテイクアウトを行い、ジビエ食文化の振興と消費拡大を推進。

## 成果

- 自身の体験や成功法則、失敗談、人気レシピも提供することで、実践的かつ効果的にジビエの技術を学べ、結果、受講生が扱う肉の品質向上や売上増加、開業店舗の繁栄に繋がった。
- 空き家を宿泊施設へ転換、近隣住民からは廃棄予定の古家具や調度品を譲り受け、集落の思いと期待が詰まった施設となる。ジビエの美味しさにリピーター続出、グーグルレビューでは満点の5.0、現在はパート6名雇用。



ジビエビジネスアカデミーの様子



ジビエ料理とその魅せ方



ジビエと田舎暮らしの宿

〒781-4205 香美市香北町吉野398  
080-3920-7471 nooks@outlook.jp

関連情報はこちら ▶



ひがしとよながしゅうらくかつどう

すいしんきょうぎかい

## 東豊永集落活動センター推進協議会

集落を越えて協力し助け合う力で笑顔あふれる地域に！！

## 概要

- 大豊町東豊永地区にある12の集落149名の住民で構成され、地域の林業再生や新産業創出を担う「農林部」、地域内外の交流人口の拡大を担う「アクティ部」を設置し、集落活動の維持・発展、地域経済の循環に向けた仕組み作りに取り組んでいる。
- 再造林事業や薬用植物栽培試験事業、交流イベントの実施による生きがいのある地域づくりを目指す。

## 成果

- センター設立後の平成30年8月から、森林保全・林業再生を目的としたスギ苗等の植え付けを実施している。第1期（平成30年）から第10期（令和5年）にわたって再造林事業に取り組み、年々施業面積を拡大させている。
- 令和3年9月に東豊永集落活動センター推進協議会、小林製薬株式会社、公益財団法人高知県牧野記念財団の3者で薬用植物栽培試験事業の調印を行い、東豊永地区にある遊休農地を活用している。



再造林事業（植付）の様子



薬用植物（トウキ）の圃場

〒789-0171 長岡郡大豊町大滝498番地  
090-7144-3370 yuki.centershien@gmail.com

関連情報はこちら ▶



せいりゅう ごうどうがいしゃ  
**清流ファーム合同会社**  
 生きがいある職場に！

**概要**

- 農業×福祉の融合となる「農福連携」による水耕栽培事業の展開により障害者等の社会参画実現を図る。
- 担い手の確保、野菜の産地形成、障害者の雇用（就労）の場の創出、障害者が活躍できる場の創出、障害者に配慮した働きやすい環境の創出などに取り組む。



生産現場で働く従業員

**成果**

- 農福連携による地域ブランドの確立。『VEGE-Well』と名付けた3種の野菜ブーケ『ピュアブーケ』を商品化。
- 仁淀川町に流れ込む沢の水を利用した水耕栽培、隣接するカット野菜工場へダイレクト出荷等、事業経費の削減に繋がっている。
- 作業工程を細分化し、ワンアクションで行えるようマニュアルを作成、障害者の意欲と能力が発揮されている。



オリジナル商品「ピュアブーケ」

〒781-1606 吾川郡仁淀川町土居乙199番地2  
 090-1170-4522 spmx2uq9@star.ocn.ne.jp



たいしょうまちいちばきょうどうくみあい  
**大正町市場協同組合**  
 「NO KATSUO NO LIFE」な鰹乃國

**概要**

- 商店街の田中鮮魚店が鰹を選別し、品質保証する代わりに売値を高くして魚価を上げ、漁師を守る戦略をとり、町と連携して久礼の「鰹乃國」をブランド化。400年続く鰹食文化を商店街が中心になって守り発展させる活動を行っている。
- 一本釣りの鰹は生食、加工、漁の餌、農業用の堆肥など一匹を久礼の地域内で有効活用。冷凍鰹の外商強化、鮮魚店による小中学生への鰹食育授業を実施し人材育成などに取り組む。

**成果**

- 漁獲、小売、加工までの地域ワンストップ施策、鰹食文化の維持向上、久礼鰹の魚価を1kg約200円から500円までに高め、漁師の報酬を確保し、廃船を回避、人材確保に寄与。
- 高知空港に久礼鰹のオブジェをクラウドファンディングで設置したり、取材誘致をして情報発信するなど県内外へPRし、市場に年間15万人が訪れる県内屈指の観光スポットとなった。



久礼大正町市場のアーケード



高知空港で土佐久礼鰹のPR



小中学校での英才カツオ食育授業

〒789-1301 高岡郡中土佐町久礼6370-2  
 0889-52-2060 kure-omiyasan@mc.pikara.ne.jp

関連情報はこちら ▶



地方  
奨励賞

とくていひえいりかつどうほうじん げんきむら  
**特定非営利活動法人とかの元気村**  
 地域ボランティアで助け合う『お助け大作戦！』

## 概要

- 斗賀野地区の地域づくりのため活動する組織で平成17年設立。地域の核となる施設「とかの集落活動センターあおぞら」（農村RMO）を拠点に活動。
- 平成29年の集落活動センター開所以来、あったかふれあいセンターのお助け大作戦を毎年10月に実施。4～5名が班となり対象の高齢者宅を訪問。家主から事前に要望のあった作業を行う。



ボランティアへの説明

## 成果

- 取組が町内で評価され、3年前から町内他地区で同様の取組が実施されるようになり、ボランティアによる共助の輪が広がっている。
- 県内の2大学からもこの取り組みが評価され、学生が当初からボランティア参加するなどの関係ができています。



エアコンのフィルター掃除

〒789-1232 高岡郡佐川町東組2692  
 0889-20-9860 qqkm3xy9k@beach.ocn.ne.jp

関連情報はこちら ▶

地方  
奨励賞

しゅうらくかつどう しまがわ  
**集落活動センター四万川**  
 地域住民の暮らしを守るために

## 概要

- 平成25年に運営母体の株式会社四万川を設立。地域住民が主体となり「できることから進める」を合言葉に暮らしを守るための取組を開始。
- ガソリンスタンド、小売販売業、葬祭事業を実施し、キジ養殖事業を継承するなど地域のニーズに応じた事業を展開。
- 遊休農地活用や配食サービスを求める声を受け、集落活動センターが「稲木米」として生産販売を担い、配食グループ「四万川家」を設立。月2回の配食と高齢者見守り活動を実施。

## 成果

- 地域からのニーズに応じてホームセンター機能、農林業資材の販売、たばこ小売販売、配食サービスなどを拡充し、地域の課題を地域住民で解決していく仕組みを構築。
- 令和3年に継承したキジ養殖事業では、新たな雇用を創出。また、地元企業の若い社員3人がキジ担当として活動しており、住民からキジの餌となる余った野菜の提供を受けるようになるなど、住民と若者との会話が生まれ世代間交流も広がっている。



ガソリンスタンドと（株）四万川本社



ガソリンスタンド併設の直売所



（株）四万川雉生産部 加工・販売施設

〒785-0661 高岡郡梶原町六丁152番地  
 0889-67-0831 stnntcu8998@ma.pikara.ne.jp

関連情報はこちら ▶



# つのちょう 津野町まちづくりネットワークfuu-hot

人が地域を繋ぎ 地域が未来をつなぐ

## 概要

- 令和2年7月に津野町内でまちづくり活動に取り組む7つの地域団体が集まり、地域の現状や課題を話し合うために「津野町まちづくりに関する意見交換会」を開催。この会を機に同月末には津野町まちづくりネットワークfuu-hotを発足。
- 毎月開催される定例会には行政も参加して、地域課題についての意見交換や活動に向けた協議を行い、連携したまちづくり活動に取り組んでいる。



## 成果

- 当団体を立ち上げたことで、各団体の限られた人員での日々の活動の範囲や規模が拡大した。様々な地域の特産品や加工品、地域特有の料理等を当団体が取りまとめ、イベントや観光地に出店し、販売を行うことで各団体の収入増に貢献し、多くの人に各地域の魅力を発信することが可能となった。
- 新たな地域との連携が生まれ、各団体の機運が更に高まった。各地域が連携して地域活性化を図る活動は行政にも届き、町全体の発展と各団体の活動の継続発展に大きく貢献をしている。



〒785-0210 高岡郡津野町貝ノ川床鍋392番地2  
090-1007-6479 morinosubako@do-spot.net

地方  
奨励賞

# ふなとかっせいかいいんかい しまんとがわげんりゅうてん 船戸活性化委員会「四万十川源流点」

船戸地区のみんなあと、ここの自然、四万十川源流点がともに輝き、賑わい続ける集落を目指す

## 概要

- 平成26年に船戸活性化委員会「四万十川源流点」を設立、平成30年には「集落活動センターふなと」を開所した。
- 四季折々のイベントを実施する「交流部会」、四万十川源流点周辺の維持管理を行う「農林部会」、特産品づくりや販売を行う「加工部会」、宿泊施設を運営する「せいらんの里部会」、高齢者の見守りや防災活動、空き家対策等を行う「福祉部会」を設けて活動している。



宿泊施設「遊山四万十せいらんの里」

## 成果

- 集落活動センターふなとを開所したことにより、これまで実施してきた交流活動に加えて地域の困りごとの解決や景観の維持に取り組むなど活動の幅を広げている。
- 宿泊施設「遊山四万十せいらんの里」ではランチビュッフェで地元食材を提供。県内外から観光客が増えて、宿泊者数は年間2,500人を超えている。



地域の食材をふんだんに使ったビュッフェ

〒785-0411 高岡郡津野町船戸1309-1  
0889-43-9771 funatoshimanto@gmail.com

こうちけんしまんと さいばいまいせいさんぶかい

# JA高知県四万十エコ栽培米生産部会

日本一おいしいお米を作ろう!!

## 概要

- 平成17年に生産者組織「エコ栽培米生産部会」の活動を開始。四万十町(旧窪川町)で米を栽培する農家で構成されており、地元ブランド米である「仁井田米」のブランドリーダーとして「JA高知県四万十厳選米」を栽培し、産地の米価格の維持向上により、生産者の安定した所得確保に取り組んでいる。
- 「仁井田米」の品種を特定し、品質基準を設定することによる新たなブランド米の確立を目指している。



圃場前でのにこまるポーズ

## 成果

- ブランド米として栽培するにあたって、特別栽培米の基準に則った栽培を行っているほか、毎月実施している現地検討会を通じて、生産技術の向上や交流が深まっている。
- 毎年当部会の中から米コンテストへ出品を行っており、令和5年には静岡県で開かれた「第20回お米日本コンテストinしずおか」にて、当部会員が栽培したにこまるが全510点の中から令和3年に続く金賞を受賞した。



現地検討会

〒786-0027 高岡郡四万十町東大奈路字丸山513  
0880-22-3586 kos-shi-hanbai-beikoku@ja-kochi.or.jp

地方  
奨励賞

いっばんしゃだんほうじんみはらむらしゅうらくかつどう

# 一般社団法人三原村集落活動センターやまびこ

「安心して生活できる村」のシステムづくり

## 概要

- 平成26年に高知県の政策である小さな拠点づくり構想「集落活動センター」を村全体で取り組む計画となり、村内14集落や他諸団体の意思統一に取り組み、平成30年に法人化。官民一体で活動をしている。
- 農村維持ができる事を目的とした村づくりをするため、地域の課題やニーズに応じて、福祉や産業といった様々な活動に総合的に取り組んでいる。

## 成果

- やまびこカフェ運営の「店舗部」、生きがいをづくりをする「福祉支援部」、特産品の開発・販売をする「特産品販売促進部」、移住者と村民の交流を図る「移住促進部」、三原米のブランド化やししとう事業を展開する「生産部」、村の資源を掘り起こし交流人口拡大を図る「観光部」を設け、楽しく元気に暮らせる生きがいをづくり及び生産活動を継続している。



やまびこピアホール開催



大阪梅田食堂街で三原村フェア開催



年の瀬の餅つき体験

〒787-0802 幡多郡三原村宮ノ川1113番地2  
0880-31-7839 mihara-yamabiko@dream.jp

関連情報はこちら ▶



いっばんしゃだんほうじん

さとみながわ

## 一般社団法人であいの里蜷川

地域の元気・活力・魅力の発信拠点

## 概要

- 平成14年に地元女性有志8名で前身となる任意組織「であいの里」を発足、平成19年に蜷川地区が参画し「であいの里蜷川」となる。平成28年に「集落活動センター」として開設するがスタッフや地区住民の高齢化、後継者不足で事業は縮小となり、事業継続と発展のため、令和4年4月に「一般社団法人であいの里蜷川」を設立した。
- 地元野菜づくりの体験事業や6次化商品を通じて地元を広くPR。黒潮町のスポーツ観光主要宿泊施設としても稼働している。



集落センターであいの里蜷川

## 成果

- 県内外の来町者を、地元食材を使用した食事と田舎特有のロケーションと人情でおもてなしを実施したことにより、地域の交流人口が増加。近年の円安の影響でインバウンド（中国、ドイツ、オーストラリア他）体験者数も増加しており、地区住民主体で地区内の圃場で栽培したそばを使用したそば打ち体験や、地域文化でもある田舎寿司づくり体験を通じて文化交流も生まれている。
- 地区内外の元気で活力のある65歳以上の雇用を創出。



地区内圃場でそば刈り

〒789-1902 幡多郡黒潮町蜷川660-1

0880-44-2010 deainosato.minagawa2021@gmail.com 関連情報はこちら▶

地方  
奨励賞

かぶしきがいしゃくろしおちょうかんづめせいさくしよ

## 株式会社黒潮町缶詰製作所

缶詰で、毎日食べたい“日（ひ）常食”

## 概要

- 南海トラフ巨大地震で予測される日本一の津波高（34m）に対応する防災を考える中で、備蓄品を自ら作り、黒潮町が主体的に雇用の場を創出することを目的に、町と地元金融機関等の出資により平成26年に第三セクターとして設立。
- 高知県の豊かな食材を多彩なレシピで缶詰に加工、常温流通にて全国に展開させるパッカーとして機能している。



雇用状況：製造スタッフ

## 成果

- ごはん缶詰「Canmeshi」シリーズ第1弾のパエリアは主食備蓄食料の市場開拓及び地元米農家の販路拡大に貢献。
- 缶詰の小ロットOEMが対応可能であるため、端材活用や食品ロス対策での製造依頼が県内外から相次いでいる。
- 江戸時代から生産が続く入野砂糖（黒砂糖）を一定量購入し原材料に活用するなど、伝統産業継承や生産に携わる移住者の定着に貢献。



ごはん缶詰「Canmeshi」シリーズ

〒789-1931 幡多郡黒潮町入野4370-2

0880-43-3776 info@kuroshiocan.co.jp

関連情報はこちら▶





## ディスカバー農山漁村の宝



### 【お問い合わせ先】 中国四国農政局

鳥取県拠点地方参事官室  
〒680-0845 鳥取県鳥取市富安2-89-4  
鳥取第1地方合同庁舎  
☎0857-22-3131

徳島県拠点地方参事官室  
〒770-0943 徳島県徳島市中昭和町2-32  
☎088-622-6131

島根県拠点地方参事官室  
〒690-0001 島根県松江市東朝日町192  
☎0852-24-7311

香川県拠点地方参事官室  
〒760-0019 香川県高松市サンポート3-33  
高松サンポート合同庁舎南館5階  
☎087-883-6500

岡山県拠点地方参事官室  
〒700-0927 岡山県岡山市北区西古松2-6-18  
西古松合同庁舎3階  
☎086-899-8610

愛媛県拠点地方参事官室  
〒790-8519 愛媛県松山市宮田町188  
松山地方合同庁舎  
☎089-932-1177

広島県拠点地方参事官室  
〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6-30  
広島合同庁舎2号館6階  
☎082-228-9676

高知県拠点地方参事官室  
〒780-0870 高知県高知市本町4-3-41  
高知地方合同庁舎4階  
☎088-875-7236

山口県拠点地方参事官室  
〒753-0088 山口県山口市巾着町6-16  
山口地方合同庁舎1号館3階  
☎083-922-5200

農村振興部都市農村交流課  
〒700-8532 岡山県岡山市北区下石井1-4-1  
岡山第2合同庁舎  
☎086-224-4511